

「平成 28 年度新居浜西条ものづくり人材確保連携事業」

新居浜西条ものづくり人材確保連携事業

報 告 書

一般社団法人 新居浜ものづくり人材育成協会

目 次

| | | |
|-----|-----------------------------|----|
| 第1章 | 概要 | 1 |
| 第2章 | 新居浜西条ものづくり企業と愛媛大学のアンケートについて | 3 |
| 第3章 | 意見交換会について | 56 |
| 第4章 | 企業見学会について | 69 |
| 第5章 | 企業出張講座について | 84 |

第1章 概要

1 事業概要

(1) 相互ニーズ調査

- ・新居浜西条ものづくり企業に対して、愛媛大学の新卒者採用に希望、インターンシップ受入及び当事業への参加希望等の調査を行う。
- ・愛媛大学の学生及び教員に対して、新居浜西条ものづくり企業に対する知名度やインターンシップや就職に関する意識調査を行う。

(2) 新居浜西条ものづくり企業と愛媛大学の意見交換会

- ・新居浜西条ものづくり企業と愛媛大学教員とにより、学生の就職促進について、自由に意見交換できる場を設ける。

(3) ものづくり企業見学会

- ・愛媛大学の学生を対象に、新居浜西条ものづくり企業の製造現場や工場等の見学を実施する。

(4) ものづくり企業出張講座

- ・愛媛大学の学生を対象に、新居浜西条ものづくり企業の仕事の魅力・技術力等をPRする出張講座を愛媛大学において実施する。

2 事業期間

開始日 平成28年5月19日

完了日 平成29年3月23日

3 事業実施機関及び実施体制

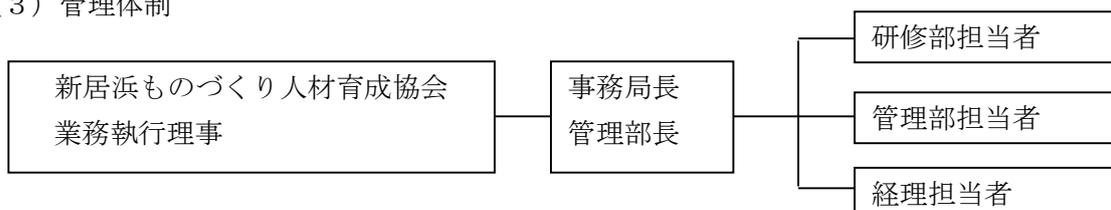
(1) 事業実施機関

| | |
|------------|-----------------------|
| 名 称 | 一般社団法人 新居浜ものづくり人材育成協会 |
| 所 在 地 | 愛媛県新居浜市阿島1丁目5番50号 |
| 設立年月日 | 平成22年3月19日 |
| 代表者の役職及び氏名 | 代表理事 萩尾 孝一 |

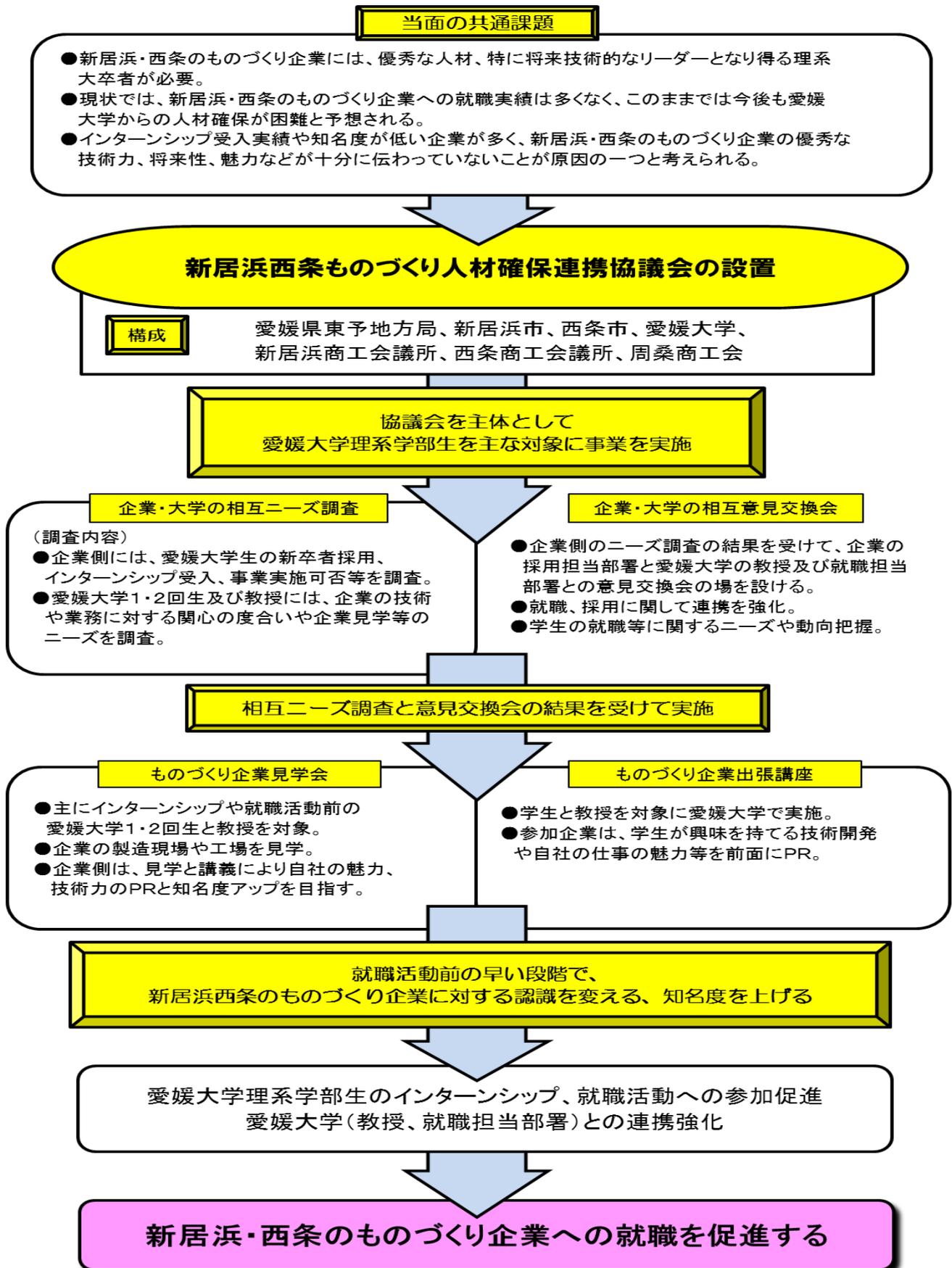
(2) 事業従事者

管理部 主任 高橋 宏幸

(3) 管理体制



4 新居浜西条ものづくり人材確保事業について



第2章 新居浜西条ものづくり企業と愛媛大学のアンケート結果について

1 新居浜西条ものづくり企業に対するアンケート

①愛媛大学(理系)の学生の採用等に関するアンケート

○実施時期

平成28年6月

○アンケート依頼企業数

新居浜市と西条市に事業所を有するものづくり企業255社
(新居浜市127社、西条市128社)

○アンケート回答企業数

128社(回収率50%)(内訳:新居浜市77社、西条市51社)

○アンケート内容

愛媛大学の理系学生の採用意向、採用実績、協議会事業への参加意向等

②愛媛大学生のインターンシップに関するアンケート

○実施時期

平成28年6月(上記1のアンケートと同時実施)

○アンケート依頼企業数

上記1のアンケートに同じ

○アンケート回答企業数

愛媛大学生のインターンシップ受入可能企業等38社
(新居浜市26社、西条市12社)

○アンケート内容

愛媛大学生のインターンシップ受入状況等

2 理系の愛媛大学生及び愛媛大学教員に対するアンケート

③新居浜市と西条市のものづくり企業に対するアンケート(学生)

○実施時期

平成28年7月

○アンケート依頼数

理学部・工学部・農学部の3回生、理工学研究科・農学研究科1回生(1,226人)

○アンケート回答者数

889人(回収率72.5%)

内訳:理学部113人、工学部459人、農学部134人、
理工学研究科154人、農学研究科29人

○アンケート内容

「新居浜市と西条市のものづくり企業紹介」を読んでもらったうえで、新居浜西条ものづくり企業に対する知名度や興味、就職やインターンシップに対する考え等

④新居浜市と西条市のものづくり企業に対するアンケート（教員）

○実施時期

平成 28 年 7 月（上記③のアンケートと同時実施）

○アンケート依頼数

理学部・工学部・農学部の教員（261 人）

○アンケート回答者数

119 人（回収率 45.6%）

内訳：理学部 8 人、工学部 74 人、農学部 35 人、社会共創学部 2 人

○アンケート内容

学生と同様に「新居浜市と西条市のものづくり企業紹介」を読んでもらったうえで、新居浜西条ものづくり企業に対する知名度や興味、学生の就職促進等についてのご意見等

1. 愛媛大学(理系)の学生の採用等に関するアンケート調査

回答結果 (企業に対するアンケート)

※問1及び問2は、事業所概要の記載及び事業所での正社員採用の有無の調査につき省略。

問3 愛媛大学の理系学部生(理学部、工学部、農学部の卒業生(大学院卒を含む))の採用を希望しますか。

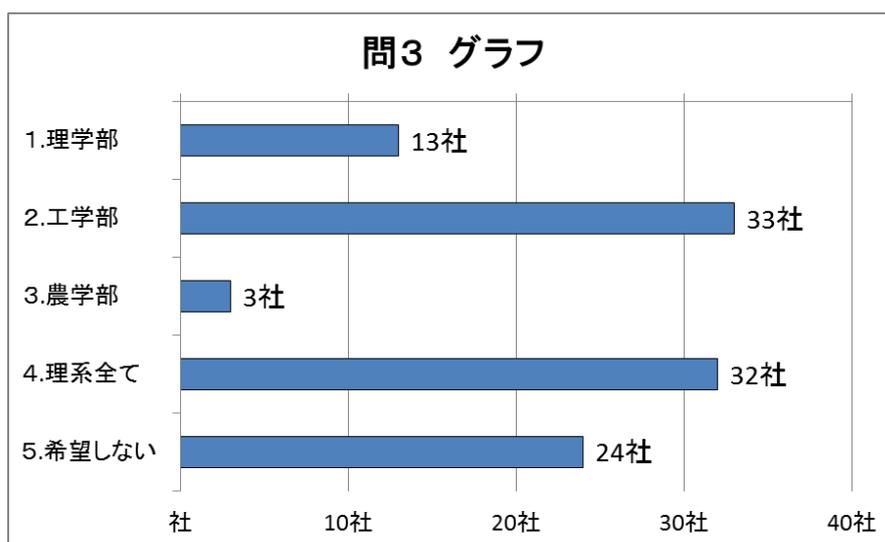
(今年度だけでなく、来年度以降の採用を希望している場合も含みます。)(1~3の選択肢は複数回答可)

1. 理学部の採用を希望する
2. 工学部の採用を希望する
3. 農学部の採用を希望する
4. 理系学部は、学部にかかわらず採用を希望する
5. 理学部、工学部、農学部の採用は希望しない

※5を選択された場合は、理由もお聞かせください。

1. 集計結果 複数選択(述べ回答数)

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 区分 | 理学部 | 工学部 | 農学部 | 理系全て | 希望しない |
| 回答数 | 13社 | 33社 | 3社 | 32社 | 24社 |



2. 選択肢「5. 理学部、工学部、農学部を採用は、希望しない」を選択した理由

(主な内容を抜粋)

- ・希望してもなかなか来てくれない。
- ・大卒の採用は行っていない。(高卒を希望している。)
- ・当社では雇用が難しいと考えている。
- ・地元を優先しているから。
- ・足元中途採用にて、当社が希望する資格(アーク・ガス溶接)と経験がある方を募集している。
- ・当社を希望する学生がいれば採用したいが、親会社で採用していること、職種が製造オペレーターが主の為難しい面がある。
- ・うちの業種では力を発揮するところがなさそうです。
- ・現時点で新卒者の採用が未定の為
- ・技術職の求人の際は希望しますが、当面、技術職の求人予定がなく現在は製造職(交替勤務)での求人を行っている為、新卒であれば高校卒での求人を考えています。

問4 平成28年4月に開設された、愛媛大学の社会共創学部を知っていますか。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 全く知らない

集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 有効 回答数 |
|------|-----------------|-----------------|--------|-----------|
| 区分 | 名前も内容も 知っている | 名前は聞いた ことがある | 全く知らない | |
| 回答数 | 18社 | 31社 | 42社 | 91社 |
| 構成比率 | 20% | 34% | 46% | |

問5 社会共創学部を卒業した学生の採用を希望しますか。

1. 採用を希望する
2. 現時点ではわからない
3. 採用を希望しない

※3を選択された場合は、理由もお聞かせください。

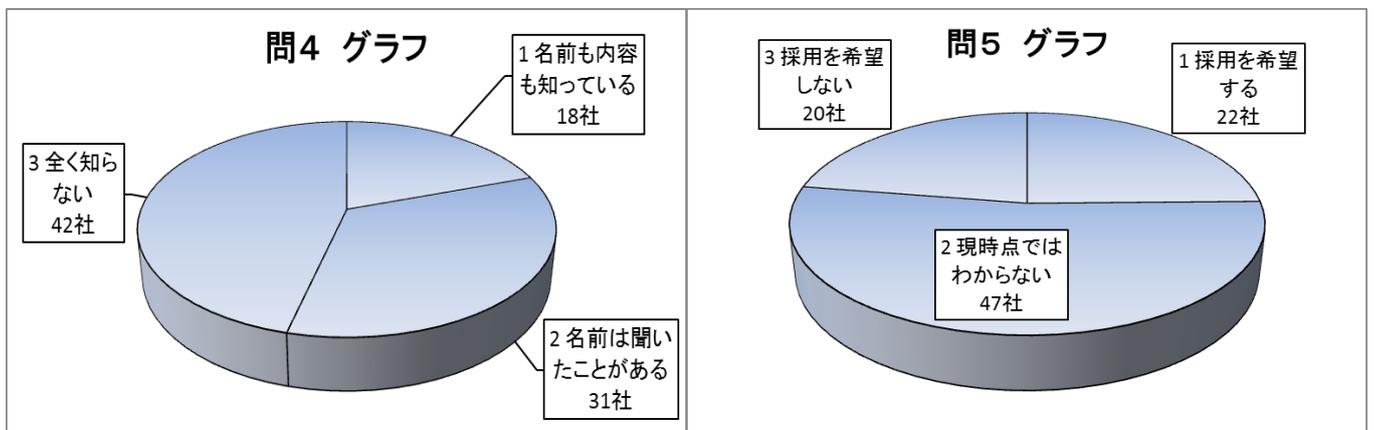
集計結果

| 選択肢 区分 | 1 採用を 希望する | 2 現時点では わからない | 3 採用を 希望しない | 有効 回答数 |
|-----------|------------------|---------------------|-------------------|-----------|
| 回答数 | 22社 | 47社 | 20社 | 89社 |
| 構成比率 | 25% | 53% | 22% | |

2. 選択肢「3. 採用を希望しない」を選択した理由。

(主な内容を抜粋)

- ・大卒の求人は全くしていません。
- ・専門知識が当社では必要な為
- ・当社のニーズに合わない。
- ・当社の業種としては希望しない。
- ・設計技術職が募集職種であり、工学部に限定して採用しているため。
- ・受入体勢が十分でない。
- ・現時点で新卒者の採用が未定の為。



問6 問3で回答していただいた採用希望についてお聞きします。毎年、愛媛大学理系学部生の定期的な採用を希望しますか。

1. 毎年、定期的に採用を希望する
2. 毎年ではないが、採用を希望する

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 毎年、定期的に 採用を希望する | 2 毎年ではないが、 採用を希望する | 有効 回答数 |
|-----------|-------------------------|--------------------------|-----------|
| 回答数 | 18社 | 48社 | 66社 |
| 構成比率 | 27% | 73% | |

問7 愛媛大学の理学部と工学部では、新たな教育コースを検討しており、このコースの主な特徴は、次の2つになります。

- ①コミュニケーション力を高めること
- ②理工系の基礎を幅広く学ぶこと
(一つの分野を極めるコースではなく理工にまたがって幅広く基礎を身につける)

このコースを学んだ学生の採用や、コースの特徴等について、企業の立場から見たご意見を、簡単なコメントで結構ですようお願いいたします。

(回答内容)

- ・一つの分野に限らず、幅広く様々な分野を学ぶことは良いと思います。
- ・コミュニケーション力を高めることは非常に重要で弊社もそういった人材の採用を希望する。
- ・コミュニケーション力について、自力で身につける人もいます。きっかけなどを知っていけばぐっとコミュニケーションが高まる事もあるので良いと思います。幅広い学びも、会社に入ると専門的な事が多くなるので視野を広げるにはよい学習だと思います。
- ・コミュニケーション力は理工系学部に限らず、御大学に限らず全学生に必要な事。幅広く基礎を身に付けることは大事な事であり、情報に対する感度も身に付けていけば良いかと考える。
- ・とてもいいと思う。特にコミュニケーション力に欠けている子供が多い。
- ・幅広い基礎知識を持っている人は企業として魅力があります。
- ・仕事以前にまず人と人とのコミュニケーションが重要だと思うので、とても良いと感じます。
- ・基本的な学力だけでなく、コミュニケーション力を高めるのは社会に出てからも役に立つと思う。

- ・専門的な知識のみでなく、幅広く身に付けるのは中小企業等において重要なポイントになると思われる。(実質的な業務において大学での知識の活用出来るケースの方が少ない為)
- ・深い知識は、会社毎で内容も異なるのでコミュニケーション能力、向上心等があれば良い。
- ・上記コースの特徴については従来より実践的なものを目指しており、良いと感じる。コースの特徴を活かすために、講義等で学んだ事を実際の現場（実務）でどのように活用されているか、経験する事がより有意義ではないだろうか。
- ・いろいろな分野を知っておくことは、大切であり、何かの時にその知識が活かされる場合があるので重要だと思う。
- ・近年の学生が不足がちな点なので、良いコースだと思います。
- ・コミュニケーションスキルの高い方には管理職としての活躍が期待できます。良いと思います。
- ・知識や技術だけでなく、チームで仕事するのでコミュニケーションは大切。また、客先での打合せ等についても、相手の意見を理解し、自分の考えをしっかりと伝えることも大事。
- ・大変良い取組と思います。性格もあると思いますが、基礎を有して言葉が通じること。話を理解出来ること、積極性を有するコミュニケーション力が必要です。
- ・課題解決の為に社内外での交渉能力に期待。
- ・どのようにして会社に貢献して貰えるのかが楽しみ。
- ・「コミュニケーション力」は社会人として重要なスキルであり、スムーズな就職活動に向けて、効果的な取組だと思います。
- ・企業人としては、文系・理系を問わず、社内外でのコミュニケーション力が強く求められる。そうした能力を持った人が欲しい。
- ・コミュニケーション力が高い学生を採用したいです。特に男性はこの能力が重要です。
- ・弊社としては、幅広さより専門性を高めて頂きたいと思います。
- ・新コースの学生さんと直接お話し合いができる機会を設けて頂ければと思います。
- ・いずれも良いとは思いますが、職業観について考えさせることも必要と考えます。
- ・総全力を必要としますので、コミュニケーション力には力を入れて欲しいと思います。
- ・専門の内容が即、企業入社後に活かせるとは限らないが、機械であれば、やはり機械に特化した専門性が必要と考えます。主の専攻は、一定の深工のものとし、加えて理工の幅広く知識を養えるコースとして欲しいと考えます。
- ・コミュニケーション力は職種や業務内容を問わず重要かと思います。
- ・組織で行動する場合にコミュニケーション力は必要なものなので、高める教育には期待しております。
- ・専門的な知識だけでなく、コミュニケーション能力も高い人材が理想ですので良いコースだと感じます。
- ・機械工学の知識を持ち、コミュニケーション力の高い学生を育成して頂けると大変満足です。
- ・弊社はエンジニアリング事業を手掛けており、Sales Engineer を育成しています。理工系の知識と高いコミュニケーション スキルを持ち合わせる人材を必要としています。

問8 過去5年以内で、4年制大学卒業生の採用実績はありますか。採用実績がありましたら、併せて過去5年以内で採用した人数も教えてください。(既卒者の中途採用、大学院卒も含まれます。)

1. 採用実績がある ⇒ 下欄の採用人数の記載をお願いします。

| | |
|-------------|---|
| ①4年生大学卒採用人数 | 人 |
| ②うち理系学部卒 | 人 |

2. 採用活動を行っているが、採用実績はない ⇒ 問10へ

3. 採用活動を行っておらず、採用実績はない ⇒ 問10へ

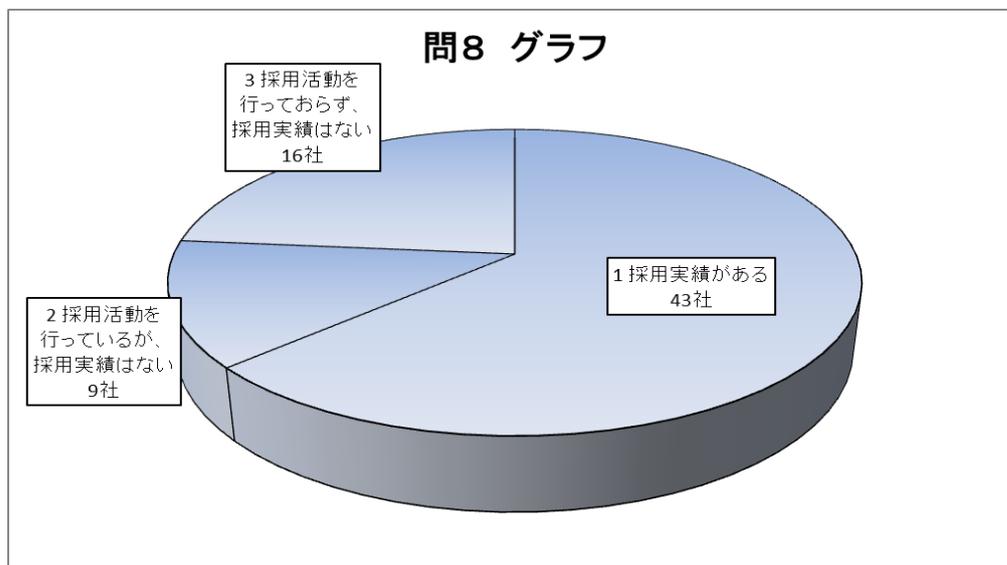
1. 集計結果

| 選択肢 区分 | 1 採用実績がある | | 2 採用活動を行 っているが、 採用実績はない | 3 採用活動を行 っておらず、 採用実績はない | 有効回答数 |
|-----------|--------------|------------|----------------------------------|----------------------------------|-------|
| | 4年生 大学卒採用 | うち 理系学部 | | | |
| 回答数 | 43社 | 33社 | 9社 | 16社 | 68社 |

2. 選択肢1.「採用実績がある（4年生大学卒における採用実績）」を回答した企業の採用人数

(過去5年以内) ①4年生大学卒採用 364人

②うち理系学部 179人



問9 問8で「1. 採用実績がある」と回答していただいた企業にお伺いします。問8の採用実績のうち、愛媛大学の卒業生の採用実績はありますか。採用実績がありましたら、併せて過去5年以内で採用した学部ごとの人数も教えてください。（既卒者の中途採用、大学院卒も含まれます。）

1. 愛媛大学の卒業生の採用実績がある ⇒下欄の内訳の人数の記載をお願いします。

| | | | |
|----------|------|-------------|------|
| 愛媛大学 学部名 | 採用人数 | 愛媛大学 学部名 | 採用人数 |
| 理学部卒 | 人 | 法文学部卒 | 人 |
| 工学部卒 | 人 | 教育学部卒 | 人 |
| 農学部卒 | 人 | その他の学部（ ）学部 | 人 |

2. 採用活動を行っているが、採用実績はない
 3. 採用活動を行っておらず、採用実績はない

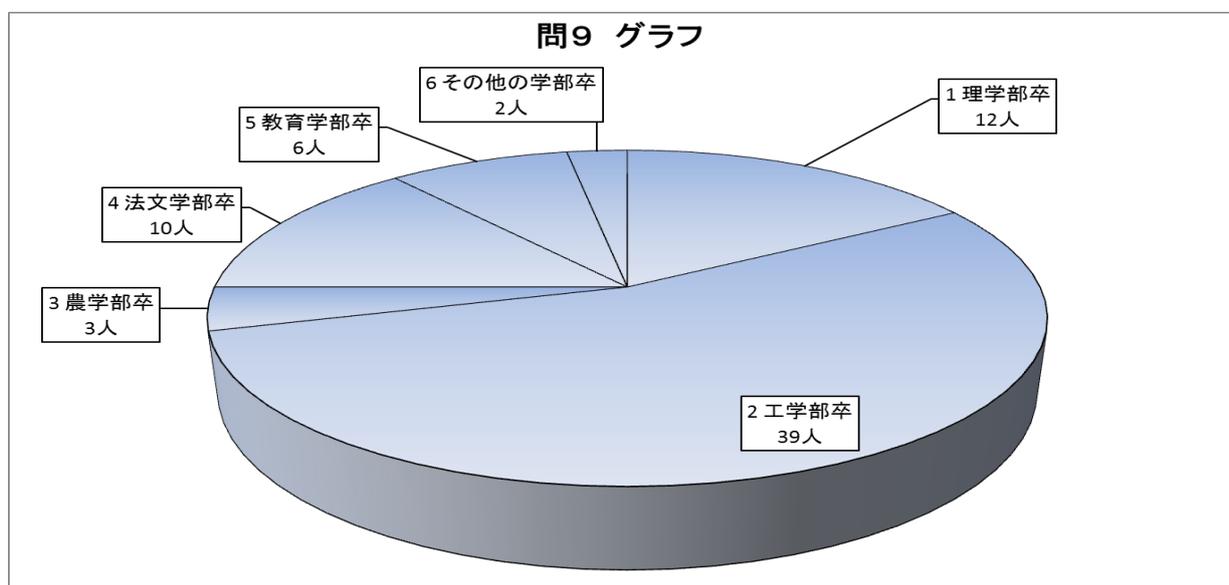
1. 集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 有効 回答数 |
|-----|---------|---------------------|---------------------|-----------|
| 区分 | 採用実績がある | 採用活動を行っているが、採用実績はない | 採用活動を行っておらず、採用実績はない | |
| 回答数 | 27社 | 5社 | 12社 | 44社 |

2. 選択肢1. 「愛媛大学の卒業生の採用実績がある」の内訳人数の集計（過去5年以内）

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|------|------|------|------|-------|-------|---------|------|
| 区分 | 理学部卒 | 工学部卒 | 農学部卒 | 法文学部卒 | 教育学部卒 | その他の学部卒 | |
| 回答数 | 12人 | 39人 | 3人 | 10人 | 6人 | 2人 | 72人 |
| 構成比率 | 17% | 54% | 4% | 14% | 8% | 3% | 100% |

※その他の学部卒は、学部名の記載なし。



問10 愛媛大学の学生のインターンシップを受け入れることができますか。

1. 受け入れることができる（既に受け入れている）
2. 受け入れることはできない

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 受け入れる ことができる | 2 受け入れる ことはできない | 有効 回答数 |
|-----------|----------------------|-----------------------|-----------|
| 回答数 | 35社 | 34社 | 69社 |
| 構成比率 | 51% | 49% | |

問11 「新居浜西条ものづくり人材確保事業」への参加を希望しますか。

1. 希望する
2. 希望しない

1. 集計結果

| 選択肢 区分 | 1 希望する | 2 希望しない | 有効 回答数 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 回答数 | 33社 | 35社 | 68社 |
| 構成比率 | 49% | 51% | |

2. 選択肢「2. 希望しない」を選択した理由。

(主な内容を抜粋)

- ・現在様々な人材確保事業に参加している為。
- ・現段階では社内の体制整備を優先するため。住宅補助はなく通勤可能は地元出身者という限られた対象者になる。
- ・PR活動を展開できる下地が無い為。マンパワー適任者が足りず参加できません。
- ・当面、採用の予定が無い為。
- ・親会社からの製造受託の為、親会社で必要な対応を講じている。
- ・非製造業である為。
- ・手間がかかる為。
- ・高校や高専を優先したい。十分に優秀な社員になれる。

3. 事業に参加を希望する企業

(新居浜市23社)

| | | | |
|------------|-----------|-----------|-------------|
| (株)愛新鉄工所 | (株)アイワ技研 | (株)一宮工務店 | 愛媛小林製菓(株) |
| (株)尾崎設計事務所 | 住友共同電力(株) | (株)クックチャム | (株)コスにじゅういち |
| (株)サイバー | (有)佐々木組 | (有)塩崎製作所 | 正起ガス(株) |
| (株)曾我部鐵工所 | (株)田口工業所 | 東和工業(株) | 土岐機械工業(株) |
| 萩尾機械工業(株) | 萩尾高圧容器(株) | (有)松川工業 | 丸重商事(株) |
| (株)マルヤス | (株)三好鉄工所 | (株)よしだ | |

(西条市10社)

| | | | |
|-------------|-------------|----------|--------------------|
| (株)アドバンテック | (株)越智鋳造所 | 大磯タオル(株) | 花王ホールディングス(株)愛媛(株) |
| (株)クラレ西条事業所 | (株)志賀商店 | (有)高橋工業 | (株)田窪工業所 |
| 南海工業(株) | 眞鍋造機(株)西条工場 | | |

問12 愛媛大学の理系学部生と教授に対して実施する「相互ニーズ調査」(学生及び教授に対するアンケート調査)についてお聞きします。

この調査で、学生または教授に対して調査したい事項や設問がありましたら、ご回答願います。学生の就職に関する意向等(例:「県内での就職希望」「希望する職種」「就職企業を選ぶ基準」)についても調査しますので、これに関する調査・設問もありましたら、ご回答願います。

1. 特にない
2. ある(下欄に記載してください。別紙に記載していただいても結構です。)

(「2. ある」の回答内容)

①. 学生

- ・愛媛県内での就職希望率
- ・県内でも松山以外(新居、西条)での就職希望企業を選ぶ基準。
- ・中小企業への興味の有無。
- ・何を基準に就職先を選ぶのか、明確な判断基準。
- ・どのような会社に興味があり、就職したいと思うか?また、職人になりたいと思うか、または時代遅れと思うのか?
- ・県内中小企業を就職企業対象としているか?就職企業を選択する時に大手就職サイトに掲載していることが重要か?(リクナビ、マイナビ等)
- ・企業を選ぶ基準。(給与、業務内容など)
- ・10、20、30年後自分がどのような姿になっているの想像しているか?また、その想像している姿に対して、何か取り組んでいるか?学生生活の中で胸を張って何かをやり切ったと人に自慢できることがあるか?
- ・就職企業を選ぶ基準
- ・希望する職種と異なる部署に配属された場合の対応。
- ・就職する企業を選ぶ際、どのような点が判断基準になっているのか。

②. 教授

- ・ 企業を紹介する基準。
- ・ 大学としての企業、研究に対する取組、近年の学生は情報量が多すぎるため、学生自身に合った職種選択が出来ていないので大学から指導してほしい。
- ・ 学生の進路とは何か？

③. 学生・教授の両方

- ・ 県内の IT 企業にどのような存在価値を求められているのか？ [学生] 県内で働きたいという理由・条件は？ 反対に県外で働きたいという理由・条件は？
- ・ 就職企業を選ぶ基準。
- ・ 理系学部生の就活時の情報入手方法。
- ・ 工学部、特に機械、電気、電子専攻の学部、学生の職業、選択意識における製造メーカー（機械メーカー、電気メーカーを除く）に対する意識について調査をお願いしたい。又、企業を知る上で、情報として欲しいものは何かについても（特に学生）調査したい。

問 1 3 当事業の「意見交換会」「ものづくり企業見学会」「ものづくり企業出張講座」についてお聞きします。参加を希望するものを選んでください。（複数回答可）

- 1. 意見交換会 ⇒問 1 4 へ
- 2. ものづくり企業見学会 ⇒問 1 5 へ
- 3. ものづくり企業出張講座 ⇒問 1 6 へ

1. 集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 |
|------|-------|----------------|-----------------|
| 区分 | 意見交換会 | ものづくり 企業見学会 | ものづくり 企業出張講座 |
| 全体集計 | 19 社 | 18 社 | 10 社 |

2. 事業ごとの参加希望企業

○意見交換会

(新居浜市 1 3 社)

- | | | | |
|-----------|----------|------------|-----------|
| (株)愛新鉄工所 | (株)アイワ技研 | (株)尾崎設計事務所 | (株)クックチャム |
| (有)佐々木組 | (有)塩崎製作所 | 正起ガス(株) | 東和工業(株) |
| 土岐機械工業(株) | (有)松川工業 | 丸重商事(株) | (株)マルヤス |
| (株)三好鉄工所 | | | |

(西条市 6 社)

- | | | |
|-------------|----------|------------------|
| (株)アドバンテック | (株)越智鋳造所 | 花王ナニタープロダクツ愛媛(株) |
| (株)クラレ西条事業所 | (株)田窪工業所 | 南海工業(株) |

(「検討する」との回答 3 社)

- | | | |
|------------------|-------------------|---------------|
| 住友共同電力(株) (新居浜市) | 眞鍋造機(株)西条工場 (西条市) | (株)よしだ (新居浜市) |
|------------------|-------------------|---------------|

○ものづくり企業見学会

(新居浜市 12社)

(株)愛新鉄工所 (株)一宮工務店 愛媛小林製菓(株) (株)コスにじゅういち
(株)サイバー (有)佐々木組 (株)曾我部鐵工所 (株)田口工業所
萩尾機械工業(株) 萩尾高压容器(株) (有)松川工業 (株)三好鉄工所

(西条市 6社)

大磯タオル(株) 花王ナトリプロダクツ愛媛(株) (株)クラレ西条事業所 (株)志賀商店
(有)高橋工業 (株)田窪工業所

(「検討する」との回答 3社)

住友共同電力(株) (新居浜市) (株)よしだ (新居浜市) 眞鍋造機(株)西条工場 (西条市)

○ものづくり企業出張講座

(新居浜市 9社)

(株)愛新鉄工所 (株)アイワ技研 (株)一宮工務店 (株)尾崎設計事務所
萩尾機械工業(株) 萩尾高压容器(株) (有)松川工業 (株)マルヤス
(株)三好鉄工所

(西条市 1社)

(株)クラレ西条事業所

(「検討する」との回答 3社)

住友共同電力(株) (新居浜市) (株)よしだ (新居浜市) 眞鍋造機(株)西条工場 (西条市)

問 1 4 問 1 3 で「意見交換会」への参加を希望した企業にお聞きします。

当事業の「意見交換会」の場において、愛媛大学に対して、学生の就職やインターンシップ等に関する事で、議題として取り上げて欲しい事項、質問したい事項などありましたら、下記に記載をお願いします。

1. 特になし
2. ある

(「2. ある」の回答内容)

- ・ 中小企業の魅力や就職への意欲を高めるにはどうしたら良いか。
- ・ 就職先を決めるのは何か？
- ・ 今後の中小製造業の在り方について。
- ・ 終身雇用制度と成果主義について。
- ・ 企業情報をどのように実施するのか？方針や方法
- ・ 自分に合った方向性について。
- ・ 今まで理系学部生を採用したことがない企業の場合、どのようにすれば理系学生とコンタクトを取れるのか？
- ・ 学生の間に、経営者の人達とコミュニケーションをとる機会を作ることは双方にとって有益だと考えます。
- ・ 異業種界に対する工学部（機械、電子、電気）学生の就業について

問15 問13で「ものづくり企業見学会」への参加を希望した企業にお聞きします。1回の見学で受け入れることができる人数は、何人程度かご回答をお願いします。

1. 10人程度
2. 20人程度
3. 30人程度
4. 上記より多い人数 ※ [] 人程度まで

1. 集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------|------------|-----------|-----------|---------------|
| 区分 | 10人程度 | 20人程度 | 30人程度 | 31人より 多い人数 |
| 全体集計 | 11社 | 7社 | 0社 | 1社 |

2. 選択肢ごとの企業名

○1. 10人程度

(新居浜市6社)

(株)一宮工務店 (株)クックチャム (株)サイバー (有)佐々木組
(株)田口工業所 (有)松川工業

(西条市5社)

大磯タオル(株) (株)クラレ西条事業所 (株)志賀商店 (有)高橋工業
(株)田窪工業所

○2. 20人程度

(新居浜市7社)

(株)愛新鉄工所 愛媛小林製菓(株) (株)コスにじゅういち (株)曾我部鐵工所
萩尾機械工業(株) 萩尾高圧容器(株) (株)三好鉄工所

(西条市0社)

○3. 30人程度

回答企業なし

○4. 31人より多い人数

(新居浜市0社)

(西条市1社) 花王化粧品(株)愛媛(株)

問16 問13で「ものづくり企業出張講座」への参加を希望した企業にお聞きします。愛媛大学において、無償で講演していただくことができますでしょうか。

(講演していただく方は、各企業にお任せします。)

1. 無償で講演することができる
2. 無償で講演することはできない

1. 集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 |
|------|---------------|----------------|
| 区分 | 無償で講演することができる | 無償で講演することはできない |
| 全体集計 | 10社 | 0社 |

2. 回答企業

ものづくり企業出張講座参加希望企業10社全てが、「1. 無償で講演することができる」と回答。

2. 愛媛大学生のインターンシップに関するアンケート調査

回答結果（企業に対するアンケート）

※問1は、事業所概要の記載項目につき省略。

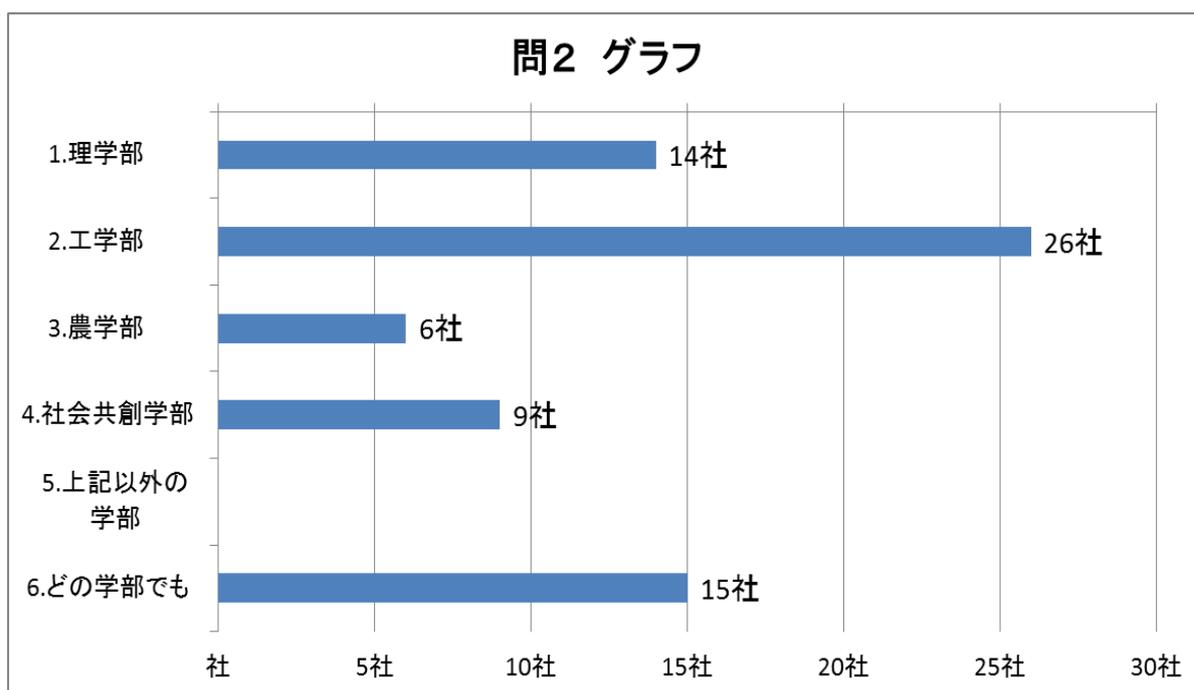
問2 インターンシップを受け入れることができる愛媛大学の学生の学部は、どの学部ですか。
（1～5の選択肢は複数回答可）

1. 理学部
2. 工学部
3. 農学部
4. 社会共創学部
5. 上記以外の学部
6. どの学部でも受け入れることができる（既に受け入れている）。

集計結果

複数回答（述べ回答数）

| 選択肢 区分 | 1 理学部 | 2 工学部 | 3 農学部 | 4 社会 共創学部 | 5 上記以外の 学部 | 6 どの学部でも 受け入れる ことができる |
|-----------|----------|----------|----------|-----------------|------------------|--------------------------------|
| 回答数 | 14社 | 26社 | 6社 | 9社 | 0社 | 15社 |



問3 大学生のインターンシップを受け入れることができる人数は、1回当たりどの程度ですか。

1. 1～2人
2. 3～5人
3. 6人以上
4. 未定

集計結果

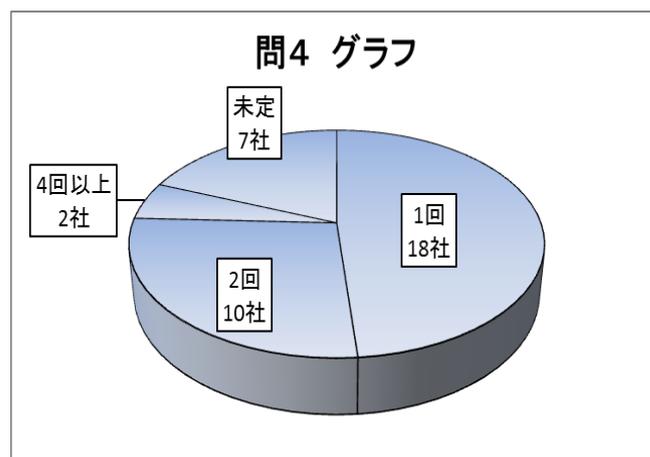
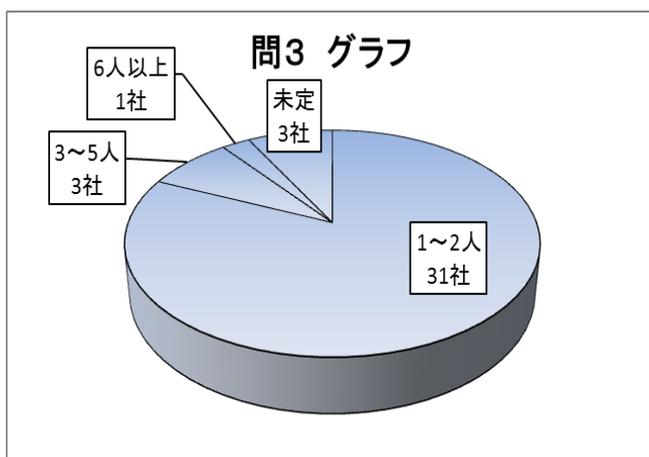
| 選択肢 区分 | 1 1～2人 | 2 3～5人 | 3 6人以上 | 4 未定 | 有効回答数 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-------|
| 回答数 | 31社 | 3社 | 1社 | 3社 | 38社 |
| 構成比率 | 82% | 8% | 2% | 8% | |

問4 大学生のインターンシップを受け入れることができる回数は、年間でどの程度ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. 未定

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 1回 | 2 2回 | 3 3回 | 4 4回以上 | 5 未定 | 有効 回答数 |
|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| 回答数 | 18社 | 10社 | 0社 | 2社 | 7社 | 37社 |
| 構成比率 | 49% | 27% | 0% | 5% | 19% | |



問5 大学生のインターンシップを受け入れることができる期間は、1回当たりどの程度ですか。

1. 4日以内
2. 5日(1週間)～10日(2週間)以内
3. 10日(2週間)より多い期間
4. 未定

集計結果

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 有効 回答数 |
|------|------|--------------|---------------|-----|-----------|
| 区分 | 4日以内 | 5日～10日 以内 | 10日より 多い期間 | 未定 | |
| 回答数 | 10社 | 20社 | 2社 | 6社 | 38社 |
| 構成比率 | 26% | 53% | 5% | 16% | |

問6 大学生のインターンシップを受け入れることができる時季は、いつ頃ですか。

(5と6以外複数回答可)

1. 1月～3月
2. 4月～6月
3. 7月～9月
4. 10月～12月
5. 年によって違うので未定
6. その他

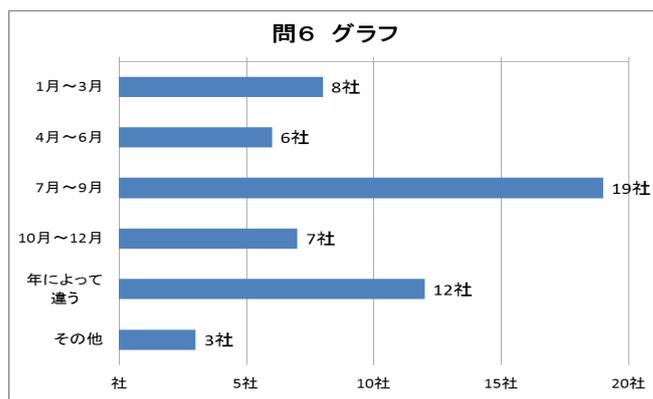
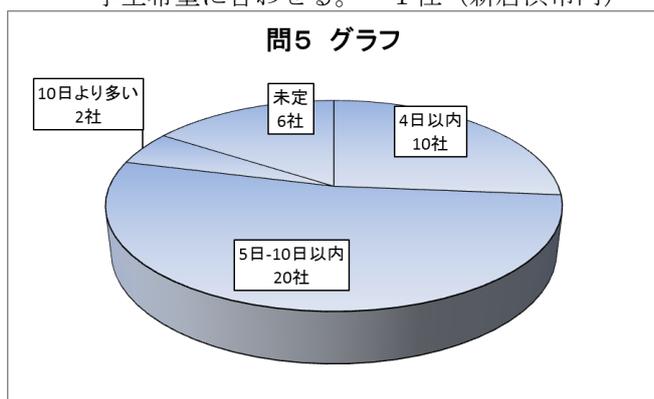
集計結果

複数回答 (述べ回答数)

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----|-------|-------|-------|---------|-----------------|-----|
| 区分 | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 年によって 違うので未定 | その他 |
| 回答数 | 8社 | 6社 | 19社 | 7社 | 12社 | 3社 |

(その他の回答)

- ・事前連絡があれば基本的にいつでも可。 1社 (新居浜市内)
- ・学生希望に合わせる。 1社 (新居浜市内)



問7 大学生のインターンシップを受け入れる場合、その間の学生の宿泊費用等を支援する制度がありますか。

1. 学生の負担なしの制度がある（宿泊施設の無償提供、宿泊料の全額負担など）
2. 学生の一部負担ありの制度があ（宿泊施設を格安での提供、宿泊料の一部負担など）
3. 支援する制度はない

集計結果

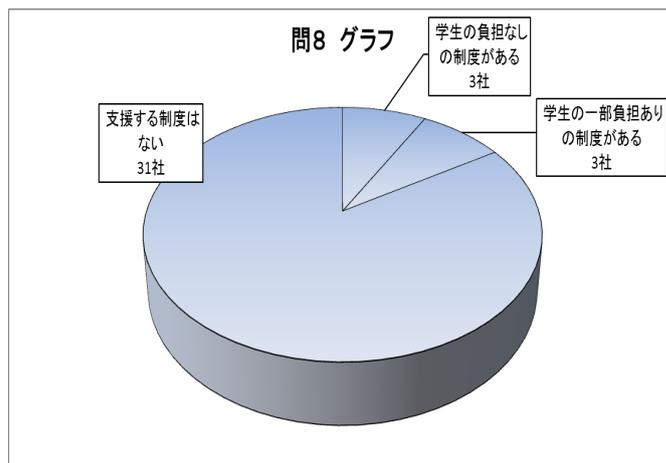
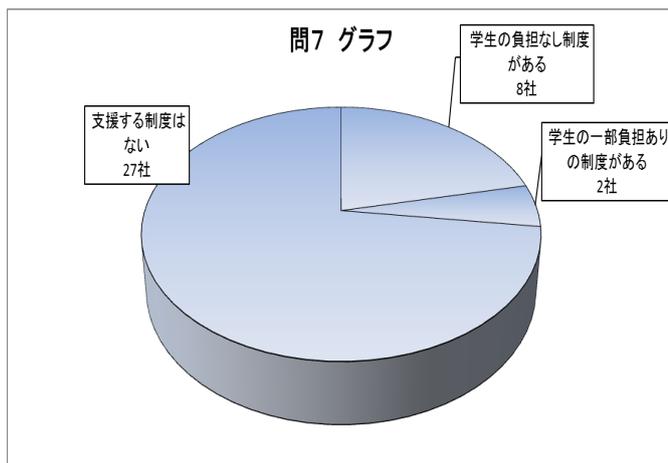
| 選択肢 区分 | 1 学生の負担なしの 制度がある | 2 学生の一部負担 ありの制度があ | 3 支援する 制度はない | 有効 回答数 |
|-----------|------------------------|-------------------------|--------------------|-----------|
| 回答数 | 8社 | 2社 | 27社 | 37社 |
| 構成比率 | 22% | 5% | 73% | |

問8 大学生のインターンシップを受け入れる場合、その間の学生の通勤費用（例：松山市から）等を支援する制度がありますか。

1. 学生の負担なしの制度がある（自宅から会社までの送迎、通勤費用の全額負担など）
2. 学生の一部負担ありの制度がある（格安料金での送迎、通勤費用の一部負担など）
3. 支援する制度はない

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 学生の負担なしの 制度がある | 2 学生の一部負担 ありの制度がある | 3 支援する 制度はない | 有効 回答数 |
|-----------|------------------------|--------------------------|--------------------|-----------|
| 回答数 | 3社 | 3社 | 31社 | 37社 |
| 構成比率 | 8% | 8% | 84% | |



問9 大学生のインターンシップを受け入れる場合、学生の配属予定部署はどこですか。
 (8と9の選択肢以外は複数回答可)

1. 製造関係
2. 研究開発・システム開発関係
3. 企画設計関係
4. 総務・管理関係
5. 営業・マーケティング関係
6. 販売・サービス関係
7. その他の部署
8. 特定の部署に配属しない
9. 特に決めていない (学生の学部や専攻によって判断する)

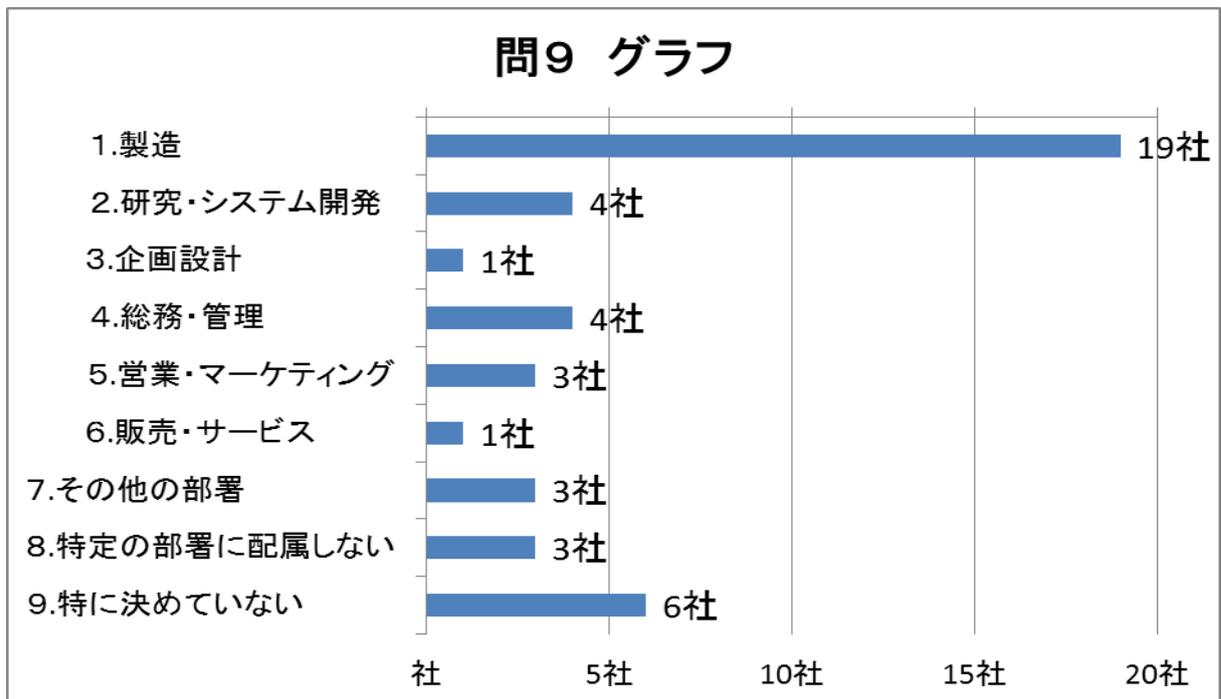
集計結果

複数回答 (述べ回答数)

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----|------|-------------|--------|---------|--------------|-----------|--------|-------------|----------|
| 区分 | 製造関係 | 研究・システム開発関係 | 企画設計関係 | 総務・管理関係 | 営業・マーケティング関係 | 販売・サービス関係 | その他の部署 | 特定の部署に配属しない | 特に決めていない |
| 回答数 | 19社 | 4社 | 1社 | 4社 | 3社 | 1社 | 3社 | 3社 | 6社 |

(その他の部署の回答)

- ・CADでの製作図作成 1社 (新居浜市内)
- ・設計部 1社 (新居浜市内)
- ・設備管理 1社 (西条市内)



問10 大学生のインターンシップを受け入れる場合、どのような内容の実施を予定していますか。(複数回答可)

○選択肢

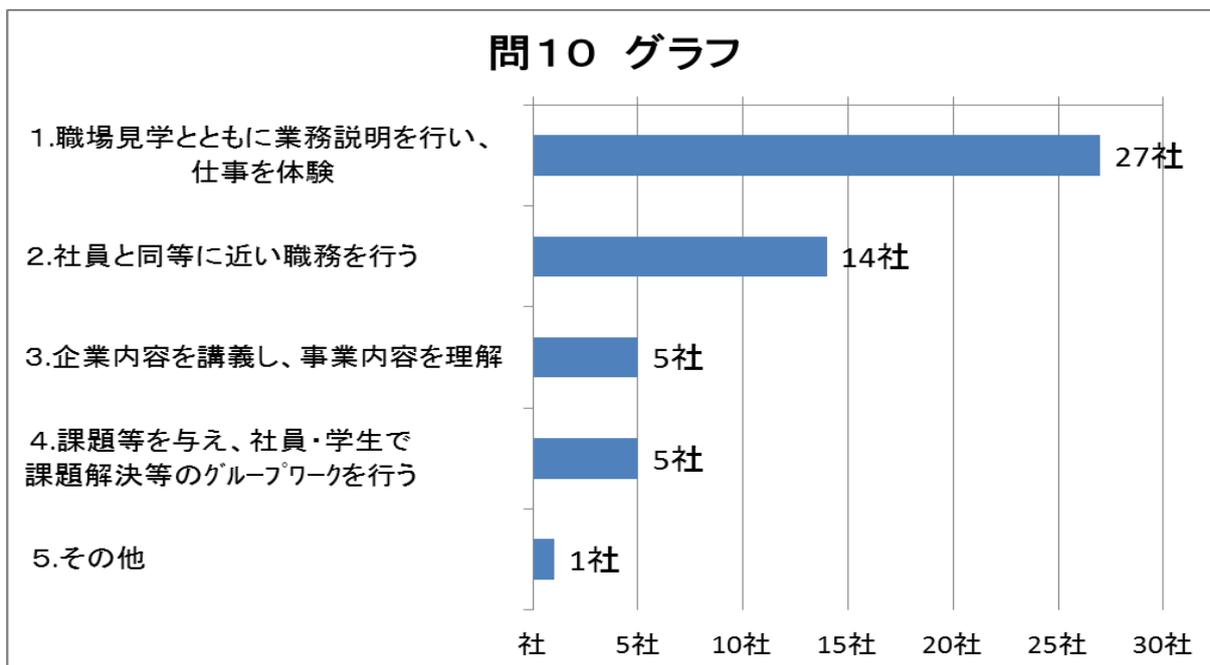
1. 会社、工場、職場等の見学とともに業務の説明を行い、仕事を少し体験してもらう
2. 実際の職場に配属し、社員と同等に近い職務を行ってもらう
3. 業界、企業、業務内容について講義し、企業の事業内容を理解してもらう
4. 課題やテーマを与えて、社員と一緒にまたは学生同士で課題解決等のグループワークを行ってもらう
5. その他

集計結果 (述べ回答数)

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------|-----------------------|---------------|------------------|-------------------------------|-----|
| 区分 | 職場見学とともに業務説明を行い、仕事を体験 | 社員と同等に近い職務を行う | 企業内容を講義し、事業内容を理解 | 課題等を与え、社員・学生で課題解決等のグループワークを行う | その他 |
| 回答数 | 27社 | 14社 | 5社 | 5社 | 1社 |
| 構成比率 | 51% | 27% | 10% | 10% | 2% |

(その他の回答)

- ・自身で製作したいものを決め、設計～製作～検査等で全て体験し、オリジナル作品を完成させることでものづくりの魅力を体感して頂く。
- ・会社の流れに沿った作業を通して自分でものづくりを行って貰う。1社 (新居浜市内)



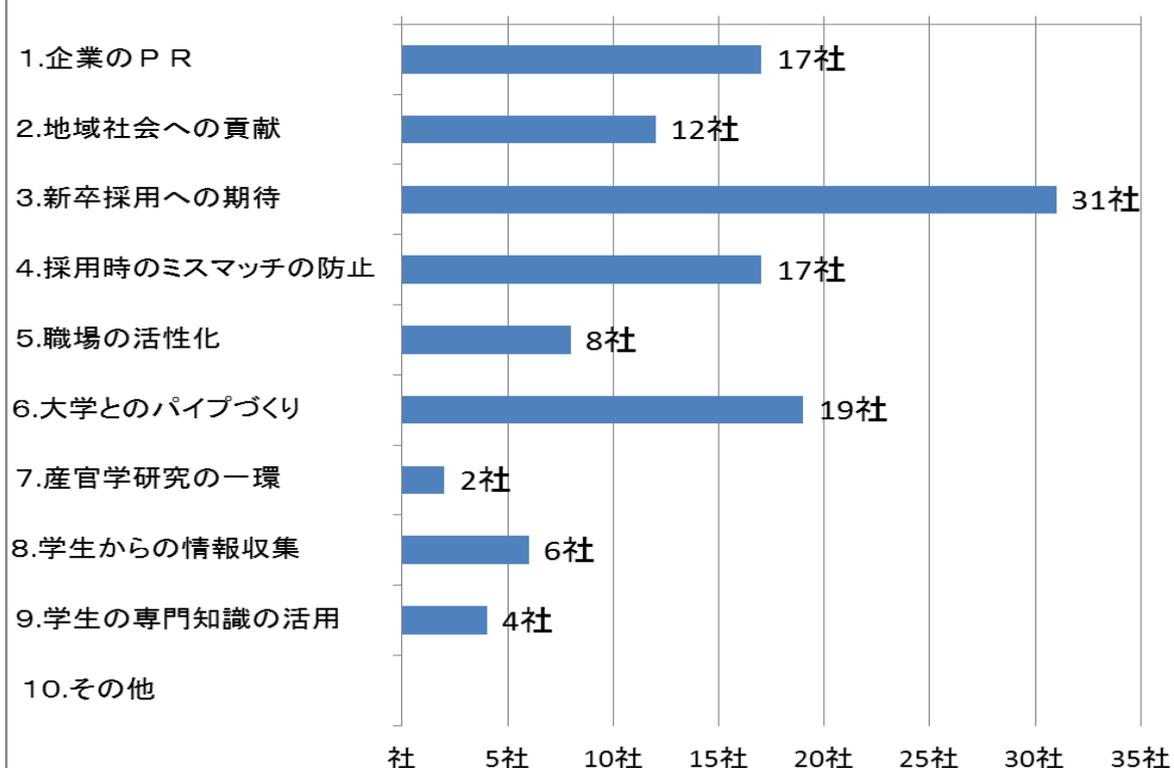
問11 大学生のインターンシップを受け入れる場合、どのような成果を期待しますか。
(複数回答可)

1. 企業のPR
2. 地域社会への貢献
3. 新卒採用への期待
4. 採用時のミスマッチの防止
5. 職場の活性化
6. 大学とのパイプづくり
7. 産官学研究の一環
8. 学生からの情報収集
9. 学生の専門知識の活用
10. その他

集計結果 (述べ回答数)

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|------|-------|----------|----------|--------------|--------|------------|----------|-----------|---------|-----|
| 区分 | 企業のPR | 地域社会への貢献 | 新卒採用への期待 | 採用時のミスマッチの防止 | 職場の活性化 | 大学とのパイプづくり | 産官学研究の一環 | 学生からの情報収集 | 専門知識の活用 | その他 |
| 回答数 | 17社 | 12社 | 31社 | 17社 | 8社 | 19社 | 2社 | 6社 | 4社 | 0社 |
| 構成比率 | 15% | 10% | 27% | 15% | 7% | 16% | 2% | 5% | 3% | 0% |

問11 グラフ



3. 新居浜市と西条市のものづくり企業に対するアンケート調査

回答結果（愛媛大学生に対するアンケート）

問1～問6の選択肢

- | | | |
|-----------------------|-------------------|------------------|
| 1. (株)愛新鉄工所 | 2. (株)アイワ技研 | 3. (株)アドバンテック |
| 4. (株)一宮工務店エンジニアリング本部 | 5. 愛媛小林製菓(株) | 6. 大磯タオル(株) |
| 7. (株)尾崎設計事務所 | 8. (株)越智鋳造所 | 9. 花王㈱グループ㈱愛媛(株) |
| 10. (株)クック・チャム四国 | 11. (株)クラレ西条事業所 | 12. (株)コスにじゅういち |
| 13. (株)サイバー | 14. (有)佐々木組 | 15. (有)塩崎製作所 |
| 16. (株)志賀商店 | 17. 住友共同電力(株) | 18. 正起ガス(株) |
| 19. (株)曾我部鐵工所 | 20. (有)高橋工業 | 21. (株)田口工業所 |
| 22. (株)田窪工業所(西条) | 23. 東和工業(株) | 24. 土岐機械工業(株) |
| 25. 南海工業(株) | 26. 萩尾機械工業(株) | 27. 萩尾高压容器(株) |
| 28. (有)松川工業 | 29. 眞鍋造機(株)（西条工場） | 30. 丸重商事(株) |
| 31. (株)マルヤス | 32. (株)三好鉄工所 | |

※問1、問2は「33. 全て知らない」が、問6は「33. インターンシップ自体に参加するつもりがない」が選択肢に追加されます。

問1 次の企業のうち、名前を知っていた企業はありますか。該当する企業を選んでください。(33 以外は複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 知らない | 有効回答数 |
|---------|------|------|------|-----|-----|------|------|-------|
| 全体集計 | 146人 | 156人 | 130人 | 97人 | 40人 | 52人 | 241人 | 862人 |
| 県内出身者集計 | 38人 | 54人 | 62人 | 46人 | 26人 | 31人 | 34人 | 291人 |

問2 次の企業のうち、名前だけでなく、どのような業務を行っているか知っていた企業を選んでください。(33 以外は複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 知らない | 有効回答数 |
|---------|------|-----|-----|-----|----|------|------|-------|
| 全体集計 | 171人 | 95人 | 58人 | 12人 | 4人 | 4人 | 504人 | 848人 |
| 県内出身者集計 | 78人 | 39人 | 30人 | 8人 | 3人 | 3人 | 126人 | 287人 |

問3 次の企業のうち、業務内容や技術・製品に興味のあった企業を選んでください。
 少なくとも1つは選んでください。(複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|---------|------|------|-----|-----|-----|------|-----------|
| 全体集計 | 549人 | 148人 | 81人 | 38人 | 13人 | 17人 | 846人 |
| 県内出身者集計 | 182人 | 52人 | 31人 | 8人 | 6人 | 6人 | 285人 |

問4 次の企業のうち、見学に行ってみたいと思う企業を選んでください。
 少なくとも1つは選んでください。(複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|---------|------|------|------|-----|-----|------|-----------|
| 全体集計 | 479人 | 165人 | 121人 | 43人 | 18人 | 12人 | 838人 |
| 県内出身者集計 | 157人 | 55人 | 46人 | 13人 | 9人 | 5人 | 285人 |

問5 次の企業のうち、企業が大学で行う講義（業界、業務内容、技術や製品のこと）を
 聞いてみたいと思う企業を選んでください。少なくとも1つは選んでください。
 (複数回答可)

集計結果

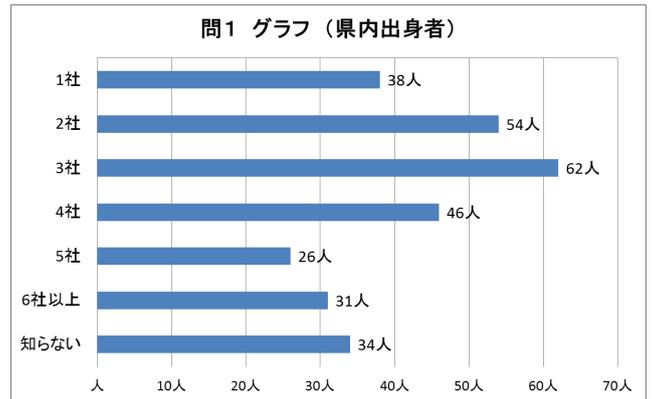
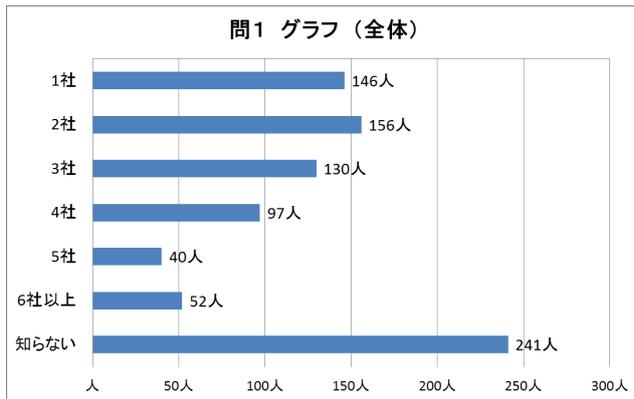
| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|---------|------|------|-----|-----|-----|------|-----------|
| 全体集計 | 512人 | 160人 | 91人 | 50人 | 16人 | 17人 | 846人 |
| 県内出身者集計 | 161人 | 63人 | 37人 | 19人 | 7人 | 2人 | 289人 |

問6 次の企業のうち、インターンシップに参加してみたいと思う企業を選んでください。
 (33以外は複数回答可)

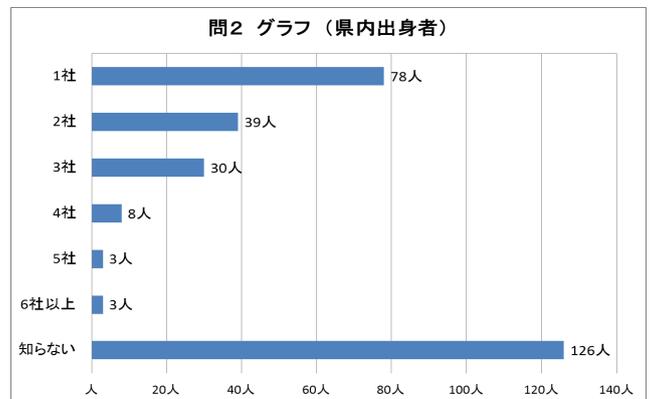
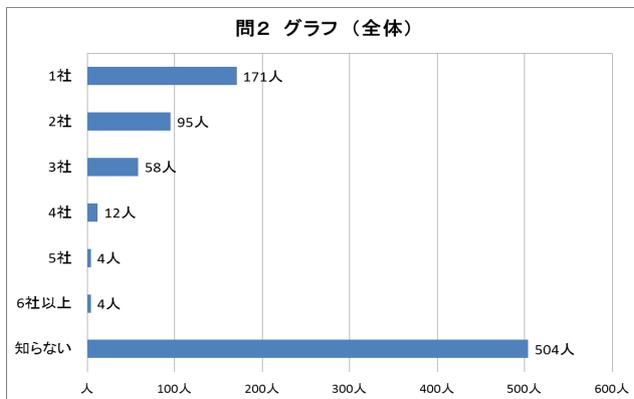
集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 参加 しない | 有効 回答数 |
|---------|------|------|-----|-----|-----|------|-----------|-----------|
| 全体集計 | 394人 | 142人 | 68人 | 26人 | 10人 | 8人 | 205人 | 853人 |
| 県内出身者集計 | 133人 | 49人 | 24人 | 10人 | 5人 | 1人 | 69人 | 291人 |

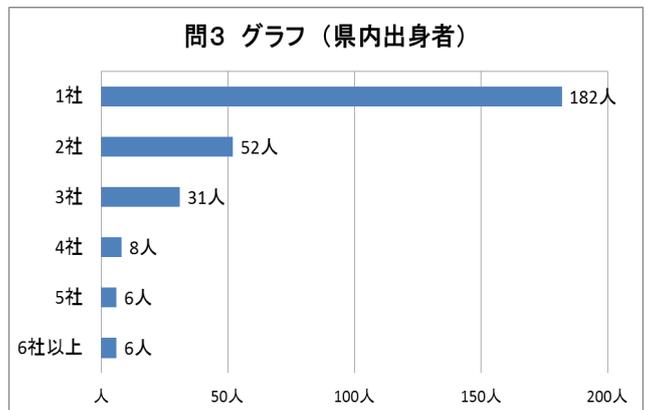
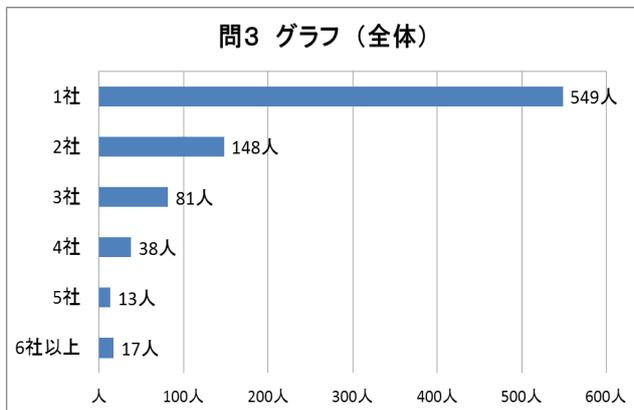
問1 名前を知っていた企業数



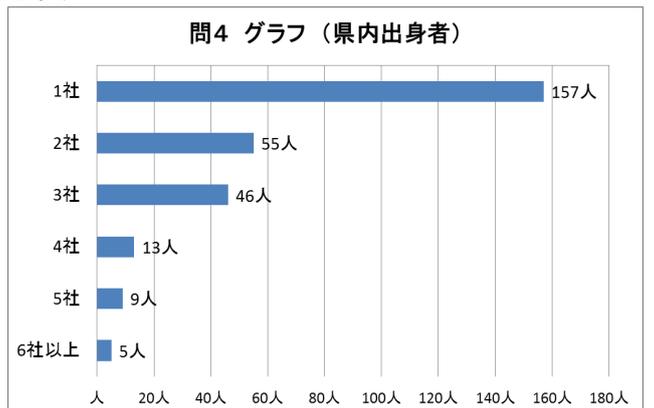
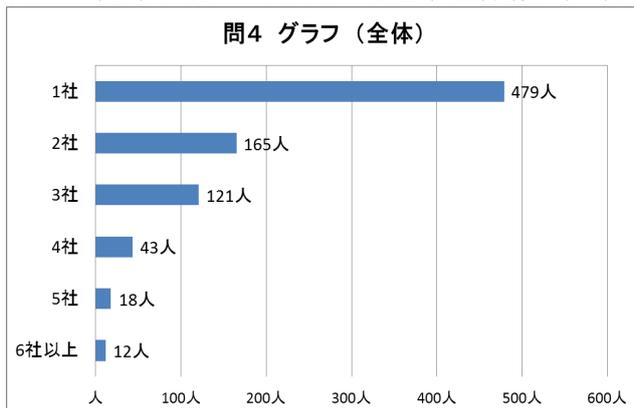
問2 名前だけでなく、どのような業務を行っているか知っていた企業数



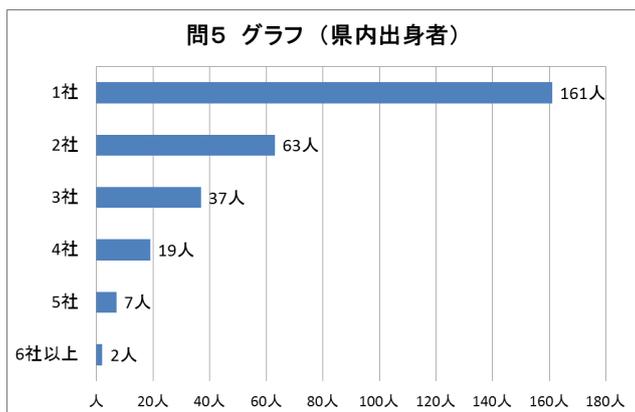
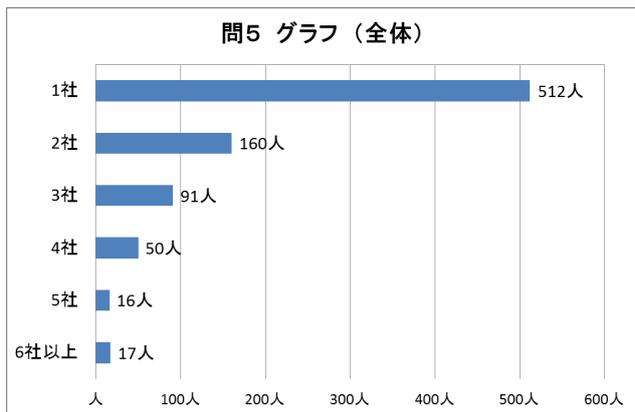
問3 業務内容や技術・製品に興味のあった企業数 (1社選択必須)



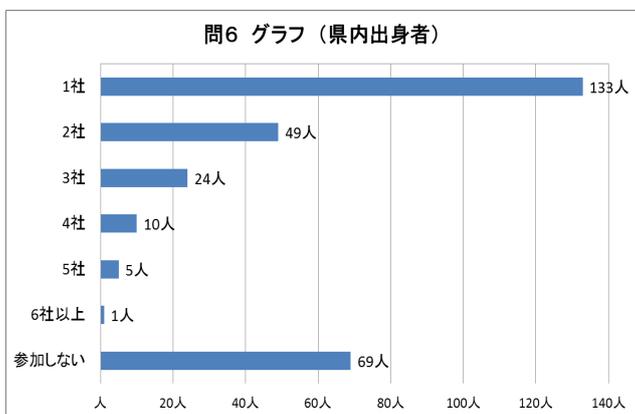
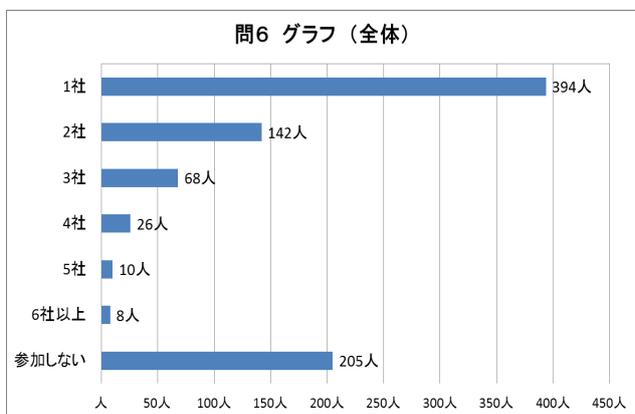
問4 見学に行ってみたいと思う企業数 (1社選択必須)



問5 企業が大学で行う講義を聞いてみたいと思う企業数（1社選択必須）



問6 インターンシップに参加してみたいと思う企業数



問7 所在地が新居浜市と西条市にある企業のインターンシップに参加したいと思いますか。

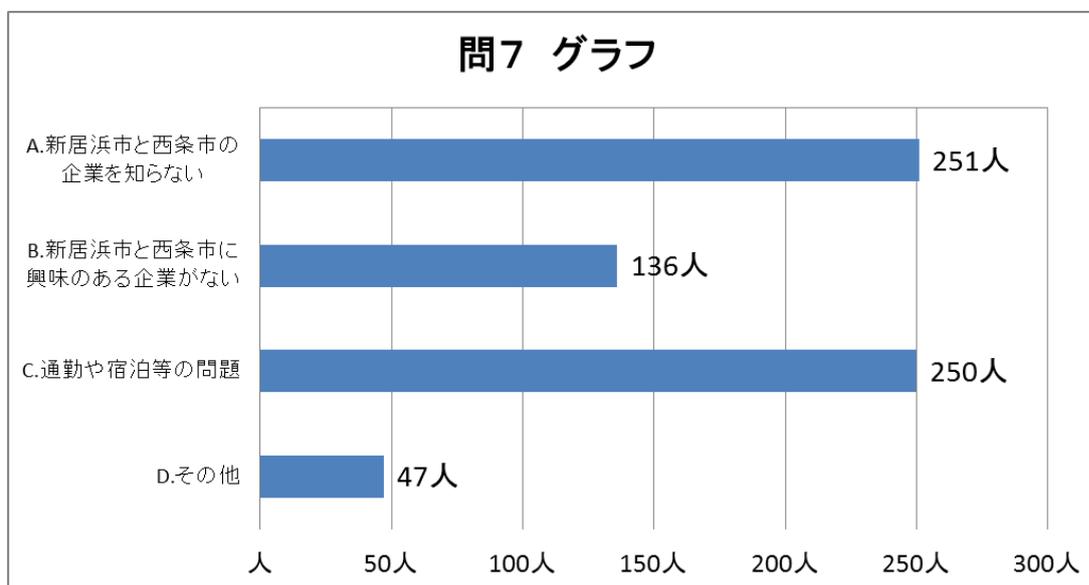
1. 参加したいと思う
2. 参加したいと思わない ⇒理由を下欄から選択してください。(E以外は複数選択可)
 - A. 新居浜市と西条市の企業を知らない
 - B. 新居浜市と西条市に興味のある企業がない
 - C. 通勤や宿泊等の問題 (遠い、費用がかかる 等)
 - D. その他 (下欄に記載をお願いします)
 - E. インターンシップ自体に参加するつもりがない

1. 有効回答数のうち、「1. 参加したいと思う」と「2. 参加したいと思わない」の回答人数の内訳は下記のとおり。

| | 1. 参加したいと思う | 2. 参加したいと思わない | 有効回答数 |
|------|-------------|---------------|-------|
| 回答人数 | 215人 | 661人 | 876人 |
| 構成比率 | 25% | 75% | |

2. 「2. 参加したいと思わない」の回答した人数661人のうち、理由を「E. インターンシップ自体に参加するつもりがない」と回答した人数は90人(14%)。残りの選択肢A～Dを回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| | A. 新居浜市と西条市の企業を知らない | B. 新居浜市と西条市に興味のある企業がない | C. 通勤や宿泊等の問題 | D. その他 |
|------|---------------------|------------------------|--------------|--------|
| 回答人数 | 251人 | 136人 | 250人 | 47人 |
| 構成比率 | 37% | 20% | 37% | 6% |



(その他の回答)

理学部

- ・面倒くさそう、疲れそう
- ・教職専攻のため
- ・行きたくない訳ではないが、目的が定まらない
- ・遠い
- ・就職を地元とする予定だから
- ・愛媛県で就職しない
- ・将来、新居浜市と西条市で就職しようとは考えていないため
- ・他により参加したいインターンシップがあるから
- ・地元で就職を考えているから
- ・大阪周辺を探したい
- ・行くなら地元でいきたい

工学部

- ・地元に戻る予定だから
- ・土地で決めるきっかけにはならない
- ・別の地域で働きたいから
- ・地元で就職するため
- ・個人的な要件でインターンシップに参加できない
- ・愛媛県外の企業にインターンシップに行く予定だから
- ・大学院へ進学を考えているから
- ・愛媛で就職するつもりがない
- ・すでに他県のインターンシップに複数登録している
- ・地元で就職したいから
- ・本州で就職したい為
- ・地元就職希望だからそっちに行きたい
- ・愛媛で就職を考えていないので

農学部

- ・大学で学んでいることと内容が違う
- ・将来的にそこに住む予定がないから
- ・自分のやりたいことが無い
- ・地元で就職したいと考えているため
- ・特に新居浜市と西条市に魅力を感じない
- ・県外に出るつもりだから
- ・将来県外で就職したいから、愛媛は地元松山以外でインターンを考えていないから
- ・公務員志望のため
- ・入社したい企業がない

大学院

- ・他の市の企業へのインターンシップが決まっているため
- ・実家から遠いため
- ・インターンシップに参加しました
- ・研究室の雰囲気、空気として、インターンに参加する暇があるなら研究しろとなっている
- ・時間的余裕がない為行きたくても行けない
- ・愛媛県で就職するつもりがない
- ・立地（将来住むことを考えた時の利便性の悪さ）

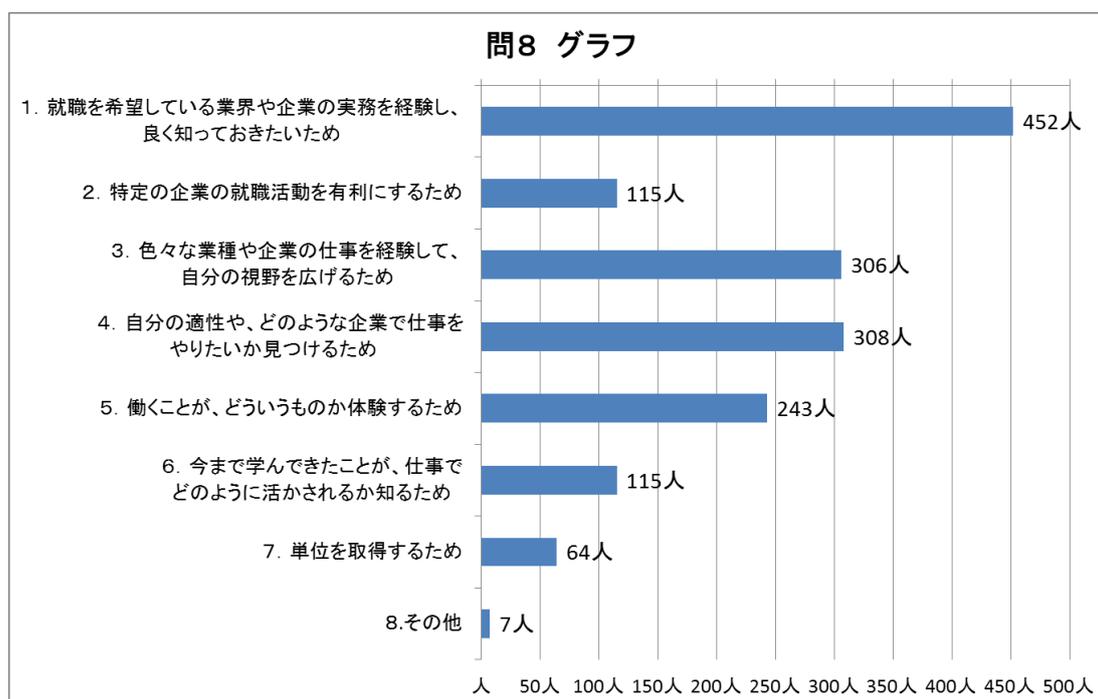
問8 インターンシップに参加する場合、参加する目的は何ですか。

(9以外は複数回答可)

1. 就職を希望している業界や企業の実務を経験し、良く知っておきたいため
2. 特定の企業の就職活動を有利にするため
3. 色々な業種や企業の仕事を体験して、自分の視野を広げるため
4. 自分の適性や、どのような企業で仕事をやりたいか見つけるため
5. 働くことが、どういうものか体験するため
6. 今まで学んできたことが、仕事でどのように活かされるか知るため
7. 単位を取得するため(必修のため)
8. その他(下欄に記載をお願いします)
9. インターンシップ自体に参加するつもりがない

○有効回答数889人のうち、「9. インターンシップに参加するつもりがない」を回答した人は、172人(19%)で、残りの選択肢1～8を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|------|-----------------------------------|--------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------|--------------------------------|-----------|-----|
| 区分 | 就職を希望している業界や企業の実務を経験し、良く知っておきたいため | 特定の企業の就職活動を有利にするため | 色々な業種や企業の仕事を体験して、自分の視野を広げるため | 自分の適性や、どのような企業で仕事をやりたいか見つけるため | 働くことが、どういうものか体験するため | 今まで学んできたことが、仕事でどのように活かされるか知るため | 単位を取得するため | その他 |
| 回答人数 | 452人 | 115人 | 306人 | 308人 | 243人 | 115人 | 64人 | 7人 |
| 構成比率 | 28% | 7% | 19% | 19% | 15% | 7% | 4% | 1% |



(その他の回答)

工学部

- ・ 地元の企業を知りたいから
- ・ 何のために働くのかを体験し、研究を行ったことが企業に反映されているか知る。

農学部

- ・ 女性がどのように働いているか知りたい
- ・ 企業のノウハウを得るため

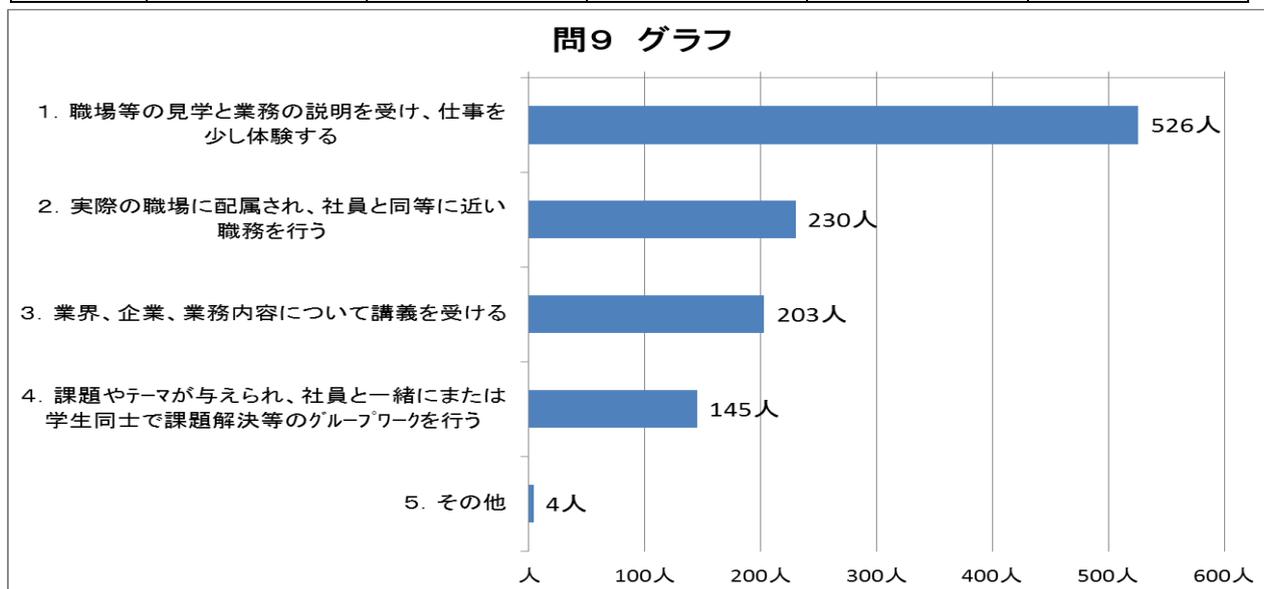
問9 インターンシップに参加する場合、どのような内容を希望しますか。

(6以外は複数回答可)

1. 職場等の見学と業務の説明を受け、仕事を少し体験する
2. 実際の職場に配属され、社員と同等に近い職務を行う
3. 業界、企業、業務内容について講義を受ける
4. 課題やテーマが与えられ、社員と一緒にまたは学生同士で課題解決等のグループワークを行う
5. その他（下欄に記載してください）
6. インターンシップ自体に参加するつもりがない

○有効回答数872人のうち、「6. インターンシップに参加するつもりがない」を回答した人数は、173 (20%)で、残りの選択肢1～5を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 選択肢 区分 | 1 職場等の見学と 業務の説明を受 け、仕事を少し 体験する | 2 実際の職場に配 属され、社員と 同等に近い職務 を行う | 3 業界、企業、業 務内容について 講義を受ける | 4 課題やテーマが与えられ、 社員と一緒にまたは学 生同士で課題解決等の グループワークを行う | 5 その他 |
|-----------|--|---|-----------------------------------|---|----------|
| 回答人数 | 526人 | 230人 | 203人 | 145人 | 4人 |
| 構成比率 | 47% | 21% | 18% | 13% | 1% |



(その他の回答)

理学部

- ・将来（10年後や20年度）の仕事のあり方について教わる

工学部

- ・就職の時に優遇される

農学部

- ・金融

問10 インターンシップに参加する場合、どの程度の期間が参加しやすいと思いますか。

1. 4日以内
2. 5日(1週間)～10日(2週間)以内
3. 10日(2週間)より多い期間
4. 特にない
5. インターンシップ自体に参加するつもりがない

集計結果

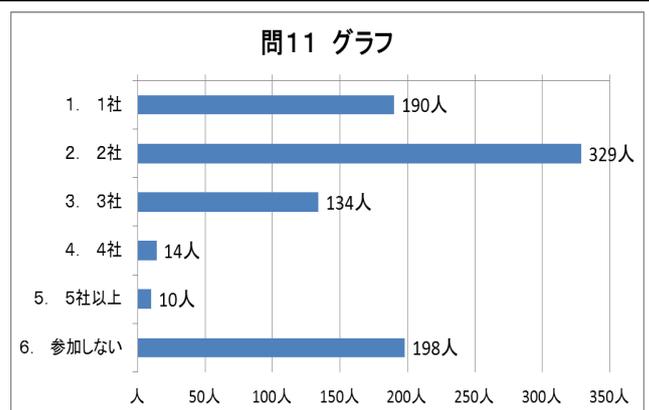
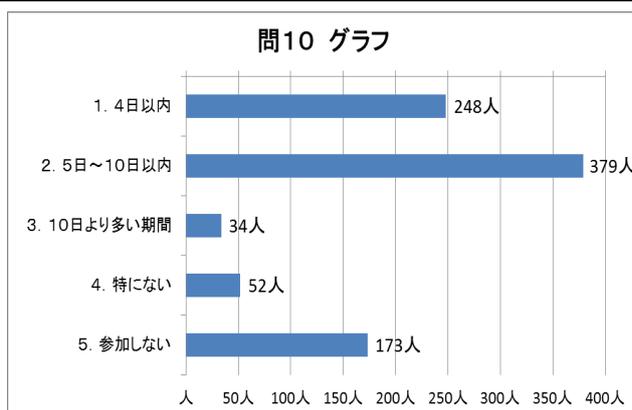
| 選択肢 区分 | 1 4日以内 | 2 5日(1週間)～ 10日(2週間) 以内 | 3 10日(2週間) より多い期間 | 4 特にない | 5 インターンシップ自 体に参加する つもりがない | 有効 回答数 |
|-----------|-----------|---------------------------------|-------------------------|-----------|------------------------------------|-----------|
| 回答人数 | 248人 | 379人 | 34人 | 52人 | 173人 | 886人 |
| 構成比率 | 28% | 43% | 4% | 6% | 19% | |

問11 インターンシップには、何社程度参加してみたいですか。

1. 1社
2. 2社
3. 3社
4. 4社
5. 5社以上
6. インターンシップ自体に参加するつもりがない

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 1社 | 2 2社 | 3 3社 | 4 4社 | 5 5社以上 | 6 インターンシップ 自体に参加 するつも りがない | 有効 回答数 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|--|-----------|
| 回答人数 | 190人 | 329人 | 134人 | 14人 | 10人 | 198人 | 875人 |
| 構成比率 | 22% | 37% | 15% | 2% | 1% | 23% | |



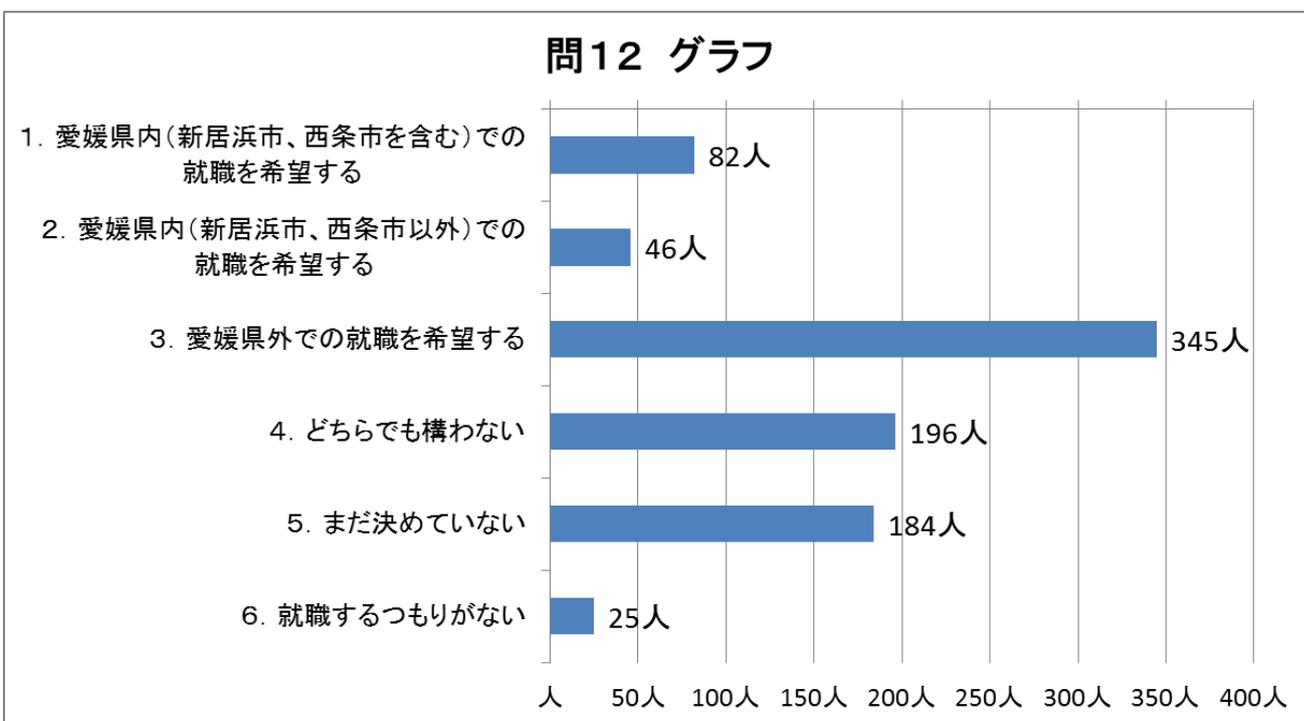
問12 愛媛県内での就職を希望しているか教えてください。

1. 愛媛県内（新居浜市、西条市を含む）での就職を希望する
2. 愛媛県内（新居浜市、西条市以外）での就職を希望する
3. 愛媛県外での就職を希望する
4. どちらでも構わない
5. まだ決めていない
6. 就職するつもりがない（起業する、家業を継ぐ等）

集計結果

| 選択肢 区分 | 1 愛媛県内 （新居浜市、 西条市を含 む）での就職 を希望する | 2 愛媛県内 （新居浜市、 西条市以外） での就職を 希望する | 3 愛媛県外で の就職を 希望する | 4 どちらでも 構わない | 5 まだ決めて いない | 6 就職するつ もりがない | 有効 回答数 |
|-----------|---|--|----------------------------|--------------------|-------------------|---------------------|-----------|
| 回答人数 | 82人 | 46人 | 345人 | 196人 | 184人 | 25人 | 878人 |
| 構成比率 | 10% | 5% | 39% | 22% | 21% | 3% | |

問12 グラフ



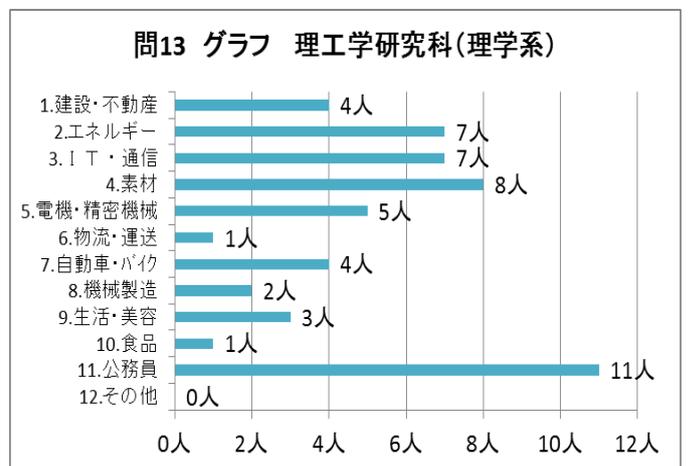
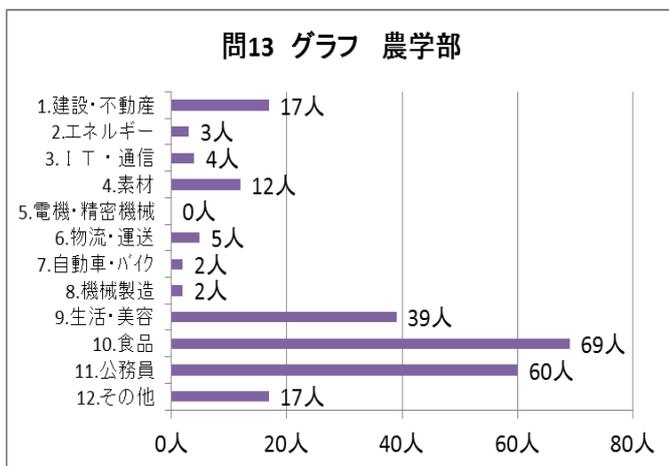
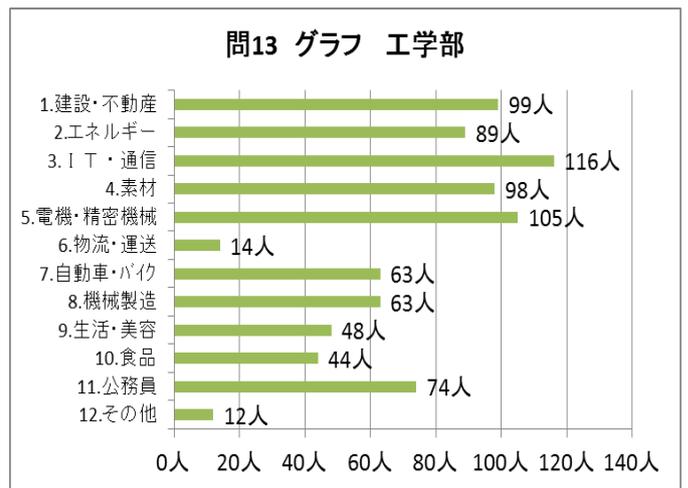
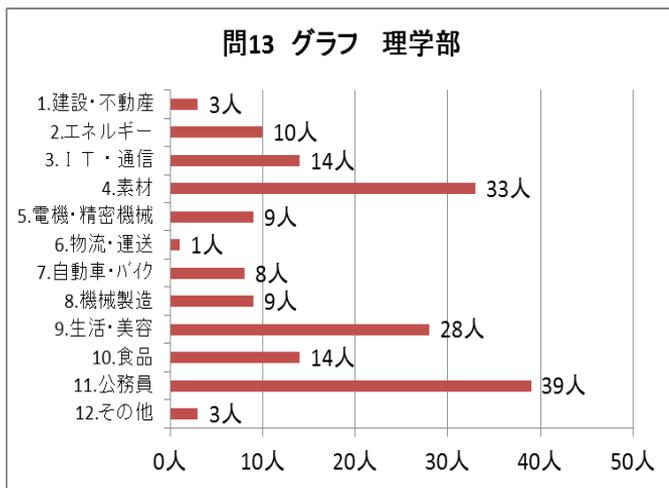
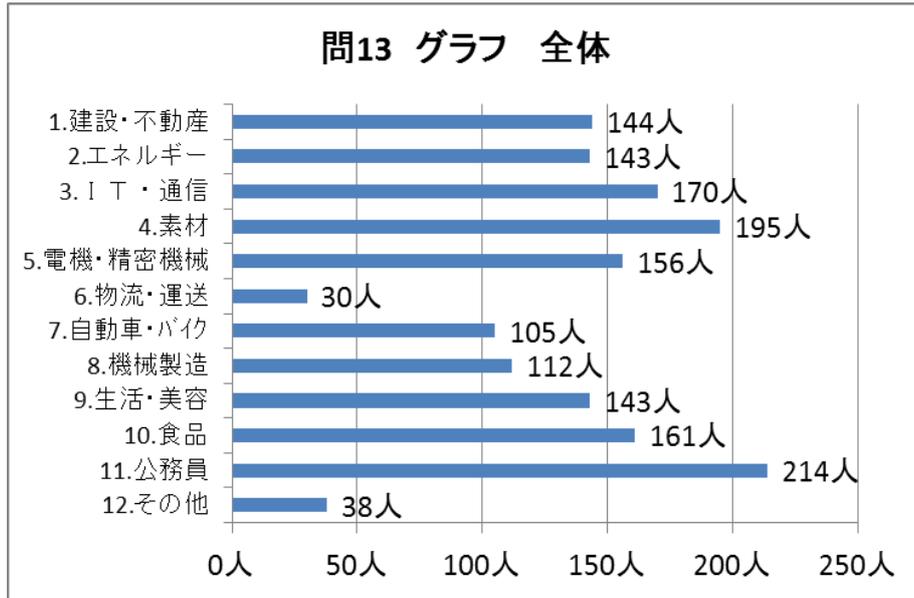
問13 あなたが就職する時、就職を希望すると思う業種を教えてください。

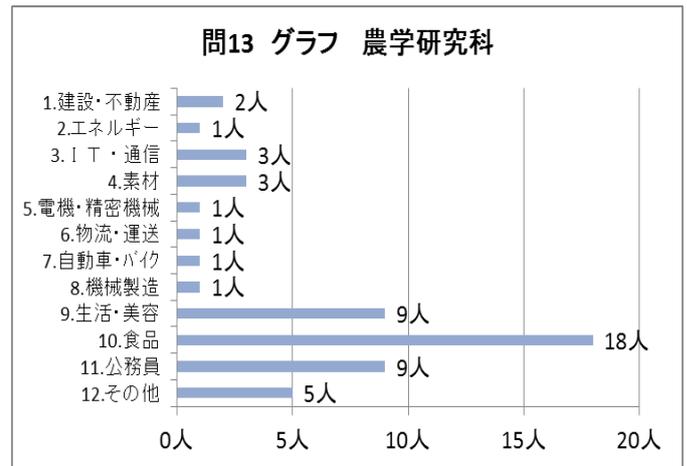
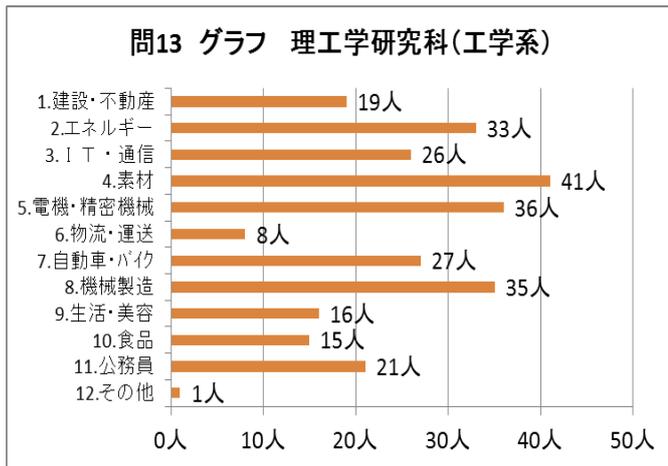
(13、14、15以外は複数回答可)

1. 建設・不動産関連（建設・不動産・住宅・住宅設備・土木・建設コンサル・電気通信工事 等）
2. エネルギー関連（石油・電力・ガス 等）
3. IT・通信関連（通信・IT・ソフトウェア 等）
4. 素材関連（化学・繊維・鉄鋼・金属・非鉄金属・ガラス・土石製品・製紙・ゴム 等）
5. 電機・精密機械関連（家電・電気機器・電子部品・精密機械・医療機械・OA機器・半導体等）
6. 物流・運送関連（運送・海運・航空・鉄道 等）
7. 自動車・バイク関連（自動車・自動車部品・二輪車・バイク 等）
8. 機械製造関連（機械・造船・重機・プラント・製造機械・工作機械 等）
9. 生活・美容関連（サニタリー・製薬・文具・雑貨・化粧品 等）
10. 食品関連（食品・菓子・パン・製粉・ビール・清涼飲料 等）
11. 公務員（国家公務員・地方公務員 等）
12. その他 ※その他の場合は、業種を記載してください。
13. 業種を限定しない
14. まだ決めていない
15. 就職するつもりがない（起業する、家業を継ぐ等）

○有効回答数877人のうち、「13. 業種を限定しない」を38人（4%）、「14. まだ決めていない」を82人（9%）、「15. 就職するつもりがない（起業する、家業を継ぐ等）」を6人（0.7%）が選択した。残りの選択肢1～12を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 選択肢 区分 | 1 建設・ 不動産 | 2 エネルギー | 3 IT・ 通信 | 4 素材 | 5 電機・ 精密機械 | 6 物流・ 運送 | 7 自動 車・バイク | 8 機械製造 | 9 生活・ 美容 | 10 食品 | 11 公務員 | 12 その他 |
|---------------------|-----------------|------------|----------------|---------|------------------|----------------|------------------|-----------|----------------|----------|-----------|-----------|
| 全体 | 144人 | 143人 | 170人 | 195人 | 156人 | 30人 | 105人 | 112人 | 143人 | 161人 | 214人 | 38人 |
| 理学部 | 3人 | 10人 | 14人 | 33人 | 9人 | 1人 | 8人 | 9人 | 28人 | 14人 | 39人 | 3人 |
| 工学部 | 99人 | 89人 | 116人 | 98人 | 105人 | 14人 | 63人 | 63人 | 48人 | 44人 | 74人 | 12人 |
| 農学部 | 17人 | 3人 | 4人 | 12人 | 0人 | 5人 | 2人 | 2人 | 39人 | 69人 | 60人 | 17人 |
| 理工学 研究科 (理学系) | 4人 | 7人 | 7人 | 8人 | 5人 | 1人 | 4人 | 2人 | 3人 | 1人 | 11人 | 0人 |
| 理工学 研究科 (工学系) | 19人 | 33人 | 26人 | 41人 | 36人 | 8人 | 27人 | 35人 | 16人 | 15人 | 21人 | 1人 |
| 農学 研究科 | 2人 | 1人 | 3人 | 3人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 9人 | 18人 | 9人 | 5人 |





(その他の回答)

理学部

民間教育、宇宙物理、私立高校教員

工学部

航空整備士、マスコミ関連、ゲーム機、広告、出版、銀行、テレビ関係、放送（メディア）系（TV局とか）、旅行関係、出版社、放送、宇宙工学

農学部

森林事務・管理、園芸、農薬会社、農業関連、水産業、広告代理店、高校教諭、研究職（生物系）、環境教育事業、農業協同組合、第一次産業、出版、金融、商社、生物関連

大学院

放送関連、農薬会社、環境アセスメント、農業関連、水産関連、水処理、分析会社

問14 あなたが就職する会社を選ぶ場合、どのような基準を優先して選ぶと思いますか。

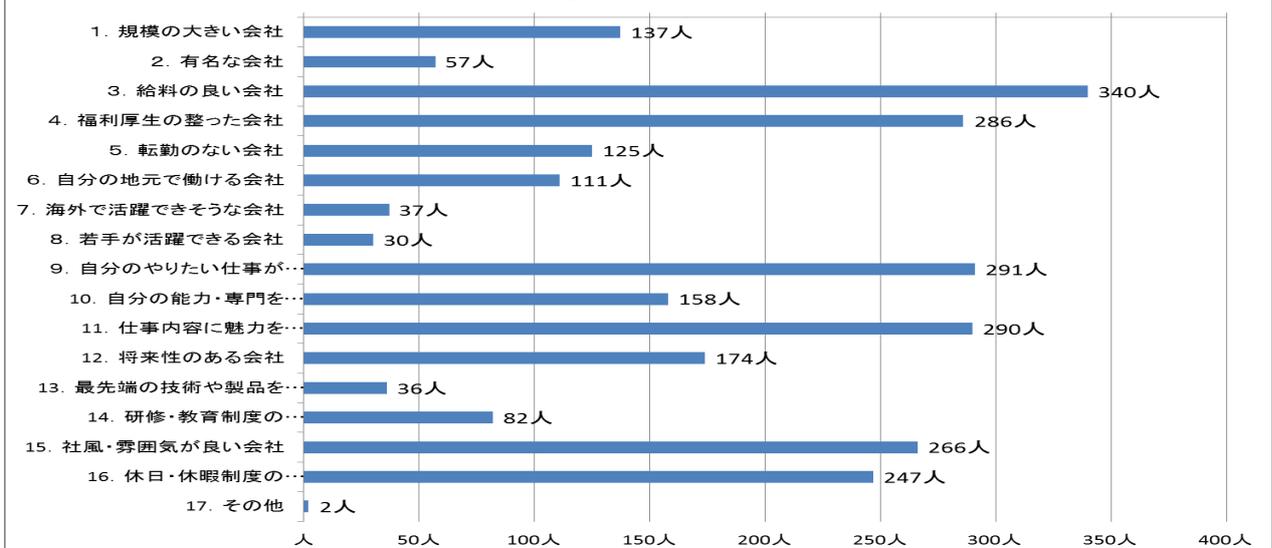
次のうち3つまで選んでください。(18は複数回答不可)

1. 規模の大きい会社 (大企業)
2. 有名な会社
3. 給料の良い会社
4. 福利厚生が整った会社
5. 転勤のない会社
6. 自分の地元で働ける会社
7. 海外で活躍できそうな会社
8. 若手が活躍できる会社
9. 自分のやりたい仕事ができる会社
10. 自分の能力・専門を活かせる会社
11. 仕事内容に魅力を感じる会社
12. 将来性のある会社
13. 最先端の技術や製品を持っている会社
14. 研修・教育制度のしっかりしている会社
15. 社風・雰囲気が良い会社
16. 休日・休暇制度(育児休暇等)の制度が整った会社
17. その他 ※その他に3つ記載していただいても構いません。
18. 就職するつもりがない(起業する、家業を継ぐ等)

○有効回答数869人のうち、「18. 就職するつもりがない(起業する、家業を継ぐ等)」を回答した人数は6人(0.7%)で、残りの選択肢1～17を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|------|--------|-------|-------|----------|-------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|---------|--------|-----------|---------|--------|---------|------|
| 区分 | 規模の大きい | 有名な会社 | 給料の良い | 福利厚生が整った | 転勤のない | 自分の地元で働ける | 海外で活躍できそう | 若手が活躍できる | 自分のやりたい仕事 | 能力・専門を活かせる | 仕事内容に魅力 | 将来性のある | 最先端の技術や製品 | 研修・教育制度 | 社風・雰囲気 | 休日・休暇制度 | その他 |
| 回答人数 | 137 | 57 | 340 | 286 | 125 | 111 | 37 | 30 | 291 | 158 | 290 | 174 | 36 | 82 | 266 | 247 | 2 |
| 構成比率 | 5.1% | 2.1% | 12.7% | 10.7% | 4.7% | 4.2% | 1.4% | 1.1% | 10.9% | 5.9% | 10.9% | 6.5% | 1.3% | 3.1% | 10.0% | 9.3% | 0.1% |

問14 グラフ



(その他の回答)

大学院

・他にない強みを持っている会社

問15 あなたが就職活動を行う場合、企業の情報として知りたいことは何ですか。

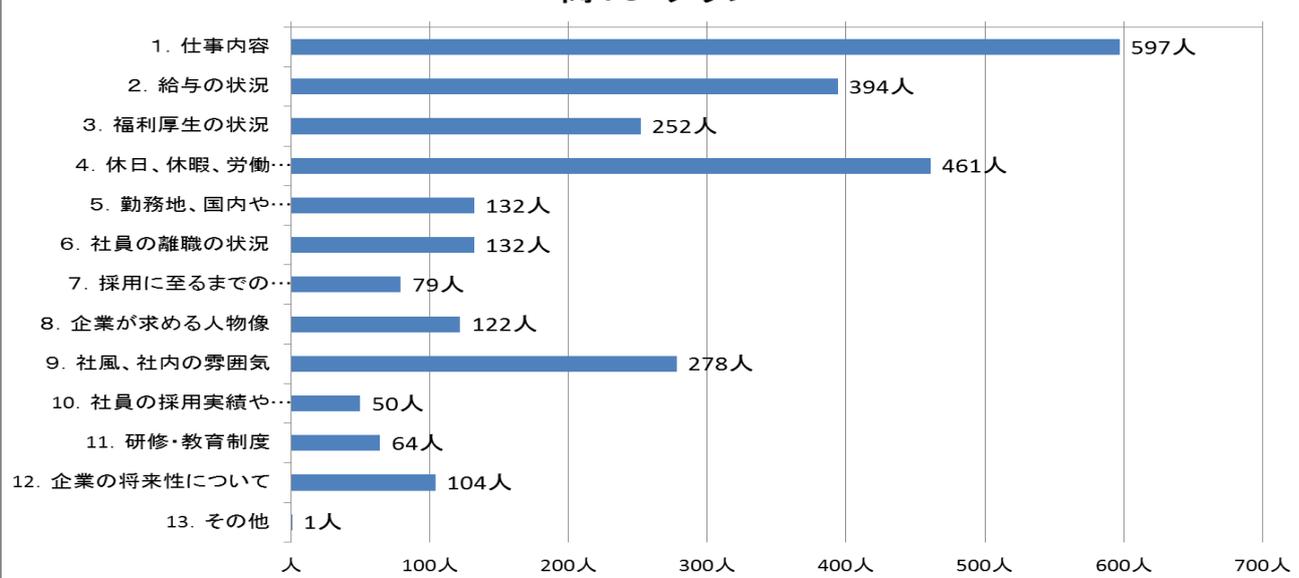
次のうち3つまで選んでください。(14は複数回答不可)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 仕事内容 | 2. 給与(給料、賞与、手当、昇給など)の状況 |
| 3. 福利厚生(の)状況 | 4. 休日、休暇、労働時間などの状況 |
| 5. 勤務地、国内や海外への転勤の状況 | 6. 社員の離職の状況(離職率や理由など) |
| 7. 採用に至るまでの詳しい選考課程 | 8. 企業が求める人物像 |
| 9. 社風、社内の雰囲気 | 10. 社員の採用実績や社員構成(男女、年齢など)の状況 |
| 11. 研修・教育制度 | 12. 企業の将来性について |
| 13. その他 ※その他に3つ記載していただいても構いません。 | |
| 14. 就職するつもりがない(起業する、家業を継ぐ等) | |

○有効回答数866人のうち、「14. 就職するつもりがない(起業する、家業を継ぐ等)」を回答した人数は6人(0.7%)で、残りの選択肢1~13を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 区分 | 1 仕事内容 | 2 給与の状況 | 3 福利厚生(の)状況 | 4 休日、休暇、労働時間などの状況 | 5 勤務地、国内や海外への転勤の状況 | 6 社員の離職の状況 | 7 採用に至るまでの選考課程 | 8 企業が求める人物像 | 9 社風、社内の雰囲気 | 10 社員の採用実績や社員構成の状況 | 11 研修・教育制度 | 12 企業の将来性について | 13 その他 |
|------|-----------|------------|----------------|----------------------|-----------------------|---------------|-------------------|----------------|----------------|-----------------------|---------------|------------------|-----------|
| 回答人数 | 597人 | 394人 | 252人 | 461人 | 132人 | 132人 | 79人 | 122人 | 278人 | 50人 | 64人 | 104人 | 1人 |
| 構成比率 | 22.4% | 14.8% | 9.4% | 17.3% | 4.9% | 4.9% | 3.0% | 4.6% | 10.4% | 1.9% | 2.4% | 3.9% | 0.1% |

問15 グラフ



(その他の回答)

工学部

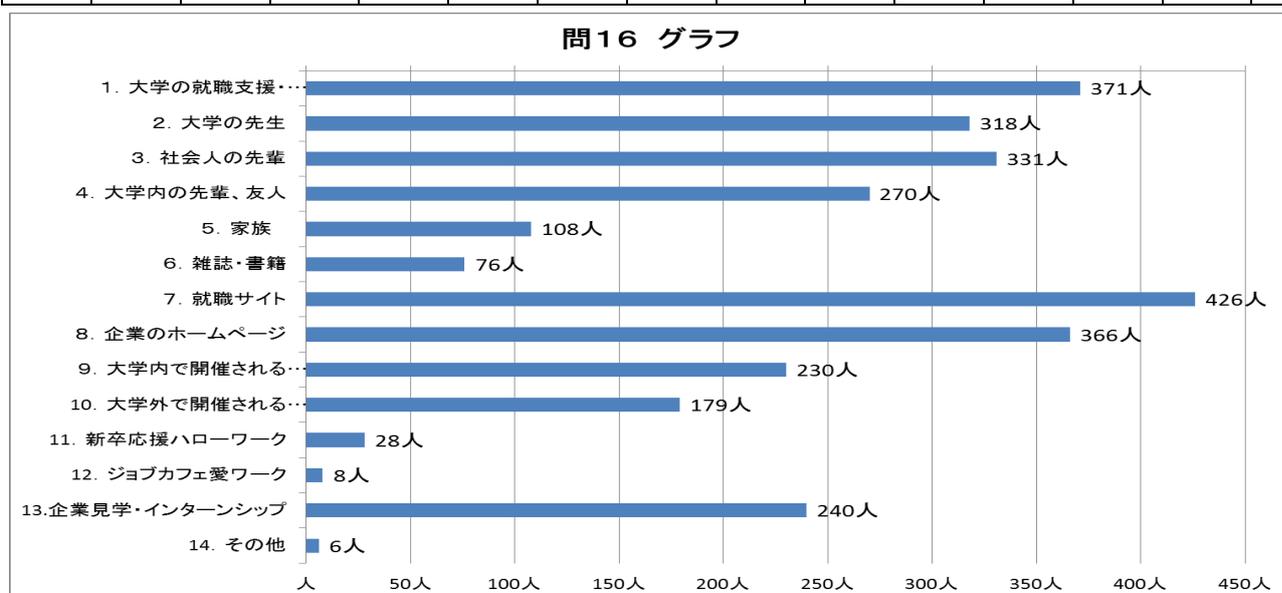
入ったらどんな仕事させてもらえるか

問16 あなたが就職活動を行う場合、企業の情報を得るために活用したい、重視したいと思うものは何ですか。次のうちから選んでください。(15以外は複数回答可)

1. 大学の就職支援・キャリア支援
2. 大学の先生
3. 社会人の先輩 (OB・OG訪問などを含む)
4. 大学内の先輩、友人
5. 家族
6. 雑誌・書籍 (就職情報誌など)
7. 就職サイト (リクナビ、マイナビなど)
8. 企業のホームページ
9. 大学内で開催される企業研究会・会社説明会
10. 大学外で開催される合同企業説明会
11. 新卒応援ハローワーク
12. ジョブカフェ愛ワーク
13. 企業見学・インターンシップ
14. その他 ※その他に3つ記載していただいても構いません。
15. 就職するつもりがない (起業する、家業を継ぐ等)

○有効回答数861人のうち、「15. 就職するつもりがない (起業する、家業を継ぐ等)」を回答した人数は8人 (0.9%) で、残りの選択肢1～14を回答した述べ人数の内訳は下記のとおり。

| 選 択 肢 区分 | 1 キャリア 支援 大学の 就職支 援・ | 2 大学の 先生 | 3 社会人 の先輩 | 4 大学内 の先輩 、友人 | 5 家族 | 6 雑誌・ 書籍 | 7 就職サ イト | 8 企業の ホーム ページ | 9 企業研 究会・ 会社説 明会 | 10 大学外 で開催 される 合同企 業説明 会 | 11 新卒応 援ハロ ーワーク | 12 ジョブ カフェ 愛ワーク | 13 企業見 学・ インター ンシッ プ | 14 その他 |
|-----------------------|-------------------------------------|----------------|-----------------|------------------------|----------|----------------|----------------|------------------------|------------------------------|--|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------|-----------|
| 回答 人数 | 371 人 | 318 人 | 331 人 | 270 人 | 108 人 | 76 人 | 426 人 | 366 人 | 230 人 | 179 人 | 28 人 | 8 人 | 240 人 | 6 人 |
| 構成 比率 | 12.5 % | 10.7 % | 11.2 % | 9.1 % | 3.7 % | 2.6 % | 14.4 % | 12.4 % | 7.8 % | 6.1 % | 0.9 % | 0.3 % | 8.1 % | 0.2 % |



(その他の回答)

理学部 考えたこともありませんでした

工学部 全て

農学部 SNS、ネット上の評判

4. 新居浜市と西条市のものづくり企業に対するアンケート調査

回答結果（愛媛大学の教員に対するアンケート）

問1～問5については、新居浜市と西条市のものづくり企業32社が作成した「企業紹介資料」を読んでもらったうえで、下記の選択肢から回答を得た結果になります。

問1～問6の選択肢

- | | | |
|-----------------------|-------------------|--------------------|
| 1. (株)愛新鉄工所 | 2. (株)アイワ技研 | 3. (株)アドバンテック |
| 4. (株)一宮工務店エンジニアリング本部 | 5. 愛媛小林製菓(株) | 6. 大磯タオル(株) |
| 7. (株)尾崎設計事務所 | 8. (株)越智鋳造所 | 9. 花王グループロダック愛媛(株) |
| 10. (株)クック・チャム四国 | 11. (株)クラレ西条事業所 | 12. (株)コスにじゅういち |
| 13. (株)サイバー | 14. (有)佐々木組 | 15. (有)塩崎製作所 |
| 16. (株)志賀商店 | 17. 住友共同電力(株) | 18. 正起ガス(株) |
| 19. (株)曾我部鐵工所 | 20. (有)高橋工業 | 21. (株)田口工業所 |
| 22. (株)田窪工業所(西条) | 23. 東和工業(株) | 24. 土岐機械工業(株) |
| 25. 南海工業(株) | 26. 萩尾機械工業(株) | 27. 萩尾高压容器(株) |
| 28. (有)松川工業 | 29. 眞鍋造機(株)(西条工場) | 30. 丸重商事(株) |
| 31. (株)マルヤス | 32. (株)三好鉄工所 | |

※問1、問2は「33. 全て知らない」が選択肢に追加されます。

問1 次の企業のうち、名前を知っていた企業はありますか。該当する企業を選んでください。
(33以外は複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 知らない | 有効回答数 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|------|------|-------|
| 回答人数 | 10人 | 20人 | 21人 | 21人 | 7人 | 23人 | 16人 | 118人 |
| 構成比率 | 8% | 17% | 18% | 18% | 6% | 19% | 14% | |

問2 次の企業のうち、名前だけでなく、どのような業務を行っているか知っていた企業を選んでください。(33以外は複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 知らない | 有効回答数 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|------|------|-------|
| 回答人数 | 23人 | 22人 | 14人 | 12人 | 6人 | 14人 | 24人 | 115人 |
| 構成比率 | 20% | 19% | 12% | 11% | 5% | 12% | 21% | |

問3 次の企業のうち、業務内容や技術・製品に興味のあった企業を選んでください。
 少なくとも1つは選んでください。(複数回答可)

集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|------|-----|-----|-----|----|----|------|-----------|
| 回答人数 | 42人 | 27人 | 25人 | 7人 | 4人 | 7人 | 112人 |
| 構成比率 | 38% | 24% | 22% | 6% | 4% | 6% | |

問4 次の企業のうち、見学に行ってみたいと思う企業を選んでください。
 少なくとも1つは選んでください。(複数回答可)

集計結果

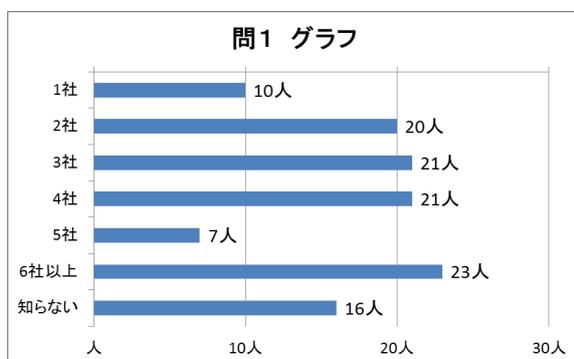
| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|------|-----|-----|-----|----|----|------|-----------|
| 回答人数 | 38人 | 21人 | 18人 | 9人 | 8人 | 13人 | 107人 |
| 構成比率 | 36% | 20% | 17% | 8% | 7% | 12% | |

問5 次の企業のうち、企業が大学で行う講義（業界、業務内容、技術や製品のこと）を
 聞いてみたいと思う企業を選んでください。少なくとも1つは選んでください。
 (複数回答可)

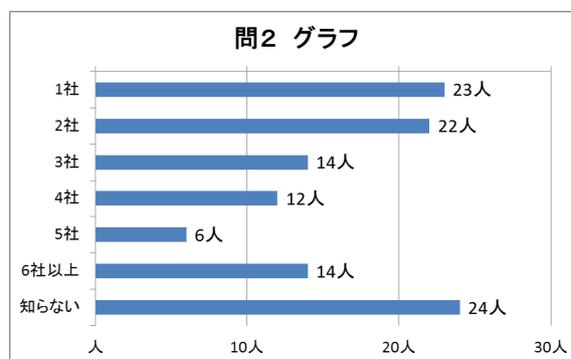
集計結果

| | 1社 | 2社 | 3社 | 4社 | 5社 | 6社以上 | 有効 回答数 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|------|-----------|
| 回答人数 | 44人 | 20人 | 24人 | 10人 | 2人 | 7人 | 107人 |
| 構成比率 | 41% | 19% | 22% | 9% | 2% | 7% | |

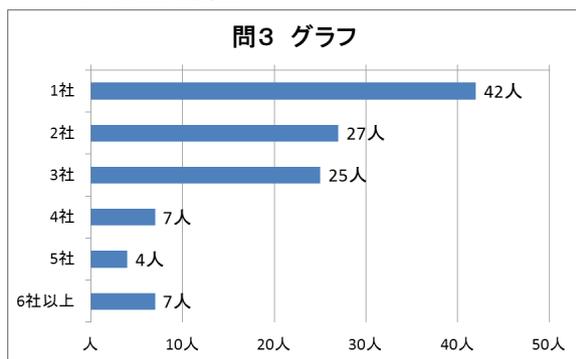
問1 名前を知っていた企業数



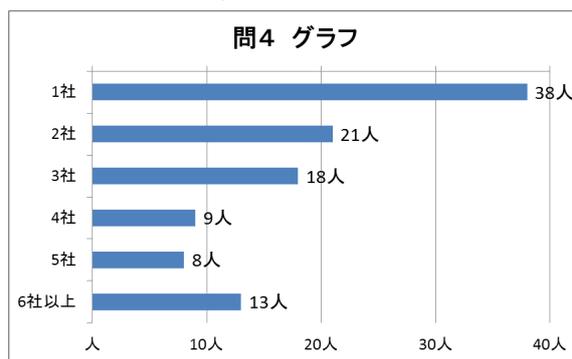
問2 どのような業務か知っていた企業数



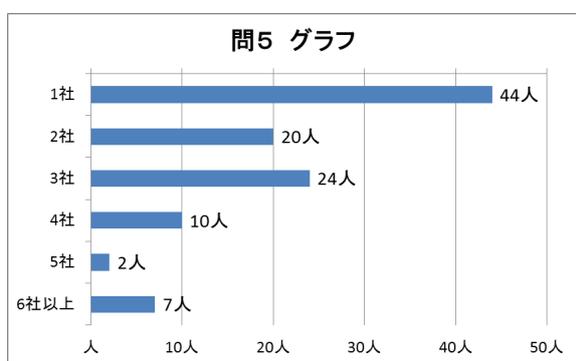
問3 業務内容や技術・製品に興味のあった企業数
(1社選択必須)



問4 大学生に見学に行ってみて欲しいと思う企業数
(1社選択必須)



問5 大学生に聴講して欲しいと思う企業数 (1社選択必須)



問6 新居浜市と西条市の各ものづくり企業が、愛媛大学生の就職を促進するために、主体的に取り組まなければならない事は、どのような事があると考えられますか。率直なご意見をお聞かせください。

(回答内容)

理学部

- ・ 事業内容を説明していただければ興味を持つ学生はいると思います。
- ・ インターンシップ
- ・ 主体的というのが大学と協力してインターンシップとか説明会と工場見学とかですよ。
- ・ 学生対象の企業紹介（就活生向けではなく、2、3回生を対象にしたもの）

工学部

- ・ 情報系の企業の誘致
- ・ イノベーション
- ・ 大都市の企業に無い新居浜市あるいは西条市の企業だからこそその魅力を明らかにする。また、企業のアピールに加えて新居浜市あるいは西条市で生活することのメリットも伝える必要がある。
- ・ 各社の事業における技術レベルがどの位高いものであるかを説明できること。
- ・ 他県出身の学生が就職したくなる要素を見出しアピールする。Uターンや関西、中部、関東の企業を向いている学生が多く、愛媛大学に入学したからと言って愛媛県内に就職先を求めてない。就職活動を開始する時期からコンタクトしたのでは手遅れと思う。
- ・ 都市部の企業には無い魅力やメリットを明確にして、それをPRしていただきたいと思います。
- ・ どのような企業があるのかをアピールする
- ・ 企業情報をマメに送って下さい。
- ・ 大学での説明会
- ・ 化学系学生に対する広報
- ・ 大学で会社説明会を行う
- ・ 世界に出る
- ・ 松山（大学キャンパス内）での企業説明会（少なくとも2weeksに1回程度）行うべき
- ・ 祭
- ・ インターンシップの活用について
- ・ 学生はどんな企業が県内にあるのかをほとんど知りません。就職担当の教員とやり取りして説明会などを行うと良いかもしれません。
- ・ インターンシップの受入はいかがでしょうか（夏期）
- ・ 各企業のPR（特徴や技術力）
- ・ 説明会、インターンシップ、労働条件の福利厚生等の紹介と他企業との比較。
- ・ 大学生は知名度から就職先を選ぶ傾向があります。理由の1つとしては親に説明しやすいからといることがあると思います。業務内容の紹介や入社した際に具体的にどのような仕事ができるのかを説明する必要がありますし、インターンシップの受入れなども検討いただくと幸いです。
- ・ インターンシップの積極的実施。企業PRポイントの絞り込み
- ・ インターンシップが良いと思います。
- ・ 見学会とインターンシップ

- ・地域枠奨学金制度。就職後に大学院博士前期（修士課程）への就学のチャンスを与える制度作り（キャリア・アップおよび切れ目のないリカレント教育のため）但し、これは学部卒業生を採用の場合
 - ・企業と大学が強く結びつくために共同研究を積極的に考えてほしい。就職以前の人材交流や分野の発展に有効だと思います。（研究費の提供という観点からではありません）
 - ・毎年複数名の学生を継続して採用していただけること。
 - ・景気に左右されずに安定して求人を行ってもらおうこと
 - ・ほとんど学生にとって知名度のない企業ばかりである。それが大問題である。
 - ・奨学金を出してもらおう。
 - ・就活説明会（大きいホールで何社かまとめて行う）を何度か行う。
 - ・大学へのPR
 - ・学生に対するアピールがまず必要です。恐らく学生はものづくり企業のことをほとんど知りません。ものづくり企業が共同もしくは行政がバックアップして福利厚生充実が必要と思います。
 - ・地域（市町村レベル）での知名度、評価を上げること、地域では知名度を上げることは比較的容易で地元出身者の就職先になり易い、地元での評価が低いと他地域から人材を受け入れること自体が難しい。
 - ・インターンシップ等でお互いの理解を深めるなどすればよいかと思います。
 - ・知名度の向上と社風（イメージ）を学生に伝えること。大学ではなく高校（新居浜、西条の出身で愛媛大学に進学している学生）をベースに個別にあたるのも良い手かと思います。
 - ・技術力のアピール。現場の見学。
 - ・給料の見直し
 - ・就職説明会、インターンシップの受入
 - ・就職フェアを開催して、企業を宣伝する。インターンシップを組織的に実施する。
 - ・企業紹介、インターンシップ、大学での講義
 - ・企業説明会の開催
 - ・大学の教育活動に協力頂きたい
 - ・各企業がどのような業務を行いどのような実績を持っているかを知ってもらうために共同で会社紹介の冊子を作ることが必要だと思います。（今回のチラシのようなものをすでに作られているかもしれませんが冊子が良いと思います）興味を持った学生はWEBで調べますのでホームページも充実させることが必要だと思います。
 - ・キャリアパスの例を示して、人生設計を見据えた働き方を提案すること。愛媛大学のOBがおれば学生が直接話を聞く機会を作ったらいと思う。個別対応なら尚よい。
 - ・地域全体の将来性を明るくする取組み。他地域と比べた独自性の強化。技術力のアピール
 - ・第5期科学技術基本計画（H28.1内閣府）においても、「ものづくり・コトづくりの競争力向上」として、製造業における変革への対応の中で、「コトづくり」が謳われている状況において「ものづくり」の視点のみで捉え、取り組みを進めるとするのは、少し古すぎるのではないのでしょうか。周回遅れどころか、2、3周遅れていると思います。
「ものづくり」が要らないとか否定するつもりはありません。
- 第5期科学技術基本計画に取り上げていること自体、言われ出してから、時間が経っている事柄で、数年前も前から、経団連の関係の企業を含めた多くの製造業関係の企業が「コトづくり」を唱え、シフトしています。少なくとも、大学は「製造業=モノづくり」ではなく、「製造業=モノ

づくり&コトづくり」という姿勢で間口を広げないと「コトづくり」に広げた企業から見ると古臭くて相手にしないと思います。

- ・企業説明会を行う→サイトに誘導する→興味ある先生をインターンシップに誘う→継続的にフォローする。
- ・愛媛大学生が多数参加する合同説明会における企業紹介。関連の深い学科の就職指導担当、インターンシップ担当教育へのコンタクト。
- ・無料でバスなどで学生を両市の企業めぐりツアーなど県や市の助成で。
- ・オムニバス形式の講義の開講、寄付講座の開設、共同研究の促進など大学内で会社名を見開きする環境を作るべきです。知っている会社名に対しては少なくとも拒否反応を示さないと思います。
- ・学内での合同説明会等の実施

農学部

- ・答えを強制するようなアンケートをやっているようでは優れたひとは来ないでしょう。
- ・各地方の魅力のセールス。
- ・ネットでのセールス（企業HP等）
- ・学生がもっと企業のことを知る機会を作るべきだと思う。
- ・企業説明、求める人物像、就職後のキャリアプランの提示。
- ・まずは、各企業の紹介
- ・企業の仕事の内容、勤務実態、給与等条件を開示すること
- ・どのような人材を求めるのか。愛媛大学で学んだことを職場でどのように活かせるにかをわかりやすく情報提供すること
- ・基本的情報の提供
- ・企業アピール
- ・セミナー、説明会、イベント、展示会等の愛大での開催
- ・就職フェアなど接点づくり
- ・PR
- ・インターンシップ、大学の研究への協力（それを通じて学生や教員への認知度が高まる）
- ・会社のこと（業務内容、製品、VISION等）学生に周知する取り組み
- ・会社説明会、合同説明会、インターンなど
- ・情報発信、インターンシップ
- ・業界トップレベルの技術や製品の維持・発展
- ・「鶏口なるも牛後となるなかれ」のスピリッツ
- ・経済環境の浮き沈みに大きく左右されない
- ・産業の育成、経営体制の確立、改善
- ・持続可能な地域社会構築への貢献・見える化、情報発信
- ・インターン募集や就職説明会を連絡してもらえれば学生に周知できると思います。
- ・卒業生が就職していれば、在校生と交流して現場での苦勞、やりがいを直接伝えることが重要だと思います。おそらく即戦力として早い段階から最前線で働くことになるとおもいますが、その辺りのやりがいや心構えみたいなものを伝えていただければと思います。
- ・企業就職情報のさらなる開示
- ・企業の技術が何に应用できるかの検討会
- ・より専門性の高い人材を求める。以前の高卒に任せていた仕事をさせるという考え方ではダメ

- ・学生の各企業に対する認知度を高める
- ・新居浜市、西条市の企業に就職することの魅力のアピール→両市以外、県外出身の学生にとって魅力は？
- ・学生が持つ不安の払拭

社会共創学部

- ・就職説明会の充実。
- ・ツアー見学会を開催してほしい。

問7 今年度、新居浜市及び西条市のものづくり企業と、愛媛大学の教員とによる意見交換会の実施を計画しております。愛媛大学から、学生の就職・採用やインターンシップ等に関する事で、各企業に質問したいこと、議題として取り上げて欲しい事項などありましたら、下記に記載をお願いします。

(回答内容)

理学部

- ・ターゲットする学部
- ・ほしい人物像

工学部

- ・インターンシップに際しては、学生がお客様にならないようにして貰いたい。可能であるならばなにか1つものを作り上げるような機会を提供して貰いたい。
- ・インターンシップの受入体制
- ・内々定の適切な時期について（採用スケジュールについて）理系人材は特に卒業研究をきちんとやるのが重要と思います。そのためには4月頃までには内々定を出して頂きたいと思います。
- ・何をされているか、でしょうか
- ・採用実績について
- ・一括した説明会の開催について
- ・インターンシップの受け入れの可否と人数
- ・夏休みに実施するインターンシップの募集を5月か6月にすることが可能かどうか
- ・推薦枠を作ることが可能か入社後にどのような業務となるか？それを想定してどのような人材育成を大学に期待するか？愛媛大学の学生といっても個性は様々。
- ・採用実績
- ・新居浜・西条学生奨学金の基金を設立してもらおう。もちろん欲しい学生の学科を指定してもよい。
- ・インターンシップを積極的に行って説明会などを開く予定はあるのでしょうか？（インターンシップ説明会でインターンシップ学生を勧誘する）
- ・愛媛大学の学生を採用するにあたり、企業の幹部（社長）候補として考えておられるのか？
- ・就職後に必要となる知識・技術
- ・留学生（外国人）を採用できるか？
- ・どのような学生を求めているか

- ・インターンシップの受入はいくつかの企業で組織的に共同でもらうことは可能でしょうか?例えば東予地区出身以外の学生の宿泊をどこかの会社の空いている寮の部屋を使わせてもらうことなどです。
- ・留年生、既卒の求職者の採用について。ワークライフバランス、働き方について。
- ・地域ならではの仕事の楽しさ。研修制度
- ・一元的窓口
- ・メリット、デメリットを示すとよい。
- ・インターンシップの際に、宿泊施設はあるのか?交通費等の補助は出るのか? (学生は費用と時間がかかるので松山市内の企業をインターンシップ先に選んでいるようです)
- ・1年当りの採用人数・受け入れ人数

農学部

- ・従業員をどのように考えているのか。
- ・求めている人材について。
- ・インターンシップで具体的な業務内容を示すことができるか?
- ・インターンシップの可能性と実施方法
- ・採用した学生の定着率はどの程度か。
- ・残業時間、残業手当はどの位か (いわゆる「ブラック企業」が社会問題となっているので、この点に誠実に回答していただきたいです)
- ・どのような人材を必要とするか?採用する際、何を重視するか?具体的に大学で身に付けておいてほしい知識、技術、スキル等は何か?
- ・学生に対してどのような科学・工学的基礎知識を身につけて大学を卒業してきてほしいか?
- ・離職率、離職理由の統計公開
- ・中途採用やUターン就職の統計、内容、公開
- ・大学院進学のリターンがございましたらお願いします。
- ・大学院生の就職促進
- ・両市の企業の「合同就職説明会」を目指しているのか?
- ・両市への若者の定着を目指しているのか?
- ・通常のコソ説明会と協議会が介入する説明会との違いは?
- ・大学で学んだことがどの程度就職後に活かされているのか?
- ・企業が『大学』の教育に求めるもの

社会共創学部

- ・地元 (新居浜・西条) に拠点を置いて活動する理由
- ・地域への貢献・関わり方
- ・それぞれの企業で働いていて、何が働きがいなのか、どんなことが社会貢献になっているのかなど、現場の素直な意見をうかがいたい。

問8 学生に就職先として県内企業を紹介する場合、紹介したいと考える基準等がありましたら教えてください。また、このような企業は紹介したくないという基準等もありましたら、下記に記載をお願いします。

(回答内容)

理学部

- ・ハラスメントのある(あった)会社は紹介したくありません。
- ・先輩が就職していると紹介しやすい。
- ・離職率が低いこと。
- ・紹介基準・・・先輩が活躍している
- ・採用担当に誠意がない。
- ・従業員の人権侵害(パワハラ等)の有無

工学部

- ・10年後になってもつぶれていない技術力を持った企業
- ・その会社が持っている技術力(他の会社が手掛けておらず、その会社しかしていないという目の付け所も含む)あるいはそれを活かした市場でのシェア
- ・家族を持っても生活して行ける給与であること
- ・人を育てることを意識していない企業には紹介したくない。
- ・人材を大切に育てる意識が高い企業に学生を紹介したいと考えています。
- ・財務状況が悪いと紹介できない。
- ・社内教育がきちんとしている企業は紹介しやすいかもしれません。
- ・大学卒で他の採用者との差がない
- ・業務内容が化学系
- ・特にないが、化学系企業があると良い
- ・業務内容を知っている会社(知らない、紹介する/しないどちらもできない)
- ・業績、将来性
- ・技術系かどうかポイントになります。
- ・今の学生は社会や親の影響を大きく受けており、安定志向の者が多い。そういった観点から確かな技術力や歴史のある企業は勧めやすいと思われる。
- ・業務内容が大学生の専門分野と一部でも合致するかどうか?
- ・社員に対する技術教育を行っている。実績がある。
- ・ニッチではあっても、その分野で優れた技術を持つ企業
- ・働いている方々の雰囲気、後は経営や環境面で生活が保証されるか出来る限り大学で学んだ専門科目を活かせる分野。
- ・離職率の高い会社は紹介したくありません。
- ・ある程度の規模(従業員数等)を有する事。
- ・残業代等、給与をきちんと支払うことが最低条件。また、労働時間が過大にならない等適切な労務管理ができている企業なら紹介したい。
- ・紹介したい会社・・・将来の昇進、給与などの基準を具体的に示せる会社。○才で○の業種があれば課長になれて、年収700万円になる・・・等

- ・幹部社員として採用していない企業。基本的な福利厚生がない企業。その地域の公務員の給与水準を満たしていない企業。
- ・学生が重要視する項目（地域、業種、職種など）が学生により異なるので「紹介したいと考える基準」はない。
- ・休暇、賃金の少ない企業は紹介しづらい。独自色の強い技術、製品をお持ちだと学生に紹介しやすく学生も興味を持ちやすいと思います。
- ・技術力（ニッチな技術で世界で戦えるもの）。明確なビジョン
- ・給与等の待遇。仕事内容の面白さ
- ・やりがいがあること。待遇が悪くない事。
- ・給与等の待遇面が良ければ紹介できる。
- ・地域に密着、貢献している企業を紹介したい。
- ・学生に対して即戦力を求められる会社は余裕がなさそうなので勧めるのをためらう。
- ・働きながら学べる環境。派遣的な仕事多い会社。
- ・学生を「人財」として捉え、採用時、またその後のキャリアの中で本人の持つコンピテンシー（技術者としての行動特性であり、愛媛大学コンピテンシーのことではない）を評価し、即戦力ではなく実践力に期待してくれる企業を紹介したい。
- ・データをオープンにし、他社との比較を容易とした上で主張できる強みがある。
- ・キャリアを見かけることをアピールしたらどうでしょう。
- ・学科で学んだ専門知識が活かせる企業であるか
- ・ソフトウェア開発、ソフトウェアを応用した開発がされているかが1つの基準になると思います。（情報）
- ・シェアの高さ、安定性
- ・技術職での採用かどうか

農学部

- ・社員の定年までの人生プランをともに考えてくれる企業。
- ・離職率
- ・創造性の有無
- ・企業の仕事の内容、将来性、勤務実態、給与条件等
- ・企業規模と将来性
- ・学部で学んだ知識や技術を活かせるような企業であること。
- ・従業員を大切にする企業であること。（給与、労働時間や福利厚生面）
- ・学生のやりたい事が活かせる職場であるか。
- ・従業員を大切にする職場であるか
- ・専門教育（大学で学んだこと）が活かせる業務内容か？将来性のある業種か？経営が安定しているか？福利厚生がしっかりしているか？
- ・業者の育成や地域貢献に力を入れている企業
- ・よく知っている（普段から交流がある）OBがいる
- ・学生が学んだ専門知識が少しでも活かせる企業様が望ましい。最近では女子学生も多いので、女子学生に十分に配慮してもらえるかどうか。
- ・どのような企業理念を有する会社か？
- ・新しい取り組みができる会社かどうか？

- ・企業理念、新しいことに対する取組、社員満足
- ・福利厚生の基本が保障されていること。
- ・求人の情報が明確・具体的で虚偽のないこと。
- ・社員全体にプロ意識が感じられ、若手の挑戦を尊重する企業風土があること。
- ・学生、特に大学院修了生のもつ専門性を生かせるような企業（残念ながら、愛媛県内のそのような企業は多くありません）
- ・丁寧に仕事を指導していただけるかどうかの点
- ・ノルマにこだわり過ぎていないか（評価方法において）
- ・世界（日本）で主要なシェアを持っていること
- ・チャレンジ精神にあふれている企業だが、経営もしっかりしている企業
- ・専門性
- ・大学で学んだ専門教育の内容、学生の興味とのマッチング
- ・紹介したい（社員を育てる風土。困難時のフォローがしっかりしている等。）

社会共創学部

- ・（紹介したい）社員の意見を積極的に取り入れる。
- ・（紹介したくない）ブラック企業（法令違反）
- ・アットホームな感じがあれば紹介したい。いわゆるブラック企業は紹介したくない。

問9 今回ご紹介させていただいた新居浜市と西条市の企業のことや、このアンケートについての感想やご意見、何かお気づきの点などありましたら、自由に記載をお願いします。

（回答内容）

理学部

- ・理学部生物学科で私どもの分野の卒業生がどのようにお役にたてるかわかりませんが、県内就職希望者は多いので紹介できればと思います。まずは頂いた資料で自身が勉強したいと思います。

工学部

- ・IT系の企業の紹介がないですね
- ・企業冊子の会社の配置（構成）、どのような業種に興味があるか、どのような職種に興味があるかに応じて早引きできるような目次を設ける
- ・新居浜・西条地域でどうにもその後の人生を送りたいと強く思っている学生を除いて、技術的な特異性など、余程の理由がなければ、大学卒業者が当地の小さな企業を就職先として選ぶことは、少ないのではないかと感じる。
- ・教員側も、学生達へのPRの機会を積極的に企画していきたいと考えています。3、4回生向けの工場見学を、定期的実施させて頂きたいと思っています。宜しくをお願いします。
- ・アンケートはマークシート方式にした方が良い
- ・良く解りません
- ・大学との距離があり、密な連携が取りにくいので学生への周知だけでなく、企業がその歩み寄りも必要なのでは

- ・学生だけでなく愛媛大学教員が地域企業についてさらに知識を持つべきであり、そのための良いきっかけとなると思います。
- ・不明だった点。今回紹介された企業がどのような基準で選ばれているのか？
- ・ものづくり企業出張講座で単位を出すのかどうかは知らないが、企業紹介等に終わる内容であれば単位は出せないと思う。
- ・なんとか愛媛大学で、年間を通して説明会、工場見学などの広報活動をして頂いた方が良いと思います。先生よりも、学生自身への認知度を上げるのが効果的です。
- ・大企業の事業所がすべて含まれていないこと。
- ・短時間で回答しにくい質問が多いように思いました。
- ・紙のムダ使いはやめませんか
- ・大量の紙資料の配布には抵抗があります。ウェブでのアンケートにする等の工夫をお願いします。
- ・企業を成長、持続させるのは"人"だと思います。ワークバランスの取れた働き方を提案して、良い人材を育ててください。
- ・いわゆるITを利用した情報系の企業が少ない新しいビジネスや発想と伝統ある技術とのバランスが必要ではないか。
- ・一覧(テーブル)がない。統括がなされていない。

農学部

- ・ひとにものをたずねるフォーマットじゃないですね。ここから何らかのデータのようなものがとれたとしてもそれは科学として有効なものにはならないでしょう。
- ・農学部関連の企業が少ないのが残念です。
- ・すばらしい製品がありながら、知らない企業が多い。
- ・初めても試みとして大変良かったと思います。このような取組を継続的に実施すれば、県内企業への理解が向上すると思います。
- ・新居浜市と西条市にある企業を知るにはいい機会になったと思う。
- ・製品開発や調査研究等で連携できるかどうか？そのような要望・希望があるか？大学側に求めるものは何か？等が知りたいと思います
- ・何かモノを作っていれば右肩上がりに経済や地域が発展していくという時代は終わったと思います。一社のみ、一産業のみの利益・発展だけでなく、地域産業全体の持続可能性を高め社会全体が質的に豊かになるための新たなビジョンが必要だとおもいます。まずはそうした将来ビジョンを検討、共有するための連帯感の醸成や機会・活動を増やすことが重要かと思えます。その結果として地域に優れた人材の育成や確保がなされると思います。
- ・私の所属する応用生命化学コースでは、学生の専門を生かすとなると、化学・医薬・食品業界になろうかと思えます。今回のアンケート対象になっている企業は、残念ながらそれらの業種と必ずしもマッチしていません。このような業種の企業誘致を積極的にお願いしたいです。特に私共のコース卒業生の県内就職率を改善するためには必要だと思えます。このことに関して問3から5で少なくとも1つは回答とありましたが、マッチしていない以上、少なくとも1つを選ぶのも難しいというのが正直な感想です。
- ・良い人材を確保したいとの思いが伝わってきました。ニーズを満たすことができるように指導していきたいとおもいます。
- ・両市の企業へ就職することを目標にするだけでなく、両市で就職する魅力を学生に伝えることが必要では？

- ・リストの企業の業界・業種が狭くマッチングがむずかしい
- ・「化学」を活かせる企業をもっと紹介いただければありがたいです。

社会共創学部

- ・こんな多様な企業があると思いませんでした。
- ・東予にこんなに多くの企業があったことに改めて驚きました。各企業をもっと紹介してもらえればきっと学生も関心を持ってくれると思います。

第3章 意見交換会について

1 目的

新居浜西条ものづくり企業と愛媛大学教員とで、学生の就職、採用の促進等について情報交換、意見交換を行う場を設け、当地域への学生の就職を促進させることを目的とする。

2 開催日時

平成28年9月15日（木曜日）

午後3時～午後5時

3 開催場所

愛媛大学 校友会館2階サロン（愛媛県松山市文京町3番）

4 次第

（1）開会あいさつ

新居浜西条ものづくり人材確保連携協議会長 井上 博民
（愛媛県東予地方局産業経済部長）

（2）参加者の紹介

（3）講演

「学生が就職先を決定する決め手」とは？

愛媛大学教育学生支援部就職支援課長 岡 靖子

（4）意見交換会

○実施方法の説明

○意見交換会

テーマ「学生の就職・採用を促進するために取り組むべきことは」

・1回目

サブテーマ「企業が学生の採用で困っていること」

・2回目

サブテーマ「大学から企業に希望すること」

・3回目

第1回目と第2回目の内容を踏まえ、テーマについて総括

(5) 参加者

①新居浜西条ものづくり企業（13名）

| 企業名 | | 部署・役職 | 参加者氏名 |
|-----|-------------------|--------------|----------------------------|
| 1 | (株)アイワ技研 | 代表取締役 | ふくとめ 福留 まさみ 政実 |
| 2 | 花王サニタリープロダクツ愛媛(株) | 地域サービスセンター課長 | かとう 加藤 じゅんいち 淳一 |
| 3 | (有)佐々木組 | 代表取締役 | あきた 秋田 かよ 華佳 |
| 4 | (有)塩崎製作所 | 代表取締役 | しおざき 塩崎 たかし 卓 |
| 5 | 東和工業(株) | 代表取締役 社長 | じんの 神野 けいすけ 恵介 |
| 6 | 土岐機械工業(株) | 代表取締役 | とき 土岐 なおひさ 尚寿 |
| 7 | 南海工業(株) | 専務取締役 | かねだ 金田 ゆうじ 裕司 |
| 8 | (株)萩尾高压容器 | 代表取締役 社長 | はぎお 萩尾 ひろのり 広典 |
| 9 | 眞鍋造機(株) | 総務部 | おおたに 大谷 まさみ 真己 |
| 10 | | 総務部 | あかまつ 赤松 かなこ 加奈子 |
| 11 | 丸重商事(株) | 総務部 | いたくら 板倉 ひろあき 宏明 |
| 12 | (株)三好鉄工所 | 総務部 次長 | しらかわ 白川 たかあき 剛朗 |
| 13 | (株)よしだ | 代表取締役 | よしだ 吉田 たつや 達哉 |

②愛媛大学（8名）

| | 所属 | 役職 | 参加者氏名 |
|----|------------------------------------|--------|--------------------|
| 14 | 愛媛大学工学部機械工学科 | 教授 | なかはら まさや 中原 真也 |
| 15 | 愛媛大学工学部電気電子工学科 | 教授 | じんの まさふみ 神野 雅文 |
| 16 | 愛媛大学工学部電気電子工学科 | 教授 | かどわき かずのり 門脇 一則 |
| 17 | 愛媛大学法文学部総合政策学科 (COC+推進コーディネーター) | 教授 | あかま みちお 赤間 道夫 |
| 18 | 愛媛大学 大学院理工学研究科 工学部イノベーションセンター長 | 教授 | みうら きよたか 三浦 清孝 |
| 19 | 愛媛大学 社会連携推進機構 (地域連携コーディネーター) | 教授 | まつもと けんや 松本 賢哉 |
| 20 | 愛媛大学教育学生支援部就職支援課 | 就職支援課長 | おか やすこ 岡 靖子 |
| 21 | 愛媛大学社会連携支援部社会連携課 | 社会連携課長 | わだ かずたか 和田 和敬 |

1. 講演要旨

「学生が就職先を決定する決め手とは？」

愛媛大学教育学生支援部 就職支援課 岡課長

大学と企業の意見交換に先立ち、大学生の就職支援を行う立場から、現在の学生の就職先決定の要因についていくつかのデータを基にお話しする。この後の話し合いの話題のきっかけとして活用して頂きたい。

(1) 愛媛大学生の就職先決定の要因

新居浜・西条ものづくり協議会実施の大学3回生、大学院1年生に対するアンケートのうち、就職先決定に繋がる項目の回答をもとにお話する。

問14「就職する会社を選ぶ場合どのような基準を優先して選ぶか」について「給料」「福利厚生」など条件面、「やりたい仕事」「仕事に魅力がある」など仕事内容、「社風・雰囲気が良い」が上位の回答であった。

問15「就職活動を行う場合、企業の情報として知りたいことは何か」について、最も多い回答は、問14同様「仕事内容」、次は「休日・休暇・労働条件」、「社風、会社の雰囲気」である。

問16「就職活動を行う場合、企業の情報を得るために活用したい、重視したいと思うものは何か」では、1番目が「就職サイト」2番目が「大学の就職支援」3番目が「企業のHP」であった。

これらの回答から、インターネットを利用する学生が多い事を考慮した情報発信は、学生が企業の情報を知る機会拡大においては重要である。

一方で、就職活動を終えた学生の中には、選んだ決め手として「仕事内容」以外に「応募先で親身に接してくれる」「社員やアットホームな雰囲気」など、社風を挙げるケースも少なくない。就職活動を通して、実際に企業の方と関わった結果、これらの理由が追加されたと考えられる。採用に関わる方がどのような言葉でどう関わるかが、学生の興味のきっかけに繋がると考えられる。

(2) 全国的な統計から分かる就職先決定の要因

全国的な調査（2017年卒マイナビ大学生就職意識調査）では、1番目は「自分のやりたい仕事（職種ができる会社）」2番目は「安定している仕事」3番目は「社風が良い会社」の順である。2番目の「安定している」は協議会の調査項目にはなかったが、条件面を重視する傾向から照らせば、愛媛大学生の理由とほぼ同様の傾向と言える。

(3) 新入社員意識調査

「公益社団法人日本生産性本部」の新入社員を対象とした経年の意識調査がある。2016年度の調査では、「これからの社会人生活が不安だ」「残業が少なく、自分の時間が持てる職場が良い」「年功序列での昇格を望む」「良心に反する手段で進めるように指示された仕事であっても従う」のいずれの数値も過去最高であった。このデータから、勤務年数とともに役職が上がる働き方を望み、競争して自分だけが評価されるような働き方は望まない。また、素直でまじめに働く様子も見取れる。

(4) 現状を踏まえた学生の傾向

このような学生の意識や行動は、進路の選択に重要であるが、簡単に理解できるものではない。学生の現状を知るためには、一定期間のインターンシップを実施していただき、その期間を通して学生の様子を間近で見させていただきたい。説明会や 1day インターンシップでは見ることのできない学生の不足する点や得意な部分を理解していただく機会になると考える。

各社の技術や製品、働き方について学生への独自の PR 戦略はお持ちだと思うが、学生の持つフィルターで受け取った時に、彼らにどう映るかということ踏まえた視点は重要になるのではないかと考える。

また、学生は、新入社員の指導や育成においても関心をもっており、決定期限の一つとして「教育方法がとても魅力的だった」、「成長できそうな感じがした」など、受け身ではあるが成長して自分の力を発揮し、会社の役に立ちたいという想いを抱いている。ただし、就職支援課での支援は、あくまで学生が決定するためのサポートである。検討するためのアイデアや材料は出すが、最終的に選ぶのは学生である。近年は保護者の理解も重要であるため、それらを含めた関わりが学生の就職先の決定に繋がると考える。

今後一層、学生の価値観や興味の視点を踏まえた PR の工夫をお願いしたい。

(5) 就職の先の定着

就職と同様に、職場定着も重要な課題である。年代の近い友人関係が仕事のモチベーションに繋がるケースもある。毎年の採用人数が少ない企業では、地域の資源を利用して「同期」の関係を意図的につくるなど、新入社員の視点に立った環境整備も魅力的な職場の条件になるのではないかと考える。



2. 意見内容要旨

◎第1回 サブテーマ：学生の採用で困っていること

企業側の主な意見

【知名度向上について】

- 学生がネットに依存した就職活動を行っている中、大企業のように見栄えよく、学生に好印象を持たれるアピールが困難。イメージや知名度向上について、どこから改善していけば良いのか。

【就職活動や企業選択について】

- 学生の就職活動のタイミングやスケジュールが分かりにくく、学生との接点を探すのが難しい。
- 最近の学生は現場を嫌がる傾向がある。
- 理系の応募が少なく採用のチャンスがない。学生にどう発信していくかが課題。
- 学生が地元出身等の繋がりがないと、選考面接等には来るが最終的には就職してくれない。

【内定辞退について】

- 内定辞退が大きな問題。「親が」という理由が多い。学生は素直で親の言いなりということはあるか。

【定期的な採用について】

- 同期入社がいることの重要性は認識しているが、全体の採用人数が少なく、隔年での採用も難しい。

【企業から大学へのアプローチについて】

- 大学への敷居が高い。

【インターンシップについて】

- インターンシップを行っても採用に至る人が少ない。

大学側の主な意見

【工学部の就職について】

- 文系は基本的に自由応募だが、工学部は自由応募より大学推薦の方が多い。工学部の推薦の場合、学生は各学科のHPの求人情報から企業を探し出す。昔の推薦と異なり、基本的には大学は希望する学生は誰でも推薦し、企業側も不採用を出すことが多々ある。
- 求人票の提出は、工学部は就職支援課ではなく、各学科が窓口となる。学科ごとに就職担当が違うので、各学科の教員に情報が届かないと学生には伝わらない。

【学生の企業選択について】

- 学生は口コミで知っている企業、何となく知っている企業など特定の企業に集まる傾向がある。
- 学部生は地元志向が強く、院生は大手志向の傾向が見られる。非常に多くの求人の中から選択するので、学生が気づくためのアピールが必要となる。
- 学生は文系理系を問わず企業を知らない。消費者に遠い企業は本当にいい企業であっても知らない。大学として、企業が学生にアピールする場を作る必要があると考えている。
- アカデミックな研究をやりたいという学生はあまりいないが、開発をやりたい学生は沢山いる。
- 就職説明会等での人事・採用担当者の影響が大きく、プレゼンを聞いて希望先を変更する学生もいる。学生の企業選択の大きな要因となるので、他社の情報等を収集し、プレゼン力や学生への訴求力などのレベルアップを図って欲しい。
- 学生は意外に社風に対する嗅覚が効く。言いたいことが言える、締め付けられない、やらせてくれるとかに重点を置く。
- 先輩から就職している企業の面白そうな話を聞いて興味を持ち、そこに就職しようかなとなる場合もある。

【内定辞退について】

- （内定辞退「親が」の意見を受けて）学生からも、このような話を聞く。就職先の選択権は学生にあるという趣旨の保護者向けパンフレットの作成や、保護者とお話できる機会を大学としても持っていきたいと思っている。
- 就職について、学生と保護者の距離は近く影響が強い。保護者に対するPRも重要。

【ものづくり以外の業種について】

- 工学部機械工学科からは、ものづくり企業へ就職する学生が殆どであるが、営業、建築、不動産へ行く学生や家業を継ぐ学生もいる。
- 技術を活かしたいという学生もいるが、総務系を希望する学生もいる。

【定期的な採用について】

- 毎年の採用が難しいのは理解できるが、企業と研究室の繋がりを継続するためにも、毎年の継続した採用活動をお願いしたい。

【企業から大学へのアプローチについて】

- （敷居が高いとの意見について）遠慮せず是非お話をしに来ていただきたい。

【インターンシップについて】

- インターンシップの内容が面白いと学生間で話題になって、認知度の高い企業になる場合がある。

◎第2回 サブテーマ：大学から企業に希望すること

大学側の主な意見

【住居手当について】

○地域の企業は住居手当がない。愛媛大学生も県外出身者が3分の2であり、住居手当を検討して欲しい。学生は全国の企業と福利厚生を比較している。

【奨学金について】

○学生が地元企業に定着するために有効と考えられるものに奨学金がある。今年度愛媛大学では給付制の奨学金制度を設けた。企業や行政で奨学金（地元企業に就職した際には免除や一部免除等）を作って欲しい。また、行政に対して求めるのは、大学からだけではなく、企業からも声をあげてほしい。

【企業の知名度について】

○学生も教員も知らない企業が多く、知ってもらう事がまず重要。学生や保護者が知っている企業だと紹介しやすい。知名度を上げる努力をしていただきたい。

○企業の知名度向上のため、ウェブでの動画配信、ケーブルテレビでの放映等が安くできるのでは。各社バラバラでなく、まとめて動画を作成してみてはどうか。

【企業と大学のコミュニケーションについて】

○工学部の場合、できれば学科の就職担当に直接求人票を手渡して、コミュニケーションをとる機会を増やして欲しい。就職担当にも印象が残る。

○工学部は教授の推薦のケースが多いが、教員が地元企業を知らないのが実情。教員に対する働きかけは影響力が大きく、教員としても知っている企業は学生に紹介できる。

○大学の敷居を低いと感じて、大学に来られた時に少しでも顔を出していただくことから始たい。

○先輩がいることが重要と考える学生もいるため、OB・OGの存在は大きく、1人でもいると違う。社会人修士を活用することも一つの方法では。

○教員側からすれば、共同研究や受託研究により企業と連携する方法もあるが、東予の企業との研究事例は少ない。教員側からのアピールも少なかった。産学連携を進めている中で、企業と大学が関係を密にするためには、共同研究等の方法もあることを知って欲しい。

○大学も企業や行政との連携を打ち出してきており、県内3カ所にコーディネーターを置いて企業との橋渡しに努めている。就職だけではなく広い意味での産学官の連携が進めば好循環となる。今回、協議会ができて、この意見交換会を開催できたので、これから研究・教育・学生の地元就職へ繋がっていくことを期待する。

【大学への求人票について】

○できるだけ早く求人票を大学に提出してほしい。求人票の提出がないと、学生の目に止まることは無く、紹介することができない。工学部は学科ごとに求人票を随時学生が見られるように公開している。

○学内の説明会や個別の企業の説明会を実施したりするが、全国から応募があり、早く情報を知っているところが先に押さえてしまう。求人票の提出が無い企業には、お知らせすることもで

きない。

- 地元の企業を探す学生は、特に求人票を中心に探す。
- 10月から愛媛大学のHPをリニューアルして、企業向け情報も発信する。アクセスして欲しい。
- 工学部電気電子工学科では、3分の1くらいは3月1日より前に届いている。求人票の出し方も色々あり、「参考までに去年の求人票です」と言って早めに出してくる企業もある。

【企業HPの充実について】

- 企業のHPが大事だが、HPで採用求人情報が無い場合がある。内容の充実を検討して欲しい。

【インターンシップについて】

- インターンシップを受け入れていただくとありがたい。インターンシップの活用および成果については長い目で見て欲しい。

企業側の主な意見

【住居手当について】

- 住居手当を制度化するのは既存社員との兼ね合いもあり非常に難しい。
- 住居手当はないが社宅で対応する例もある。中小企業なので、既存社員との兼ね合いは、あまり考慮しなくとも良い。
- 給与に関して言えば、大企業と比べても大差はなく、地方の住み易さを考えれば生活レベルに差はないと思う。そこを出張講座、インターンシップ、OBを通じてPRできればよい。

【企業の知名度について】

- やりたい仕事とマッチングができれば県内に残る人は多いはず。アピール力が必要だが、企業にも選ばれるだけの魅力はあると思うので、知られるための機会を作っていければ。
- 知名度向上のためには、広告やCMが有効であることは判るが、採用ができる保障はなく費用だけがかかる。人事担当者が足を使って、教授や就職支援課を訪ね、学内イベント等にも積極的に出ていきたい。

【企業と大学のコミュニケーションについて】

- 過去に共同研究をしたことがあるが、教員に学生を就職させてくれとは言い難い。共同研究を就職担当の先生も一緒にすることはできないか。
- 企業としての見せ方は不勉強だった。新居浜・西条のものづくり企業と愛媛大学の接点はこの意見交換会が最初で、これをきっかけに連携を深めたい。

【定期的な採用について】

- 大学生を採用したいが継続採用は難しく、毎年ではないので尻切れトンボになる。

【インターンシップについて】

- インターンシップで学生と密に繋がる機会があれば、ぜひ活用していきたいと思っているので、インターンシップの情報発信をいただきたい。

◎第3回 第1回目と第2回目の内容を踏まえ、テーマについて総括

企業側の主な意見

【定期的な採用について】

- 毎年の採用が難しいのであれば、例えば、5年に1人採用したい企業が5社で連携して毎年採用するという考えられる。
- 愛大生は幹部候補生として欲しいが、採用が毎年ではないため難しい。

【インターンシップについて】

- 知名度が低く採用に結びつかないが、メディアへの出現、学生に見やすいHPの改善等から取り組みたい。
- B to B企業のため知名度が低く、インターンシップにもなかなか応募してもらえないので改善が必要。
- インターンシップは定着してきたが採用へは結びついていない。継続の必要性を改めて感じた。
- インターンシップをする場合の学生の宿泊費や経費が課題。西条新居浜は研修生の受入も多く、住宅は確保しているが、場合によっては、インターンシップでも使用できるかもしれない。
- 社風を含め学生と触れ合うためにインターンシップ等を活用したい。インターンシップの報告会を同級生や下級生にも聞いてもらえたら良いと思う。
- 知名度を上げるためにも、諦めずにインターンシップ等を活用して学生との距離を縮めたい。企業からの歩み寄りが不足していたと思ったので、これからも情報の提供をお願いしたい。大学側からの情報が伝わりにくいので、色んな方法で情報を伝えていただきたい。
- 新居浜でのインターンシップの場合、市の単独事業で費用を負担してくれる制度がある。

大学側の主な意見

【奨学金について】

- 奨学金に関しては、自治体・企業で取り組みを始めたところがある。奨学金制度も1社では大変だが、複数社が共同でやれば負担は少ないと思われる。

【福利厚生について】

- 大卒を採用して住居手当を制度化したところもある。福利厚生の充実を検討して欲しい。

【企業PRについて】

- えひめ学の講義や工学部の業界研究講座、当協議会事業の出張講座などでゲストスピーカーとして企業が講義すればPR（周知）のチャンス。一回生から企業の情報を擦りこんでいくのも有効では。
- 産学連携で言えば教員は共同研究がしたい。共同研究には学生が付いてくるので、その学生の口コミ等を通じ、就職に繋がることも有り得る。
- ホームページでの企業アピールが重要。やりたい仕事、社風等を発信し、それらの積み重ねが必要。
- 合同説明会では予想以上に学生の参加が減っている。学生は自分が決めている企業、興味のある企業にしか行かない。同業種が集まって短い時間で見てもらうなどの工夫が必要では。

○協議会で企業紹介のパンフレット等を作成するのも一つの方法では。

【求人票・推薦等について】

○今まで大学へ訪問の無い企業や求人票を出していない企業は、学生も選びようがない。工学部は各学科で求人票を受け付けているが、新居浜西条で訪問を受けた企業は限られている。

○文系は基本的に自由応募で、就職支援課に来た求人票やネットで見て学生が応募する形。工学部の場合は就職支援課ではなく学科が独自にやっているの、各学科の教員に情報が届かないと学生には伝わらない。(就職担当教員のルートが有効)

○大学側にどういう人材がほしいか、どのような仕事があるかを教えてほしい。そうすれば学生にも教えることもできる。

○意見交換会等を活用して教員が企業のことを知り、推薦枠を受けることは可能。大学に対し、遠慮せずどんどんアプローチして欲しい。大学は基本的にいただける推薦枠はいただくというスタンス。

【インターンシップについて】

○インターンシップは3回生で単位化している。昨年度インターンシップ参加者30名のうち、就職につながったのは1名のみだった。

○学生にとってのインターンシップは、就職としての意識はあまり高くないが、優秀で前向きな学生が参加する可能性が高い。インターンシップは報告書と成果発表を通じて学生や教員にも内容が伝わる。長期的な視点でインターンシップや産学連携等、チャンネルを広くして大学にアプローチして欲しい。

◎意見交換会の様子



3. 参加者に対するアンケート集計結果

アンケート回収数 16名分

問1 今回の意見交換会の総合的な満足度をお答えください。

| 選択肢 | ①満足 | ②やや満足 | ③やや不満 | ④不満 |
|-----|-----|-------|-------|-----|
| 回答数 | 13人 | 3人 | 0人 | 0人 |

問2 問1で「③やや不満」「④不満」を選んだ方は、具体的な不満点を教えて下さい。

【「③やや不満」「④不満」の回答は無かったが、下記記述の回答あり】

○時間が少なかった（充実していたので短く感じた）

問3 今回の意見交換会は、少人数のグループに分けて実施させていただきましたが、次に意見交換会を実施する場合、この方法で実施することについての希望をお答えください。（該当する回答を○で囲んでください。）

| 選択肢 | ①今回と同じ方法で実施して欲しい。 | ②今回とは違う方法で実施して欲しい。 |
|-----|-------------------|--------------------|
| 回答数 | 15人 | 1人 |

問4 問3で「②今回とは違う方法で実施して欲しい。」を選んだ方は、どのような方法での実施を希望するか教えてください。

○同系企業を集めるのも良いと思います。

○実施方法は良いかと思いますが、もう少しお時間をいただけたらと存じます。

問5 来年度以降も、学生の就職促進について、企業と愛媛大学と意見交換会ができる場を設けたいと検討していますが、次回以降も参加したいと思いますか。（該当する回答を○で囲んでください。）

| 選択肢 | ①参加したい | ②参加したくない |
|-----|--------|----------|
| 回答数 | 16人 | 0人 |

問6 意見交換会を次回開催するとしたら、開催時期は何月頃を希望しますか。

（複数回答あり）

| 選択肢 | 1月頃 | 2月頃 | 3月頃 | 4月頃 | 5月頃 | 6月頃 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 回答数 | 5人 | 2人 | 1人 | 2人 | 3人 | 2人 |

| 選択肢 | 7月頃 | 8月頃 | 9月頃 | 10月頃 | 11月頃 | 12月頃 |
|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 回答数 | 1人 | 2人 | 5人 | 5人 | 1人 | 3人 |

問7 意見交換会を開催する回数は、1年間に何回ぐらいを希望しますか。

| | | | |
|-----|------|------|--------|
| 選択肢 | ① 1回 | ② 2回 | ③ 3回以上 |
| 回答数 | 7人 | 4人 | 5人 |

問8 その他ご意見、ご感想がありましたら、自由に記載をお願いいたします。

○自社のアピールを積極的にしないで、学生は小さな会社に興味がないと思い込んでいた。今後アピールを前面的にしていきたい。

○近年の就職活動の状況や学生の考え方などがわかり、大変参考になりました。

○非常に貴重なお話を聞けました。就職担当以外の先生のお話もぜひ聞きたいです。

○大学側の要望や現状を充分認識する事ができ、今後の採用計画等の骨幹となるような方向性等の参考となりました。

第4章 企業見学会について

1 目的

愛媛大学の学生と教授を対象に新居浜西条圏域のものづくり企業の製造現場である工場等を見学し、当該企業に対する学生の認知度を高め、本圏域への就職を促進させることを目的とする。

2 開催日時

平成28年11月7日（月曜日）

午前8時30分～午後5時 計7時間30分（ただし、休憩時間を除く）

3 見学場所

(1) 新居浜方面

- ・住友共同電力(株)（本社・西火力発電所） 新居浜市磯浦町16番5号
- ・(株)三好鉄工所（本社・本社工場） 新居浜市新田町3丁目3番5号
- ・(株)株式会社曾我部鐵工所（本社・本社工場） 新居浜市阿島一丁目4番25号
- ・愛媛小林製菓(株)（本社） 新居浜市黒島1丁目7番24号

(2) 西条方面

- ・(株)クラレ（西条事業所） 西条市朔日市892
- ・真鍋造機(株)（西条工場） 西条市ひうち字西ひうち3-2
- ・(株)コスにじゅういち（西条事業所） 西条市ひうち字西ひうち8-18

4 参加者

(1) 参加大学生

愛媛大学工学部機械工学科2回生 82名

（新居浜方面）43名

（西条方面）39名

(2) 引率者

（新居浜方面）

- ・愛媛大学 工学部 准教授 有光 隆
- ・愛媛大学 工学部 教授 イノベーションセンター長 三浦 清孝
- ・一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会 主任 高橋 宏幸

（西条方面）

- ・愛媛大学 工学部 講師 堤 三佳
- ・愛媛県 東予地方局 商工観光室 係長 村上 昌應

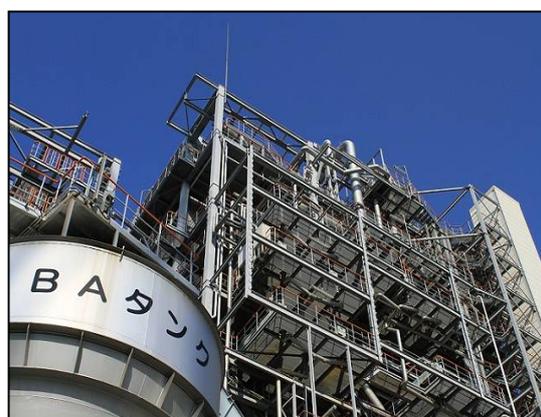
1. 企業見学会実施内容

新居浜方面

(1) 住友共同電力株式会社

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） 午前10時00分～午前11時15分

- 見学内容
 - ・ 企業説明
 - ・ 新居浜西火力発電所見学
- 参加人数
 - ・ 学生20名、引率1名 合計21名



(2) 三好鉄工所株式会社

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） 午前10時10分～午前11時25分

- 見学内容
 - ・ 企業説明
 - ・ 本社工場見学
- 参加人数
 - ・ 学生23名、引率2名 合計25名



(3) 株式会社曾我部鐵工所

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） A班 午後1時05分～午後2時05分
B班 午後2時35分～午後3時35分

○ 見学内容

- ・ 企業説明
- ・ 本社工場見学

○ 参加人数

- ・ A班 学生20名 引率1名、B班 学生23名 引率2名、 合計46名



(4) 愛媛小林製薬株式会社

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） A班 午後1時05分～午後2時20分
B班 午後2時20分～午後3時20分

○ 見学内容

- ・ 企業説明
- ・ 本社工場見学

○ 参加人数

- ・ A班 学生20名 引率2名、B班 学生23名 引率1名、 合計46名



(1) 株式会社クラレ

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） 午前10時15分～午前11時45分

- 見学内容
 - ・ 企業説明
 - ・ 西条事業所工場見学
- 参加人数
 - ・ 学生38名、引率2名 合計40名



(2) 真鍋造機株式会社

見学日時：平成28年11月7日（月曜日） 午後零時55分～午後2時25分

- 見学内容
 - ・ 企業説明
 - ・ 西条工場見学
- 参加人数
 - ・ 学生39名、引率2名 合計41名



(3) 株式会社コスにじゅういち

見学日時：平成28年11月7日（月曜日）

午後2時30分～午後3時45分

○ 見学内容

- ・ 企業説明
- ・ 西条事業所工場見学

○ 参加人数

- ・ 学生39名、引率2名 合計41名



2. 参加学生に対するアンケート 集計結果

(アンケート回収数 新居浜方面 41名分 西条方面 39名分)

設問 1日で見学する企業の数について回答してください。

| 選択肢 | ①多かった | ②ちょうど良かった | ③少なかった |
|-----|-------|-----------|--------|
| 回答数 | 16人 | 63人 | 1人 |

設問 1社あたりの見学時間について回答してください。

| 選択肢 | ①長かった | ②ちょうど良かった | ③短かった |
|-----|-------|-----------|-------|
| 回答数 | 4人 | 57人 | 19人 |

設問 見学先企業から受けた説明について回答してください。

| 選択肢 | 見学人数 | ①分かりやすかった | ②ふつう | ③分かりにくかった |
|------------------|------|-----------|------|-----------|
| 住友共同電力(株) | 20人 | 9人 | 10人 | 1人 |
| (株)三好鉄工所 | 23人 | 18人 | 2人 | 1人 |
| (株)曾我部鐵工所 | 43人 | 21人 | 17人 | 1人 |
| 愛媛小林製薬(株) | 43人 | 36人 | 3人 | 0人 |
| (株)クラレ 西条事業所 | 38人 | 28人 | 10人 | 0人 |
| 眞鍋造機(株) 西条工場 | 39人 | 14人 | 19人 | 6人 |
| (株)コス21 西条事業所 | 39人 | 15人 | 19人 | 4人 |

設問 興味深かった点、参考になった点、学んだこと、その他ご意見や感想について、具体的にあれば回答してください。

住友共同電力(株)

- ・昭和何年に作られた発電所がまだバリバリ活躍していることに驚いた。
- ・機械出身の人がどんな仕事をしているのか分かった。
- ・普段の勉強では知れないことがたくさん知れたところは良かった。就職したらどんな仕事をするかということをもっと聞きたかった。
- ・石炭は粉にしてから燃やすこと。

- ・発電量を増やすだけでなく、環境にも配慮されていた。
- ・発電は興味がある分野なので良かったです。
- ・大規模な設備で見応えがあった。
- ・難しかった。
- ・具体的に電力会社の仕事をイメージできた。
- ・発電所の内部を初めて見て、いい経験になった。
- ・考えていたものよりスケールの大きなものだった。
- ・タービンなどの巨大な設備が興味深かった。
- ・初めて見るものが多くておもしろかった。
- ・火力発電を知ることができた。
- ・間伐材を利用し、ECO活動に取り組んでいるところ。
- ・実際に施設の中を見学したときに迫力のすごさに驚いた。
- ・機械工と電力とのつながりに、どのようなものがあるか分らなかったけど、見学をしてイメージが大体つかめた。
- ・電力関係の工場内を見るのが初めてで今回見学出来て良かった。
- ・火力発電所の中を見る機会はめったに無いので、見学することが出来て良かった。

(株)三好鉄工所

- ・プラント設計、製造、メンテナンスの実態から機械屋として持つべき姿勢と理念を学べた。
- ・プラント関連に関わっているとおっしゃっていたが、その中でも長野オリンピックのボブスレーコースやスプラッシュマウンテンの建設にも携わっていたと聞き驚いた。
- ・プラントメンテナンス業などで、他の企業とも協力・競争していて、また溶接などの高い技術力を持っていることが分かった。
- ・説明の人が気さくで面白かった。
- ・社員の成長に期待をよせて、会社が資金を負担するところなど、労働者にやさしい会社だと思った。
- ・機械が動いている所も見えたかった。
- ・部品を作って工業を支えていた。見えない所で頑張っていてすごかった。
- ・実際に工場で働いている人の話を聞くことで自分の進みたい道が見えてきた。
- ・工場内を見て回ることで工場の雰囲気に触れることができ、いい機会となりました。
- ・社内で作ったものをそのまま取り入れ活用していることが興味深かった。
- ・こちらの質問に対して、明確に回答していただいた。
- ・プラントエンジニアについて学べた。
- ・日々進歩を目指す姿勢が素晴らしかった。
- ・プラントに対してのイメージが変わった。化学系だと思っていたけど、機械系だった。

(株)曾我部鐵工所

- ・普段見られない機械が見られていい体験ができた。
- ・実際の部品作りの現場を生で見られて良かった。

- ・工場がどんな風に動かされているかしっかりと理解できた。
- ・中小企業が全体の3割の部品を作っていることに驚いた。
- ・ほぼすべての機械がNC化されていた。
- ・チャーターのことが分かって良かったです。
- ・大学にはない設備を見学できて良かった。
- ・とても興味がある内容でとても面白かった。
- ・加工現場を見て、自分はまだ機械工学科生として学ぶべきことが多いと自覚出来た。
- ・学校の工場では設置されていないような大型のNC機械、ブローチ盤を目の前で見られたと
と
もに、どのような用途があるのかを学べた。
- ・自動化による人員の削減、少人数による効率的な作業を工夫して行っていた。
- ・美しい工場で機械工らしい仕事だった。
- ・思っていたよりも従業員の方が少なく、作業の機械化を感じた。
- ・同社の他の工場も見学したい。
- ・見たことのない機械やあまり見ることはないようなものが見られた。ものを作ることに
お
いて
複雑さを知らされた。
- ・迫力のある大型の機械を見ることができ、これがまさしく機械工学科の工場見学だと思った。
- ・ブローチ盤での加工は初めて見るもので興味深かった。
- ・大きな機械がいっぱいあって興味の引かれるものがあった。
- ・もう少し1つ1つ見たかったです。
- ・いい体験ができた。
- ・いろいろな工作機械を見学できた。
- ・大学にはない機器がたくさんあったので参考になった。
- ・ブローチ盤や五面加工機が見られたので良かった。
- ・安全面に関して、工場内がとてもきれいにされていて徹底しているなどと思った。
- ・実習工場よりも大規模な工作機械を使った製造工程に興味深かった。
- ・様々な金属に対してそれに対応した加工法をちゃんと使い分け効率良く作業されていて素晴
ら
しいと思った。
- ・まさに工場って感じでした。
- ・初めて見るような機械の説明も聞けて勉強になった。
- ・大きな機械を扱い、製品を作っているのは工業らしいと思った。
- ・NC工作機械を見られて良かった。

愛媛小林製薬(株)

- ・紙系はすべて愛媛の工場でまかなっているということを知って驚いた。
- ・紙製品の作り方が良く解った。
- ・いつも使っているものが作られている工程を知れたのですごく興味がわいた。
- ・身近にある使ったことのあるものを紹介して貰い、とてもわかりやすかった。
- ・身近な商品の製造ラインを見ることが出来た。

- ・自分たちが開発した商品が店に並ぶのはとてもいいと思いました。
- ・全国の店頭で並ぶ商品が地方の工場だけで開発、生産されているのすごかった。
- ・身近な商品の工程が見られて良かった。
- ・昔から馴染みのある「熱さまシート」の製造工程を教わられたのは貴重な経験だった。
- ・エンドユーザーへの提供とあって品質管理に力を入れていることが分かった。
- ・くわしい工程を知ることができた。自分の知っている製品で大変印象的であった。
- ・衛生面でとても徹底していた。
- ・見学しやすかった。
- ・ナプキンの袋詰め工程が見ていておもしろかった。
- ・日々成長をすることをあたりまえとする会社の考え方に心を打たれ、見習いたいと思った。
- ・実物も交えてわかりやすかった。
- ・よく見かける商品が愛媛で作られていることに驚いた。
- ・自分の知っている製品のできる流れが見られて良かった。
- ・身近にある製品の作製過程を見られることができ興味深かったです。
- ・いい話を聞くことができた。
- ・生活用品の生産過程を見学できた。
- ・客層に合わせてパッケージ等を変えている所。
- ・熱冷ましやサラサーティを全て愛媛で作っていることに驚いた。
- ・ラインの工程を間近で見られて面白かった。
- ・製造ラインがどのようになっていて、身近な製品が作られているのかを知れた。
- ・機械による作業と人による作業がきちんと分けられて素晴らしいと思った。
- ・楽しく見学できた。いろいろ貰えたのはうれしい。
- ・大量生産する上で効率的に行いながら、その過程で出るものの再利用など学んだ。
- ・大手の工場見学を初めてして、技術力の高さを目にした。
- ・生産ラインを生で見られて良かった。

(株)クラレ 西条事業所

- ・繊維の製造工程を初めて見ることができ、とても興味深かった。
- ・あんなに高速で糸を紡げるということが興味深かった。
- ・繊維にも色々な効果を付加することで、海外の安価なものに対抗していることが分かった。
- ・いろんな種類の糸があり、これからの用途に期待した。
- ・スーパー繊維についての36束で1本にしている点。
- ・スーパー繊維のスペックの高さが学べた。
- ・化学系の工場で進路の話など貴重な話が聞けた。
- ・主には化学の分野でしたが、機械や電気などの他分野の人を集めるところもあると分かった。
- ・最近よく肌着なんかで目にする冷感素材などのスーパー繊維が実際に生産されている現場を目にするのは、身近に感じられて興味深かった。
- ・繊維が複数の糸からできていておどろいた。
- ・繊維が思ったより、細い糸からできていてすごかった。
- ・服の糸がどのようにして作られているか分かった。

- ・合成繊維の製造を詳しく知ることができた。
- ・繊維の製造に流体力学が利用されるということが興味を引いた。
- ・NASAの火星探査に素材が使われていると知り、驚きました。
- ・より良いものを産み出すための研究がたくさんされていてすごいと思った。
- ・10nmの繊維に穴を開けたり、積層させたりする技術が興味深かった。
- ・化学、機械の融合が工場を成立させる要点であることを学んだ。
- ・化学系でも機械などの知識を使う。幅広く学ぼうと思った。機能性を追究している。
- ・実際に動いている機械を見て興味を持ちました。
- ・ここで作られた繊維が色々な場所で使われているのはすごいことだと思った。
- ・電気代に驚愕した。
- ・毛糸の製造法は知っていたけど化学繊維の製造法は知らなかったなので、とても興味深かった。
- ・1ロール、約800kmの糸が巻かれていることに驚いた。
- ・説明していただく方が優しく丁寧で退屈にならなかった。
- ・見学する部門を1つに絞ってくれていたおかげで、時間の割にゆっくりと見学できた。
- ・クラレのような化学製品には少し興味があったのでとても参考になった。
- ・糸の中にもそれぞれ特長を持ったものを作っていることに驚いた。
- ・化学系でも機械の技術が生きることが分かった。

眞鍋造機(株) 西条工場

- ・見たことはあっても仕組みや製造方法を知らなかった。クレーンなどの製造過程を見学でき、とても良い経験になった。
- ・船上機械は海で使うが故に、強度の基準や塩害対策をしないといけないことを学んだ。
- ・EH-CRANEの素晴らしさが分かった。500トンのクレーンの国内生産に成功してほしい。
- ・特許をとれたらすごいことだと思う。EHクレーンはすごい。
- ・迫力があつたが、実際に組み立てているところが見たかった。
- ・モジュールが何の単位か分からなかった。
- ・工場で作業している中を歩き回らせてもらって色々な工作機械を見て回ったのが楽しかった。
- ・短縮した部分の説明も受けたかったです。
- ・溶接や旋盤など自分たち機械科に直結するところで意味のあるものだった。
- ・想像以上の大きさだった。特許を出していてすごかった。
- ・EHクレーンがすごかった。
- ・クレーンの各部品の製造段階を学んだ。
- ・どのようにしてクレーンができるのかが分かった。
- ・溶接が実際に行われる所が見られた。正直なところインダクタンスの話などは分からなかったが、そのことで機械の性能が変わることが奥の深さを感じさせた。
- ・クレーンの部品のほぼ全てを工場内でまかなえるから生産が早くできると知り、なるほどと思った。
- ・授業で習った機械がいろいろあり、わかりやすかった。
- ・ボルトや溶接は低温割れに対して対策しているのか気になった。
- ・専門用語が多く、プレゼンで先に説明を終えてから工場見学をした方が理解を深められたと思った。

- ・造船の分野で船の部品を作っていると思っていました。
- ・船のクレーンを作っている機械を見られて良かった。
- ・旋盤などは学校にもあるが、スケールが全く違っており圧倒された。
- ・あの細長い鉄の塊がクレーンになり、立っている姿にビックリしました。重いものが倒れないようにする設計がすごいと思った。
- ・大きなクレーンの部品をすべて1つの工場で作っているのはすごいと思った。
- ・製造物の規模が予想以上に大きく、こんなものも作れるのかと驚いた。
- ・今回見た工場の中で最も大きいクレーンの製造は見た目にも分かりやすかった。
- ・あのような大きな製造物を加工している場を見学できて良かった。
- ・アーク溶接など、人の手作業でする仕事もあり意外だった。
- ・シンプルなものにすることによって安全性を高め、事故率を減らしていることが分かった。

(株)コスにじゅういち 西条事業所

- ・とても高度な技術が必要とされる加工について説明を受けることができ、興味深かった。
- ・アルミが加工の段階で表面が変わるとわかった。
- ・アルミにおいて大きな企業と取引できる技術がすごいと思った。
- ・アルミニウムはいろんな所で使われていてビックリした。
- ・中小企業が世界で活躍していた。
- ・高純度のアルミはどうやって作るか。
- ・宇宙や航空関連で使える製品を作っている技術が高いと感じた。
- ・製品に対してのこだわりと自信が強く、このような所で働いてみたいと思った。
- ・合併し、世界にも通じる企業もあるとわかった。
- ・NCが導入されていて、実態を知ることができた。
- ・マシニングセンタが思っていたよりも大きかった。
- ・いろいろなマシニングがあつてすごかった。
- ・たくさんの種類の加工法について知れた。
- ・どのような事業をしているか分かった。
- ・学ぶべきことの多さを感じた。
- ・磨いた金属の表面が好きなので、たくさん見られて満足でした。
- ・アルミなど幅広い物の加工をしていて、実際の出来上がりがすごいと思った。
- ・5軸動くマシニングセンタが見られて良かった。
- ・コンピューター回路の中身が詳しく分かった。
- ・アルミがつるつるになっていて驚いた。
- ・金属の生産や加工する機械を見られてよかった。
- ・普段見ることのできない加工段階の金属を見ることができ、いい経験になった。
- ・中小企業の方がいいと思った。やりがいがありそう。
- ・五軸の加工機が見られてうれしかった。
- ・金属の部品を販売するには、精密さが大切だと学んだ。
- ・宇宙系で実績があると聞き興味がわいた。
- ・身の周りではあまり見ることのできない製品が多く、良い刺激になった。
- ・最先端の機械がおいてあつて、興味がわいた。

- ・一台一台の機械が大きく、精密なものを作る難しさを感じた。
- ・アルミニウムのATGは傷一つでもつくと商品にならないぐらい丁寧に扱わなければならないことが分かった。

3. 受入企業に対するアンケート集計結果

設問 実施時間(約 90 分)についてお答えください。(該当する回答を○で囲んでください。)

①短い ②長い ③ちょうど良い

| 選択肢 | 回答数 |
|---------|-----|
| ①短い | 3社 |
| ②長い | 1社 |
| ③ちょうど良い | 3社 |

設問 前問で「①短い」または「②長い」と回答された企業にお聞きします。ちょうど良い時間はどのくらいですか。時間を下記に記載してください。

| 企業名 | | 前問回答 | ちょうど良い時間回答 |
|-----|--------------|---------|--------------------------|
| 新居浜 | 住友共同電力(株) | ③ちょうど良い | |
| | (株)三好鉄工所 | ①短い | 120分 (学生がどこまで説明を求めるかによる) |
| | 愛媛小林製薬(株) | ③ちょうど良い | |
| | (株)曾我部鐵工所 | ②長い | 60分 |
| 西条 | (株)クラレ西条事業所 | ①短い | 120分程度 |
| | 眞鍋造機(株)西条工場 | ①短い | 150分～180分 |
| | (株)コス21西条事業所 | ③ちょうど良い | |

設問 企業見学を受け入れていただいた学生の人数についてお答えください。
(該当する回答を○で囲んでください。)

①少ない ②多い ③ちょうど良い

| 選択肢 | 実施時間回答数 |
|---------|---------|
| ①少ない | 0社 |
| ②多い | 2社 |
| ③ちょうど良い | 5社 |

設問 前問で「①少ない」または「②多い」と回答された企業にお聞きします。ちょうど良い人数はどのくらいですか。人数を下記に記載してください。

| 企業名 | | 受入人数 | 前問回答 | ちょうど良い人数回答 |
|-----|--------------|---------|---------|-------------|
| 新居浜 | 住友共同電力(株) | 20人 | ③ちょうど良い | |
| | (株)三好鉄工所 | 23人 | ③ちょうど良い | |
| | 愛媛小林製薬(株) | 約20人×2回 | ③ちょうど良い | |
| | (株)曾我部鐵工所 | 約20人×2回 | ③ちょうど良い | |
| 西条 | (株)クラレ西条事業所 | 38人 | ②多い | 希望20人、最大40人 |
| | 眞鍋造機(株)西条工場 | 39人 | ③ちょうど良い | |
| | (株)コス21西条事業所 | 39人 | ②多い | 20人~40人 |

設問 今回の企業見学会の実施方法について、総合的な満足度をお答えください。
(該当する回答を○で囲んでください。)

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満

| 企業名 | | 回答 |
|-----|--------------|-------|
| 新居浜 | 住友共同電力(株) | ①満足 |
| | (株)三好鉄工所 | ②やや満足 |
| | 愛媛小林製薬(株) | ②やや満足 |
| | (株)曾我部鐵工所 | ③やや不満 |
| 西条 | (株)クラレ西条事業所 | ②やや満足 |
| | 眞鍋造機(株)西条工場 | ②やや満足 |
| | (株)コス21西条事業所 | ①満足 |

設問 前問で「③やや不満」「④不満」を選んだ企業は、具体的な不満点や今後改善すべき事項等を教えてください。

愛媛小林製薬(株) 「②やや満足」と回答。
 ・学生との接点が増えることは、望ましいと強く感じる。
 一方で学生の中には、説明時に居眠りが目立つ方がいたのは残念に感じた。

(株)曾我部鐵工所 「③やや不満」と回答。
 ・見学会の訪問スケジュール確定を早めにしてほしい。

設問 その他ご意見、ご感想がありましたら、自由に記載をお願いいたします。

(株)三好鉄工所

- ・この度は貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。事前に会社案内等の資料をお渡ししておりますので、「こんなことを訊きたい（知りたい）」というものを先にお知らせ頂きますと、学生さんのニーズにお応えできる準備が出来て有難いです。ご指導いただいた「技術的な説明をより多く」という点について、見直して参ります。弊社の場合、ものづくりの拠点として西条事業所の見学をしていただきますと、より良いかと考えます。今後もこのような機会をいただけますと幸いです。

(株)曾我部鐵工所

- ・事前に弊社の説明資料を配布しましたが、その中身は理解できましたでしょうか？

(株)クラレ 西条事業所

- ・今回の工場見学で化学企業における機械専攻のフィールドを感じていただけた感想を多くの学生様からいただいた事は大変うれしく思っております。今後、学生様の就職につながる様にフォロー頂けると幸いです。

眞鍋造機(株) 西条工場

- ・弊社のことをより理解してもらうにはもう少し時間を設けて頂けると大変ありがたいです。また学生に弊社のことを知ってもらえる機会を作って頂き、感謝申し上げます。

(株)コスにじゅういち 西条事業所

- ・この度は貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。また、事前の準備から当日の対応に至るまで、新居浜西条ものづくり人材確保連携協議会ご関係者の皆様には多大なご助力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

第5章 企業出張講座について

1 目的

愛媛大学の学生と教授を対象に本事業を通して、新居浜西条圏域のものづくり企業企業が自らがゲストスピーカーとして、自社の仕事の魅力や優秀な技術力等を理系学生に対してPRし、企業の知名度を高めるとともに、新居浜西条ものづくり企業のイメージアップを図ることを目的とする。

2 講座概要

(1) 理学部生を対象とした企業出張講座

- 開催日時 平成28年12月21日(水曜日)
4時限目 午後2時30分～午後4時 計1時間30分
- 開催場所 愛媛大学 理学部講義棟 3階 S32
(愛媛県松山市文京町2番5号)
- 講義名 キャリアデザイン
- 担当教授 理学部キャリア支援委員会委員長 教授 前原 常弘
- 受講生 理学部全学科2回生 52名
- 講演企業 萩尾機械工業(株)
(株)一宮工務店

(2) 工学部生を対象とした企業出張講座

- 開催日時 平成29年1月11日(水曜日)
4時限目 午後2時30分～午後4時 計1時間30分
- 開催場所 愛媛大学 共通講義棟C 2階 EL26講義室
(愛媛県松山市文京町3番)
- 講義名 機械工学科 業界研究講座
- 担当教授 工学部就職指導委員会 機械工学コース 教授 中原 真也
- 受講生 工学部機械工学科3回生及び大学院理工学研究科1回生 93名
- 講演企業 (株)アドバンテック
(株)アイワ技研
(株)クラレ西条事業所

1. 理学部生を対象とした企業出張講座

企業出張講座

(1) 講演企業：萩尾機械工業株式会社

- 講演内容
 - ・企業概要の説明
 - ・製品内容、保有技能・技術、グローバル展開、自身の体験等
- 講師
 - ・萩尾機械工業株式会社 製造部長 萩尾 龍彦 様



講演の様子

(2) 株式会社一宮工務店

- 講演内容
 - ・企業概要の説明
 - ・グループ会社の紹介、エンジニアリング部門の保有技術、建設した構造物の一例等
- 講師
 - ・株式会社一宮工務店 総務本部 チームリーダー 笠原 洋之 様



講演の様子

2. 工学部生を対象とした企業出張講座

企業出張講座

(1) 講演企業：株式会社アドバンテック

- 講演内容
 - ・ 企業概要の説明
 - ・ 製品内容、保有技能・技術、グローバル展開、経営の多角化等
- 講師
 - ・ 株式会社アドバンテック 課長代理 竹雅 伸禎 様



講演の様子

(2) 講演企業：株式会社アイワ技研

- 講演内容
 - ・ 企業概要の説明
 - ・ 化学プラントにおける設計、保有技術、グローバル展開、資格の有用性等
- 講師
 - ・ 株式会社アイワ技研 代表取締役社長 福留 政実 様



講演の様子

(3) 講演企業：株式会社クラレ 西条事業所

- 講演内容
 - ・企業概要の説明
 - ・製品内容・特長、化学メーカーにおける保有技術、グローバル展開等
- 講師
 - ・株式会社クラレ 西条事業所 総務課 主管 河本 健一 様



講演の様子

3. 参加学生に対するアンケート集計結果

(1) 理学部学生を対象としたアンケート集計結果

(アンケート回収数 52名分)

設問 1コマの講義(90分)で講演する企業の数(2社)について回答してください。

| 選択肢 | ①多かった | ②ちょうど良かった | ③少なかった |
|-----|-------|-----------|--------|
| 回答数 | 4人 | 45人 | 3人 |

設問 1社あたりの講演時間について回答してください。

| 選択肢 | ①長かった | ②ちょうど良かった | ③短かった |
|-----|-------|-----------|-------|
| 回答数 | 7人 | 45人 | 0人 |

設問 企業の講演内容について回答してください。

| 選択肢 | ①分かりやすかった | ②ふつう | ③分かりにくかった |
|-----------|-----------|------|-----------|
| 萩尾機械工業(株) | 23人 | 24人 | 5人 |
| (株)一宮工務店 | 39人 | 13人 | 0人 |

設問 興味深かった点、参考になった点、学んだこと、その他ご意見やご感想について、具体的にあれば回答してください。

萩尾機械工業(株)

- ・一貫した製作、特殊材の加工と、他社との差別化を図れる点を持っている点は素晴らしいと感じた。
- ・知らない分野の話が聞けて参考になりました。
- ・一貫製作できるのがすごいなと思った。
- ・バラスト水というものを初めて知った。
- ・1社のみで様々なジャンルの大きな機械の製作を、すべてまかなっている技術力の素晴らしい会社だとわかった。
- ・本当に家族みたいで働いて楽しそうだと思います。
- ・社員同士の仲が良い点。
- ・新居浜に79社、バラスト水の存在、家庭用と大型の機械との差、1社で納品まで出来る。
- ・ガン治療の部品も作っているのに驚きました。
- ・機械についてよく知らなかったが、加工のを知ることができた。
- ・会社の海外進出がとても興味深かったです。ありがとうございました。
- ・分かりやすくまとめられていてとても理解ができました。
- ・グローバルで素晴らしいと思った。
- ・大型の機械を作るのは難しそうだと思います。
- ・萩尾機械工業さんの強みや、今まで知らなかった事を聞くことができてもおもしろかったです。
- ・バラスト水処理。

(株)一宮工務店

- ・特に社員への研修が充実していると感じた。リピーターの獲得に成功している点は良い点である。
- ・会社全体で仲良しそうでいいなと思いました。
- ・建設業の流れを知れた。
- ・長年勤めている人が多いのは良い点だと思う。
- ・建設会社でありながら化学系も手掛けていて、リピート率の高さからもすごく工夫されていることが分かった。
- ・愛媛で1番であること。
- ・1社実績であること。
- ・とにかく社員同士の関係がよく、楽しそうな職場だと感じました。
- ・社風やどんな方が働いているか知ることができた。建設、プラントエンジニアリングという業界を全然知らなかったけど、少しだけ知ることができた。
- ・内定者の声がとても参考になりました。とても楽しそうな会社だと思いました。ありがとうございました。
- ・いい会社だと思った。
- ・地域に根付いた会社だと思いました。
- ・企業の行っていることだけでなく社風まで教えて頂けて良かったです。
- ・具体的に入社した人のやっている話を出してくれたので分かりやすかった。
- ・安さの秘訣とは何か気になった。

(2) 工学部学生を対象としたアンケート集計結果

(アンケート回収数 73名分)

設問 1コマの講義(90分)で講演する企業の数(3社)について回答してください。

| 選択肢 | ①多かった | ②ちょうど良かった | ③少なかった |
|-----|-------|-----------|--------|
| 回答数 | 14人 | 56人 | 3人 |

設問 1社あたりの講演時間について回答してください。

| 選択肢 | ①長かった | ②ちょうど良かった | ③短かった |
|-----|-------|-----------|-------|
| 回答数 | 5人 | 54人 | 14人 |

設問 企業の講演内容について回答してください。

| 選択肢 | ①分かりやすかった | ②ふつう | ③分かりにくかった |
|-------------|-----------|------|-----------|
| (株)アドバンテック | 42人 | 25人 | 6人 |
| (株)アイワ技研 | 41人 | 31人 | 1人 |
| (株)クラレ西条事業所 | 51人 | 17人 | 2人 |

設問 興味深かった点、参考になった点、学んだこと、その他ご意見やご感想について、具体的にあれば回答してください。

(株)アドバンテック

- ・20年前ぐらいに出来た会社が規模を大きくして頑張っているところがすごいと思いました。
- ・地元に営業所があったこと、サークル活動。
- ・技術会社と商社という面を持っているのは興味深かった。
- ・半導体事業を中心に多くの事業展開がなされていて、さらにサステナブル事業にまで力を入れられていた。
- ・複数の事業展開、海外への事業進出等、事業拡大に対して前向きな姿勢が素晴らしいと思いました。
- ・最近成長が著しい会社であることが分かった。
- ・若手のうちから事業の立ち上げに参加し、活躍できるのはうらやましいと思った。
- ・一貫製作、海外への事業展開の要素に魅力をかなり感じました。
- ・具体的に何をしている企業なのかわかりにくかった。
- ・社員のやる気に応じて様々な面が活動できる場所を用意して頂ける点。
- ・加工系の企業さんは様々な分野で仕事をしていてとても興味が湧きました。
- ・電子事業にも興味が出てきた。
- ・売上や営業利益率、成長率等が気になった。
- ・メーカーとしての側面だけでなく事業によって商社としての側面も持っているのは興味深かったです。
- ・内容等、くわしく教えてもらったので良かったです。
- ・実際に就職した時のイメージがつかめてとても良かった。
- ・愛媛にも生き活きとした企業があるとわかった。
- ・仕事をこなって行く上では、転勤はしなければならないのかと感じた。生産管理、製造は魅力的だった。

(株)アイワ技研

- ・機械の設計に力をものすごく注いでいるのが分かりました。
- ・高い技術と計算能力などが必要となるのでやりがいを感じられた。資格の取得の支援があるのも重要な点だと感じた。
- ・具体的な業務内容が良く分かった。
- ・資格に手当がでること。
- ・機械設計を主事業とする中、資格試験を積極的に受けられているのはとても素晴らしいことだと感じた。
- ・製造は行わず、機械設計のみを行う企業がある事を初めて知った。社員を育てるための制度があり、社員を大切にしている良い企業だと思った。
- ・CAD及び図面に力を入れている企業であることが分かりました。
- ・設計のみの会社というのは珍しい会社だと思った。
- ・授業でしている3D、CADの実際の例が良く分かった。
- ・スキルアップに力を入れている。
- ・配布資料の内容が機械科にとって分かりやすく魅力的だった。
- ・設計士の業務内容等が良く分かってこの業界への関心が深まった。
- ・資格試験を取れる制度が出来ておりキャリアアップが出来る点。
- ・企業で使用する具体的な資格などを知ることができ、考えの幅が広がりました。
- ・設計の仕事がどのようなものか知れて良かった。
- ・設計のみをやっている企業さんのお話を聞くのは初めてだったのですが、製品も作っていると比べると比べ、設計のみに力を入れられるため様々な設計が出来るというのに魅力を感じた。
- ・業務内容が良く分かりました。
- ・とても具体的で、どのような仕事をするのかよく理解することが出来ました。
- ・資格について興味を持った。
- ・製図を請負う会社があることを初めて知った。

(株)クラレ西条事業所

- ・石油などの化学物質を材料として製品を作っている会社からのお話だったので、普通の鉄鋼を使って製造する会社とはまた違った話を聞いた。
- ・化学業界にも機械系の技術者の需要があると知ることが出来て参考になった。
- ・身近にある化学素材を展開されていて、設備投資に前向きな姿勢はとても参考になった。
- ・化学製品メーカーの中でも、機械工学の知識を生かせる職場がある事を知ることが出来て、大変参考になった。
- ・様々な新製品を開発されている企業であることがわかりました。CMでもおなじみのクラレさんの説明会を拝見することが出来て非常に光栄でした。
- ・名前は知っていたが、事業内容までは知らなかった。今日知ることが出来て良かった。
- ・化学系での機械工学出身者の活躍の場は自分が思うよりも広い。今、やっている創造設計の開発サイクルと実務サイクルがよく似ていた。
- ・素材がないものづくりはできないので、需要がなくなることはない分野だと感じた。
- ・化学メーカー様における機械工学科のフィールドと、その業務内容を知ることが出来た点。
- ・化学分野の企業でも機械工の出番があることを知り、幅が広がりました。
- ・いろいろな素材が物を作るために必要だとわかった。
- ・化学メーカーにおける機械系技術者の役割を直接お聞きすることは無かったので大変興味深かったです。
- ・機械系の仕事もあるということが具体的にわかって、イメージがわきました。
- ・どんな企業でも機械が必要になるし、機械に結びつくことが分かった。
- ・化学系のメーカーでも機械系が働けることは驚きだった。
- ・機械系の人材はどの分野でも重要ということ。
- ・化学企業にも機械系の仕事があること。
- ・事業所が出身県にあった。

4. 講演企業に対するアンケート集計結果

(1) 理学部の出張講座でのアンケート集計結果

(アンケート回収数 2社分)

設問 講演時間(約40分)についてお答えください。

①短い ②長い ③ちょうど良い

| 選択肢 | 回答数 |
|---------|-----|
| ①短い | 0社 |
| ②長い | 1社 |
| ③ちょうど良い | 1社 |

設問 前問で「①短い」または「②長い」と回答された方にお聞きします。ちょうど良い時間はどのくらいですか。時間を下記に記載して下さい。

「②長い」と回答した企業 30分

設問 今回の企業出張講座について、総合的な満足度をお答えください。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満

| 選択肢 | 回答数 |
|-------|-----|
| ①満足 | 2社 |
| ②やや満足 | 0社 |
| ③やや不満 | 0社 |
| ④不満 | 0社 |

設問 前問で「③やや不満」「④不満」を選んだ企業は、具体的な不満点や今後改善すべき事項等を教えて下さい。

「③やや不満」「④不満」と回答した企業 なし

設問 その他ご意見、ご感想、ご要望がありましたら、自由に記載をお願いいたします。

- ・企業としては就職につなげたいので、継続的な活動とフォローをして頂けると助かります。
- ・お世話になりました。

(2) 工学部の出張講座でのアンケート集計結果

(アンケート回収数 3社分)

設問 講演時間(約25分)についてお答えください。(該当する回答を○で囲んでください。)

①短い ②長い ③ちょうど良い

| 選択肢 | 回答数 |
|---------|-----|
| ①短い | 2社 |
| ②長い | 0社 |
| ③ちょうど良い | 1社 |

設問 前問で「①短い」または「②長い」と回答された方にお聞きします。ちょうど良い時間はどのくらいですか。時間を下記に記載して下さい。

「②長い」と回答した企業 「30分」及び「45分」

設問 今回の企業出張講座について、総合的な満足度をお答えください。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満

| 選択肢 | 回答数 |
|-------|-----|
| ①満足 | 2社 |
| ②やや満足 | 1社 |
| ③やや不満 | 0社 |
| ④不満 | 0社 |

設問 前問で「③やや満足」「④不満」を選んだ企業は、具体的な不満点や今後改善すべき事項等を教えて下さい。

「③やや不満」「④不満」と回答した企業 なし

設問 その他ご意見、ご感想、ご要望がありましたら、自由に記載をお願いいたします。

- ・一般的な企業説明会に参加しても知名度のない中小企業ではなかなか集客できません。しかしながら、今回は非常に多くの学生に対して、業務内容・会社説明ができたことが大変良かったです。また、今回の事業に参加させて頂くことにより大学へ求人を出すことが出来ましたので大変感謝しております。
- ・可能であれば、研究会終了後に、ご興味を持って頂いた学生様との意見交換会等の機会を企画してはいかがでしょうか。

「新居浜西条ものづくり人材確保事業」報告書

一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会

〒792-0896

愛媛県新居浜市阿島1丁目5番50号

TEL : 0897-47-5601 FAX : 0897-47-5602

URL : <http://niihamagenki.jp/>